

**EPSON®**

**取扱説明書**

**ライティングプロジェクター**

**EV-115**

**EV-110**

マニュアル中の表示の意味	6	HDMIケーブルで接続する	26
マニュアルの使い方と情報の探し方	8	メディアストリーミング端末を接続する	26
キーワードで検索する	8	外部スピーカーの接続	27
しおりから直接ジャンプする	8	Bluetooth®オーディオ機器を接続する	28
必要なページだけ印刷する	8	Bluetooth仕様	29
ドキュメント類の最新バージョンを入手する	9	外部センサー機器を接続する	29
ケーブルクランプを取り付ける/取り外す	30	リモコンに電池を取り付ける	32
プロジェクターを使用する前に	10	リモコンを操作する	33
本機の特長	11	プロジェクターの基本機能を使用する	34
展示スペースで投写	11	プロジェクターの電源を入れる	35
映像の位置を自由に調整	12	プロジェクターの電源を切る	37
商品を魅力的に演出するスポットライト	12	日時を設定する	38
長寿命のレーザー光源	12	メニューの言語を選択する	40
プロジェクターの各部名称と働き	13	設置モードを選択する	41
プロジェクターの各部名称 - 前面	13	リモコンで設置モードを変更する	41
プロジェクターの各部名称 - 背面	14	メニューから設置モードを変更する	41
プロジェクターの各部名称 - 接続端子部	14	テストパターンを表示する	43
プロジェクターの各部名称 - 上面	15	映像の形状を補正する	44
プロジェクターの各部名称 - リモコン	16	台形補正ボタンで映像のゆがみを補正する	44
プロジェクターを準備する	18	Quick Corner機能で映像のゆがみを補正する	45
プロジェクターの設置	19	映像の大きさを調整する	47
輸送に関する注意	20	映像の位置を調整する	48
プロジェクターの設置・取り付け	20	ピントを調整する	49
設置時のご注意	21	投写映像を切り替える	50
投写距離	22	映像のアスペクト比を設定する	51
ボールジョイントで投写角度を調整する	22	映像のアスペクト比を切り替える	51
プロジェクターを接続する	25		
SDカードを挿入する	25		
コンピューターを接続する	25		

アスペクトモードの種類 .....	51
各アスペクトモードの投写イメージ .....	52
<b>映像を最適化する (カラーモード) .....</b>	<b>53</b>
カラーモードを変更する .....	53
カラーモードの種類 .....	53
映像の光量を調整する .....	53
ガンマを調整する .....	54
<b>明るさを設定する .....</b>	<b>56</b>
光源の使用時間 .....	57
<b>音量ボタンで音量を調整する .....</b>	<b>58</b>
<b>プロジェクターの便利な機能 .....</b>	<b>59</b>
<b>スポットライトを使用する .....</b>	<b>60</b>
<b>プレイリストを再生する .....</b>	<b>61</b>
プレイリストを再生する .....	61
Epson Web Controlを使ってプレイリストを作成する .....	62
複数台で同じプレイリストを同時に再生する (同期再生) .....	64
映像に効果を加える (エフェクト機能) .....	65
<b>映像と音声を一時的に遮断する .....</b>	<b>67</b>
<b>ユーザーロゴを設定する .....</b>	<b>68</b>
<b>複数台のプロジェクターから投写する (マルチプロジェクション機能) .....</b>	<b>69</b>
プロジェクターのID設定 .....	69
プロジェクターにIDを設定する .....	69
操作対象のプロジェクターIDをリモコンで選択する .....	70
ユニフォーミティーを調整する .....	71
映像のつなぎ目を補正する .....	72
カラーマッチングを調整する .....	73
映像を切り出して表示する .....	74
<b>光源キャリブレーションを実行する .....</b>	<b>77</b>

<b>セキュリティー機能 .....</b>	<b>78</b>
パスワードプロテクトの種類 .....	78
パスワードを設定する .....	78
パスワードプロテクトの種類を設定する .....	79
パスワードを入力する .....	80
<b>外部センサーを使用する .....</b>	<b>81</b>
<b>ネットワーク上のプロジェクターを使用する .....</b>	<b>83</b>
<b>有線LANでの映像投写 .....</b>	<b>84</b>
有線LANに接続する .....	84
有線LANを設定する .....	84
<b>無線LANでの映像投写 .....</b>	<b>87</b>
内蔵の無線LANユニットを安全にお使いいただくために .....	87
プロジェクターの無線LANを設定する .....	87
Windowsで無線LANを設定する .....	90
Macで無線LANを設定する .....	90
無線LANのセキュリティーを設定する .....	90
サポートするクライアント・CA証明書の一覧 .....	92
QRコードを使用してモバイルデバイスに接続する .....	93
<b>セキュアHTTP .....</b>	<b>95</b>
メニューからWebサーバー証明書を設定する .....	95
サポートするWebサーバー証明書の一覧 .....	96
<b>プロジェクターを監視および制御する .....</b>	<b>97</b>
<b>Epson Projector Management .....</b>	<b>98</b>
<b>Webブラウザを使ってネットワークプロジェクターを制御する .....</b>	<b>99</b>
Web Controlのオプション設定 .....	100
<b>Webブラウザで証明書を設定する .....</b>	<b>106</b>
<b>メールでプロジェクターの異常を通知する .....</b>	<b>108</b>

異常通知メールの見方 .....	109
<b>SNMPを使ってプロジェクターを監視する .....</b>	<b>110</b>
<b>ESC/VP21コマンドを使用する .....</b>	<b>111</b>
ESC/VP21コマンドリスト .....	111
<b>PJLinkについて .....</b>	<b>112</b>
<b>Crestron Connectedについて .....</b>	<b>113</b>
Crestron Connectedを設定する .....	113
<b>Art-Netチャンネル定義 .....</b>	<b>115</b>
<b>Web APIを使ってプロジェクターを操作する .....</b>	<b>118</b>
Web APIを有効にする .....	118
<b>プロジェクターのイベントスケジュールを設定する .....</b>	<b>119</b>
<b>メニューの設定 .....</b>	<b>122</b>
<hr/>	
プロジェクターメニューを操作する .....	123
ソフトキーボードを操作する .....	124
ソフトキーボードで入力可能な文字 .....	124
画質メニュー .....	125
映像メニュー .....	127
設定メニュー .....	128
拡張設定メニュー .....	130
ネットワークメニュー .....	135
ネットワークメニュー - 基本設定メニュー .....	135
ネットワーク設定 - 無線LANメニュー .....	136
ネットワーク設定 - 有線LANメニュー .....	140
ネットワークメニュー - 通知メニュー .....	141
ネットワークメニュー - その他メニュー .....	142
ネットワークメニュー - 初期化メニュー .....	143

<b>情報メニュー .....</b>	<b>144</b>
情報メニュー - プロジェクター情報 .....	144
Event ID一覧 .....	145
<b>初期化メニュー .....</b>	<b>147</b>
<b>メニュー設定を別のプロジェクターにコピーする（一括設定機能） .....</b>	<b>149</b>
SDカードを使って一括設定する .....	149
一括設定でエラーが発生したときは .....	150

## **プロジェクターをメンテナンスする .....**

<b>プロジェクターのメンテナンス .....</b>	<b>152</b>
レンズを清掃する .....	153
本機を清掃する .....	154
吸気口と排気口を清掃する .....	155

## **困ったときに .....**

<b>トラブルの対処方法 .....</b>	<b>157</b>
<b>インジケータの見方 .....</b>	<b>158</b>
<b>映像や音声に関するトラブル .....</b>	<b>160</b>
映像が表示されない .....	160
「映像信号が入力されていません」というメッセージが表示される .....	160
Windowsのノートパソコンから映像を出力する .....	161
Macのノートパソコンから映像を出力する .....	161
「この信号は本プロジェクターでは受けられません」というメッセージが表示される .....	161
映像の一部が表示されない .....	161
映像がゆがむ .....	162
映像にノイズが入る、乱れる .....	162
映像がぼやける .....	163
映像の明るさや色合いが違う .....	163

映像に残像が残る（焼き付き） .....	163
音が出ない、小さい .....	164
<b>プロジェクター、リモコンの操作に関するトラブル .....</b>	<b>165</b>
電源が入らない、予期せず切れる .....	165
リモコンで操作できない .....	165
パスワードが入力できない .....	166
「時刻を保持する電池残量が低下しています」というメッセージが表示される .....	166
<b>ネットワークに関するトラブル .....</b>	<b>167</b>
無線LAN認証できない .....	167
Webブラウザを使って設定を変更できない .....	167
異常が起きたときにメール通知されない .....	167
ネットワーク経由で投写した映像が乱れる .....	168
<b>プレイリストが再生されない .....</b>	<b>169</b>
<b>外部センサー機器が動かない .....</b>	<b>170</b>
<b>付録 .....</b>	<b>171</b>
<b>オプション・消耗品一覧 .....</b>	<b>172</b>
配線ダクト取付金具 .....	172
床置き金具 .....	172
外付けオプション .....	172
<b>スクリーンサイズと投写距離 .....</b>	<b>173</b>
<b>対応解像度 .....</b>	<b>175</b>
<b>本機仕様 .....</b>	<b>176</b>
接続端子 .....	176
<b>外形寸法図 .....</b>	<b>178</b>
<b>Epson Projector Content Managerの対応機能 .....</b>	<b>179</b>
<b>安全規格対応シンボルマークと説明 .....</b>	<b>180</b>
レーザー製品を安全にお使いいただくために .....	182
レーザー警告ラベル .....	182
<b>用語解説 .....</b>	<b>184</b>
<b>一般のご注意 .....</b>	<b>186</b>
使用限定について .....	186
本機を日本国外へ持ち出す場合の注意 .....	186
瞬低（瞬時電圧低下）基準について .....	186
JIS C 61000-3-2適合品 .....	186
商標について .....	186
ご注意 .....	187
著作権について .....	187

# マニュアル中の表示の意味

## 安全に関する表示

本製品および取扱説明書には、製品を安全にお使いいただくために絵表示が使われています。

人体への危害や財産への損害を防ぐために、次の絵表示で表記された説明は、内容をよくお読みいただいた上で、説明に従ってお取り扱いください。

 <b>警告</b>	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
 <b>注意</b>	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

## 一般情報に関する表示

 <b>注意</b>	注意して取り扱わないと、本機の故障や損傷の原因となるおそれがある内容を記載しています。
	知っておくと便利な関連情報を記載しています。
【ボタン名】	リモコンまたは操作パネルのボタン名称を示しています。 例：【Esc】ボタン
[メニュー/設定名]	プロジェクターのメニューや設定の名称を示しています。 例： [画質] メニューを選択する  [画質] > [アドバンスト]
	関連事項を記載しているページを示しています。
	プロジェクターのメニューの階層を示しています。

▶▶ 関連項目

- 「マニュアルの使い方と情報の探し方」 [p.8](#)
- 「ドキュメント類の最新バージョンを入手する」 [p.9](#)

PDFマニュアルでは、探したい情報のキーワードから該当箇所を検索したり、しおりから直接ジャンプしたりすることができます。また、必要なページだけ印刷することもできます。ここでは、PDFマニュアルをコンピュータのAdobe Reader Xで開いた場合の使い方を説明します。

## ▶ 関連項目

- 「キーワードで検索する」 p.8
- 「しおりから直接ジャンプする」 p.8
- 「必要なページだけ印刷する」 p.8

## キーワードで検索する

[編集]メニューの[高度な検索]をクリックします。検索ボックスに探したい情報のキーワード(語句)を入力して、[検索]をクリックします。キーワードの該当箇所が一覧で表示されます。表示された文字列をクリックすると、該当ページにジャンプします。

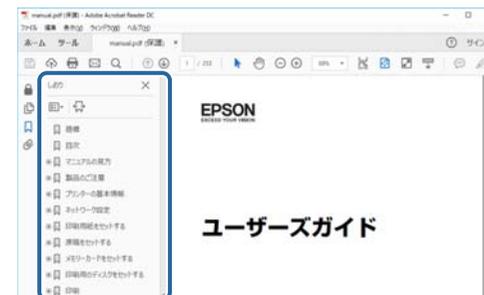


## しおりから直接ジャンプする

タイトルをクリックするとそのページにジャンプします。+または>をクリックすると下の階層のタイトルが表示されます。ジャンプ前のページに戻りたいときは、キーボードで以下の操作をします。

- Windows : [Alt] キーを押したまま←キーを押します。

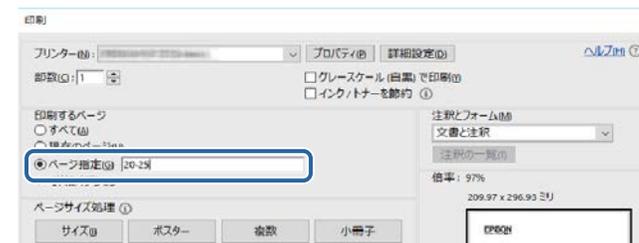
- Mac OS : commandキーを押したまま←キーを押します。



## 必要なページだけ印刷する

紙で読みたいページだけを抜き出して印刷できます。[ファイル]メニューの[印刷]をクリックして、[印刷するページ]の[ページ指定]で印刷したいページを指定します。

- 連続したページの指定は、開始ページと終了ページの間にハイフンを入れます。  
例 : 20-25
- 連続していない複数ページの指定は、ページをカンマで区切ります。  
例 : 5、10、15



説明書や仕様書の最新バージョンは、EPSONのWebサイトからダウンロードできます。

[epson.jp/lcp/doc/](https://www.epson.jp/lcp/doc/)にアクセスし、機種名を入れてください。

# プロジェクターを使用する前に

本機の特長と各部の名称について説明します。

## ▶▶ 関連項目

- 「本機の特長」 [p.11](#)
- 「プロジェクターの各部名称と働き」 [p.13](#)

本機は、用途に合わせたさまざまな機能を備えたプロジェクターです。各機能の特長と各部の名称について説明します。

## ▶▶ 関連項目

- 「展示スペースで投写」 [p.11](#)
- 「映像の位置を自由に調整」 [p.12](#)
- 「商品を魅力的に演出するスポットライト」 [p.12](#)
- 「長寿命のレーザー光源」 [p.12](#)

## 展示スペースで投写

美術館、ショールーム、店舗などでのデジタルサイネージに適した映像を投写できます。



- SDカードに保存したプレイリストを再生できます。エフェクト機能で映像の色や形を変えることもできます。
- 以下の方法で、再生するプレイリストを作成できます。

- Epson Projector Content Managerを使うと、画像や動画をプレイリストに追加して外付けデバイスに保存できます。エフェクト機能を使って投写映像の色や形を変えたり、プレイリストを再生する日時を指定するタイムテーブルを設定することもできます。

詳しくは『Epson Projector Content Manager操作ガイド』をご覧ください。

- Epson Web Controlを使うと、Webブラウザを使ってプレイリストを作成して、ネットワークプロジェクターに接続されている外付けデバイスに保存できます。エフェクト機能を使って投写映像の色や形を変えることもできます。
- Epson Creative Projectionを使うと、iOSのモバイルデバイスでデジタルサイネージコンテンツを作成できます。プロジェクターにコンテンツをワイヤレスに転送することもできます。

Epson Creative Projectionは、App Storeから無料でダウンロードできます。App Storeへ接続する際の通信料はお客様の負担となります。



必要なソフトウェアおよび取扱説明書は以下のWebサイトからダウンロードできます。

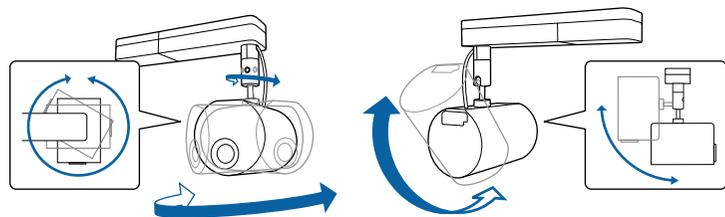
[epson.jp/download](http://epson.jp/download)

## ▶▶ 関連項目

- 「Webブラウザを使ってネットワークプロジェクターを制御する」 [p.99](#)
- 「映像に効果を加える（エフェクト機能）」 [p.65](#)

## 映像の位置を自由に調整

ボールジョイントを使って本機の角度を調整でき、さまざまな方向に投写できます。

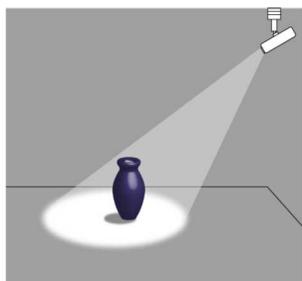


### ▶▶ 関連項目

- 「ボールジョイントで投写角度を調整する」 [p.22](#)

## 商品を魅力的に演出するスポットライト

映像を投写する以外に、スポットライトとして使用できます。本機を動かさずに、スポットライトの位置、大きさ、形を調整することもできます。



### ▶▶ 関連項目

- 「スポットライトを使用する」 [p.60](#)

## 長寿命のレーザー光源

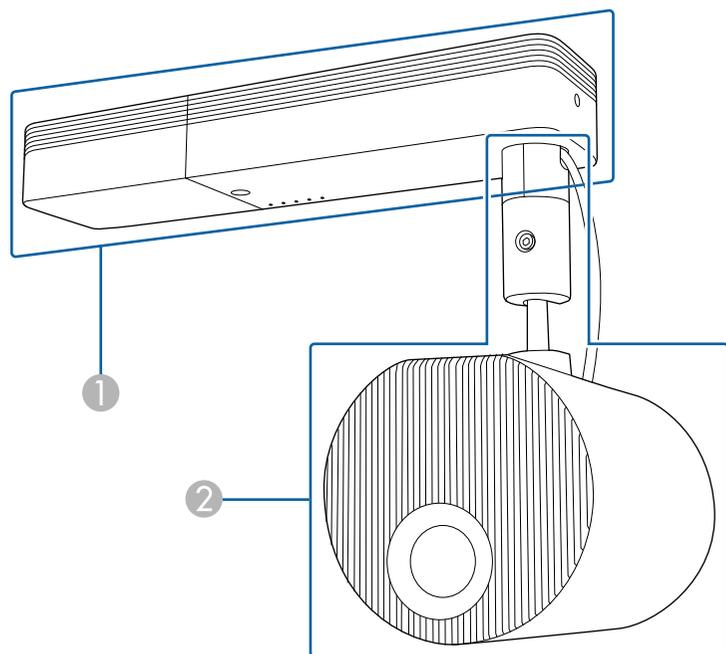
レーザーダイオードを使用しているため、メンテナンスの手間が少なく、突然の光源切れによる中断のリスクを削減できます。

本機の各部名称とその働きについて説明します。

▶ 関連項目

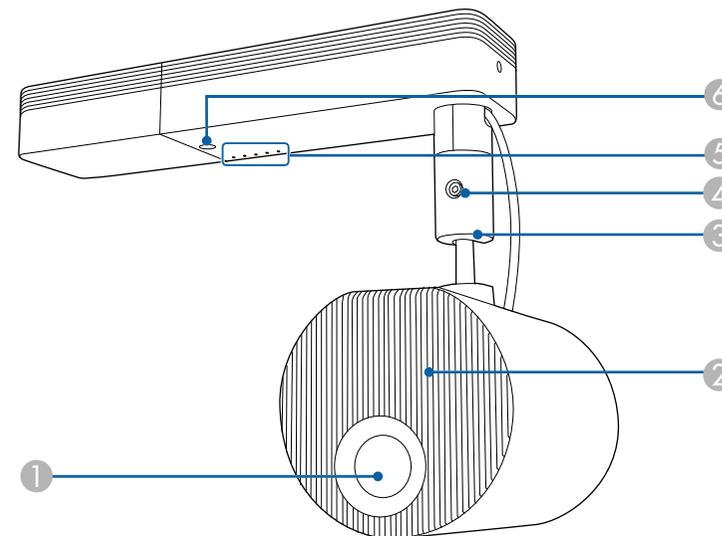
- 「プロジェクターの各部名称 - 前面」 p.13
- 「プロジェクターの各部名称 - 背面」 p.14
- 「プロジェクターの各部名称 - 接続端子部」 p.14
- 「プロジェクターの各部名称 - 上面」 p.15
- 「プロジェクターの各部名称 - リモコン」 p.16

## プロジェクターの各部名称 - 前面



① 電源部

## ② 映像投写部

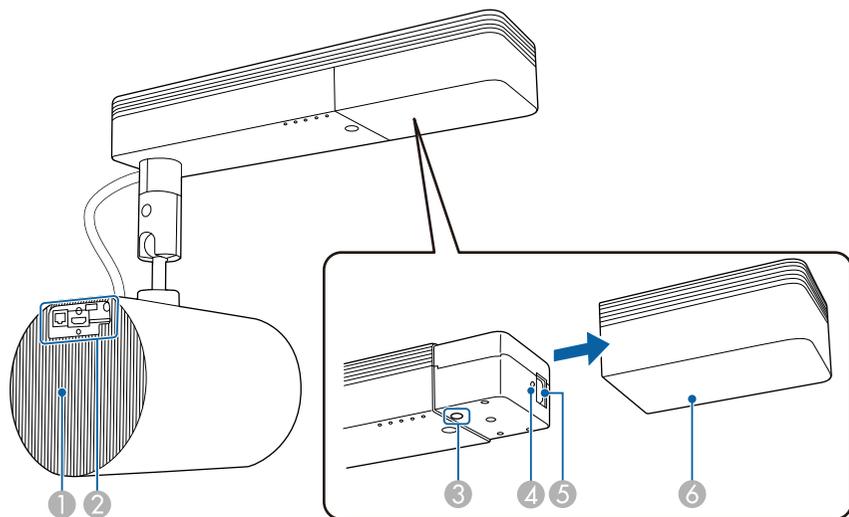


名称	働き
① 投写レンズ	ここから映像を投写します。
② 吸気口	本機内部を冷却するための空気を取り込みます。
③ ボールジョイント	投写角度を調整します。
④ ボールジョイント固定ネジ	ボールジョイントを固定するネジです。
⑤ インジケータ	本機の状態を表示します。
⑥ リモコン受光部	リモコン信号を受信します。

▶ 関連項目

- 「吸気口と排気口を清掃する」 p.155
- 「ボールジョイントで投写角度を調整する」 p.22
- 「インジケータの見方」 p.158

## プロジェクターの各部名称 - 背面



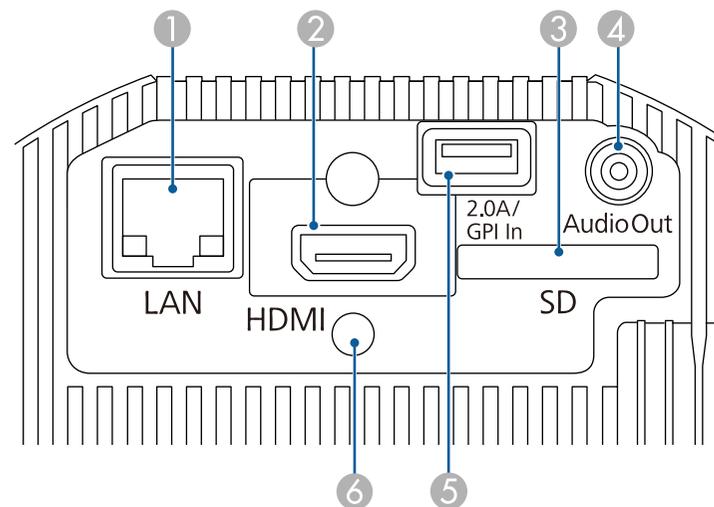
名称	働き
① 排気口	本機内部を冷却した空気の吐き出し口です。  <b>⚠ 注意</b> 投写中は手や顔を排気口に近づけたり、熱による悪影響を受けるものを排気口の近くに置かないでください。排気口から温風が出るため、やけどや変形、事故の原因となります。
② 接続端子部	接続端子部の記載を参照してください。
③ 電源ボタン【⏻】	本機の電源をオン/オフします。
④ ケーブルホルダー	電源コードが抜けないように、ケーブルクランプを差し込みます。

名称	働き
⑤ 電源端子	電源コードを接続します。
⑥ ケーブルカバー	電源端子と電源ボタンのカバーです。

### ▶ 関連項目

- 「吸気口と排気口を清掃する」 [p.155](#)
- 「ケーブルクランプを取り付ける/取り外す」 [p.30](#)
- 「プロジェクターの各部名称 - 接続端子部」 [p.14](#)

## プロジェクターの各部名称 - 接続端子部



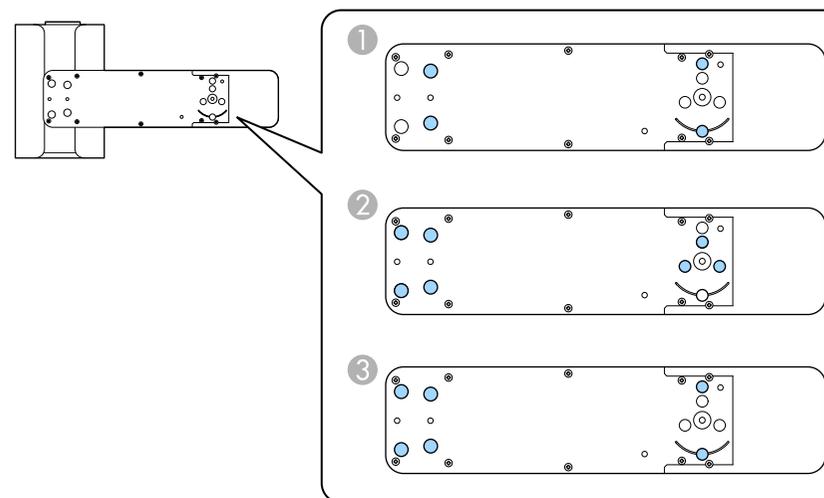
名称	働き
① LAN端子	LANケーブルを接続して、ネットワークに接続します。

名称	働き
② HDMI端子	HDMIに対応したビデオ機器やコンピューターの信号を入力します。 本機はHDCPIに対応しています。
③ SDカードスロット	SDカードを挿入します。
④ Audio Out端子	投写中の入力ソースの音声を外部スピーカーに出力します。
⑤ DC Out (2.0A) / GPI In 端子	接続した機器に電力を供給します。また、センサーなどの外部機器を接続します。 USBデータ転送には使用できません。
⑥ ケーブルホルダー	HDMIケーブルが抜けないように、ケーブルクランプを差し込みます。

## ▶▶ 関連項目

- 「Art-Netチャンネル定義」 [p.115](#)
- 「ケーブルクランプを取り付ける/取り外す」 [p.30](#)
- 「外部センサー機器を接続する」 [p.29](#)
- 「外部センサーを使用する」 [p.81](#)

## プロジェクターの各部名称 - 上面

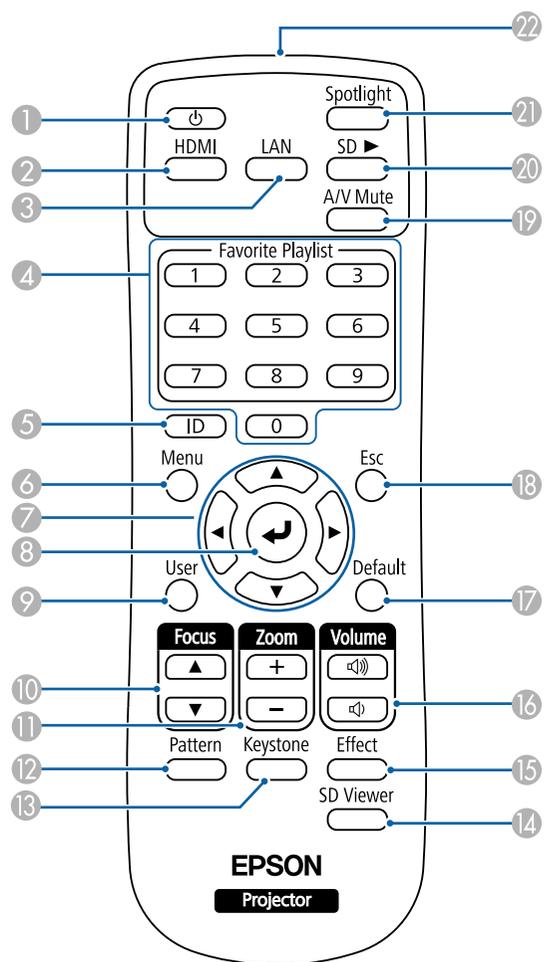


名称	働き
① 直付け金具固定部 (4箇所)	天井や壁に設置して使うときに、直付け金具を取り付けます。
② 配線ダクト取付金具固定部 (7箇所)	配線ダクトに取り付けて使うときに、オプションの配線ダクト取付金具を取り付けます。
③ 床置き金具固定部 (6箇所)	床に置いて使うときに、オプションの床置き金具を取り付けます。

## ▶▶ 関連項目

- 「プロジェクターの設置」 [p.19](#)
- 「オプション・消耗品一覧」 [p.172](#)

## プロジェクターの各部名称 - リモコン



名称	働き
① 電源ボタン【 <b>⏻</b> 】	本機の電源をオン/オフします。
② 【HDMI】ボタン	HDMI端子からの映像に切り替えます。

名称	働き
③ 【LAN】ボタン	ネットワーク経由で接続している機器からの映像に切り替えます。
④ テンキーボタン	メニュー内で数字を入力します。 お気に入りのプレイリストを再生します。
⑤ 【ID】ボタン	リモコンで操作対象のプロジェクターのIDを選択するときに、このボタンを押しながらテンキーボタンを押します。
⑥ 【Menu】ボタン	メニュー画面を表示/終了します。
⑦ 上下左右ボタン	メニューの表示中に押すと、メニュー項目を選択します。
⑧ 【Enter】ボタン【 <b>↵</b> 】	メニューの表示中に押すと、選択項目を決定して、次の階層に進みます。
⑨ 【User】ボタン	[設定] メニューの [ユーザーボタン] で設定した機能を実行します。
⑩ 【Focus】ボタン	映像のピントを合わせます。
⑪ 【Zoom】ボタン	投写映像のサイズを調整します。
⑫ 【Pattern】ボタン	テストパターンを表示します。
⑬ 【Keystone】ボタン	映像のゆがみを補正します。
⑭ 【SD Viewer】ボタン	プレイリストの一覧を表示します。
⑮ 【Effect】ボタン	[エフェクト] メニューを表示して、映像の形状や色を変えます。
⑯ 【Volume】 上げ/下げボタン	外部スピーカーの音量を調整します。
⑰ 【Default】ボタン	選択した設定を初期値に戻します。

名称	働き
⑱ 【Esc】 ボタン	実行中の機能を終了します。 メニューの表示中に押すと、前のメニュー階層に戻ります。
⑲ 【A/V Mute】 ボタン	映像と音声を一時的に遮断します。
⑳ 【SD  】 ボタン	SDカード内のプレイリストを再生します。
㉑ 【Spotlight】 ボタン	スポットライトに切り替えます。
㉒ リモコン発光部	リモコン信号を出力します。

## ▶▶ 関連項目

- 「プレイリストを再生する」 [p.61](#)
- 「セキュリティー機能」 [p.78](#)
- 「プロジェクターにIDを設定する」 [p.69](#)
- 「プロジェクターメニューを操作する」 [p.123](#)
- 「設定メニュー」 [p.128](#)
- 「ピントを調整する」 [p.49](#)
- 「映像の大きさを調整する」 [p.47](#)
- 「テストパターンを表示する」 [p.43](#)
- 「映像の形状を補正する」 [p.44](#)
- 「スポットライトを使用する」 [p.60](#)
- 「映像に効果を加える（エフェクト機能）」 [p.65](#)
- 「映像と音声を一時的に遮断する」 [p.67](#)

# プロジェクターを準備する

プロジェクターの準備方法を説明します。

## ▶ 関連項目

- 「プロジェクターの設置」 [p.19](#)
- 「プロジェクターを接続する」 [p.25](#)
- 「リモコンに電池を取り付ける」 [p.32](#)
- 「リモコンを操作する」 [p.33](#)

本機を天井や壁に取り付けるには同梱の金具を使います。

配線ダクトへ取り付けたり床や机の上に置いたりするには、オプションの金具が必要です。

プロジェクターの設置位置を決めるときは、以下の点に注意してください。

- プロジェクターは水平で安定した場所に置くか、本製品に対応した金具を使用して取り付けます。
- 通気のためにプロジェクターの周囲に十分なスペースを確保します。通気の妨げになるものをプロジェクター上面や周囲に置かないでください。

## ⚠ 警告

- 屋外や風呂、シャワー室など、水や雨のかかるおそれのある場所、湿度の高い場所で使用・設置しないでください。火災・感電の原因となります。
- 壁や天井への取り付け工事は、特別な技術が必要となります。取り付けは専門業者に依頼してください。プロジェクターを正しく設置しないと、落下により破損やけがの原因となることがあります。
- プロジェクターの設置用金具固定部に、ネジゆるみ止め用接着剤・潤滑剤・油などを使用しないでください。事故やけがの原因となります。
- 天吊り金具とプロジェクターの取り付け不備は、プロジェクターの落下事故につながるおそれがあります。本機に対応したエプソン指定の金具を使用し、プロジェクターの天吊り固定部全てに確実に固定してください。また、同梱またはオプションのセーフティーワイヤーを使ってプロジェクターと金具を固定してください。
- 湿気やホコリの多い場所や、油煙や湯気が当たる場所（調理場所、ご家庭のキッチン、加湿器の近くなど）にプロジェクターを設置しないでください。火災・感電の原因となることがあります。

## ⚠ 警告

- 映像投写部の向きを調整するとき、投写光が本機の電源部などにあたらないようにしてください。投写光があたると本機が高温になり、けがや火災の原因となります。
- 本機の吸気口・排気口をふさがないでください。吸気口・排気口をふさぐと、内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。
- ホコリや塵の多い場所で使用・保管はしないでください。投写映像の品質が劣化したり、故障や火災につながる可能性があります。
- 不安定な場所や荷重範囲を超える場所には設置しないでください。落下や転倒によりけがや事故の原因となります。
- ボールジョイントに、ネジゆるみ止め用接着剤・潤滑剤・油などを使用しないでください。映像投写部を保持する力が低下し、事故やけがの原因となります。
- 塩害が発生する場所や、温泉の硫黄ガスなどの腐食性ガスが発生する場所には設置しないでください。腐食による落下の原因となることがあります。また、本機の故障の原因となることがあります。

## ⚠ 注意

床などに置いて使う場合は、オプションの床置き金具を取り付けてください。

## 注意

- 本機を標高1,500 m以上の場所で使用するときは、[高地モード]を[オン]にして、本機の内部温度が適切に調節されるようにしてください。  
☛ [拡張設定] > [動作設定] > [高地モード]
- お買い上げ時は、電源部と映像投写部をつなぐケーブルに保護用のビニールが巻いてあります。使い始める前にビニールを取り外してください。

## ▶▶ 関連項目

- 「輸送に関する注意」 [p.20](#)

- 「プロジェクターの設置・取り付け」 p.20
- 「投写距離」 p.22
- 「ボールジョイントで投写角度を調整する」 p.22
- 「映像の形状を補正する」 p.44
- 「拡張設定メニュー」 p.130

## 輸送に関する注意

本機内部にはガラス部品や精密部品が数多く使われています。輸送の際には、衝撃による故障防止のため、次のように取り扱ってください。

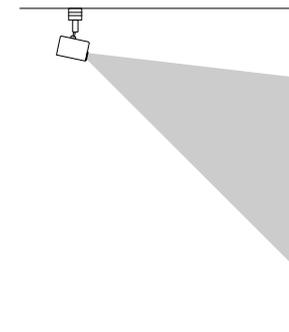
### 注意

- 近くへ移動する場合は、本機の電源を切り、すべての配線を外してください。
- 上記の注意点に加え、以下のように準備を行い、運送業者へご依頼ください。
  - 本機にSDカードが挿入されていないことを確認します。
  - 輸送中に本機が動かないよう、ボールジョイント固定ネジを最後まで締めます。
  - 本機に衝撃が伝わらないよう、本機の周囲を保護します。
  - 堅固な箱に入れ、精密機器であることを表記します。

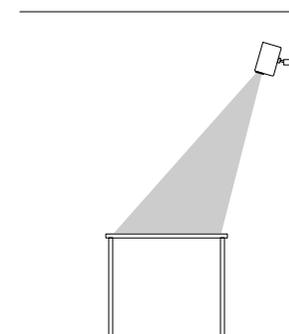
## プロジェクターの設置・取り付け

本機は以下の方法で設置・取り付けできます。

天井または配線ダクトへの取り付け

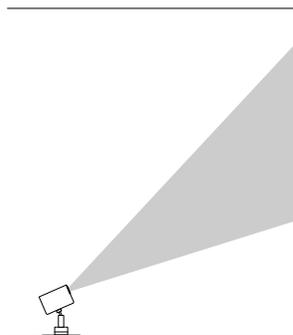


壁掛け



- 直付け金具（同梱品）は天井または壁への取り付けにのみ使用してください。
- 配線ダクトに設置するときは、オプションの配線ダクト取付金具のみを使用してください。
- 天井または壁に設置する場合、水平な天井または垂直な壁に設置することを推奨します。詳しくは、『設置工事説明書』をご覧ください。

## 床または机上への設置



- 床や机に置くときは、オプションの床置き金具を使用してください。
- 同梱の直付け金具を使って床や机に設置しないでください。
- 本機は水平で安定した場所に置いてください。

[拡張設定] メニューで [設置モード] を正しく設定してください。

### ▶ 関連項目

- 「設置時のご注意」 p.21
- 「設置モードを選択する」 p.41

## 設置時のご注意

設置の際には以下の点にご注意ください。

### 注意

棚や箱の中などの空気が循環しない場所には設置しないでください。

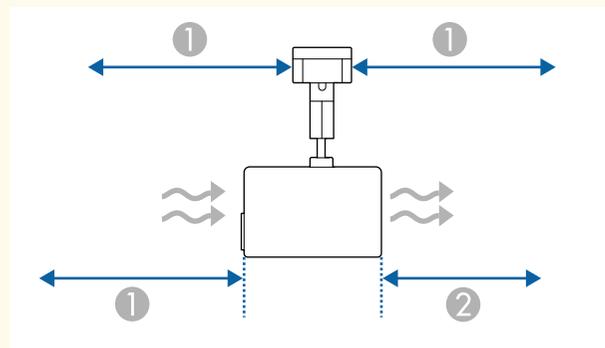


投写距離は推奨範囲内で設置してください。付録を参考にして、本機からスクリーンまでのおおよその距離を決めてください。

## 設置スペース

### 注意

- 吸気口・排気口をふさがないように、本機の周辺には以下のスペースを確保してください。



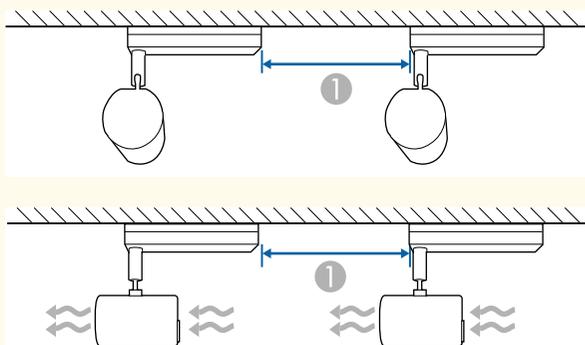
- ① 30 cm
- ② 20 cm

- 上記②のスペースが確保できないときは、排気口からの温風が当たる部分（天井、壁など）が、熱による変形や変色などの悪影響を受けないことを確認してください。
- 天井や壁に設置する場合は、エアコンの送風口から離して設置してください。

## 設置スペース（複数台並べて設置するとき）

### 注意

本機を複数台並べて設置するときは、排気口から出た熱が他のプロジェクターの吸気口に入り込まないようにしてください。



① 50 cm

### ▶▶ 関連項目

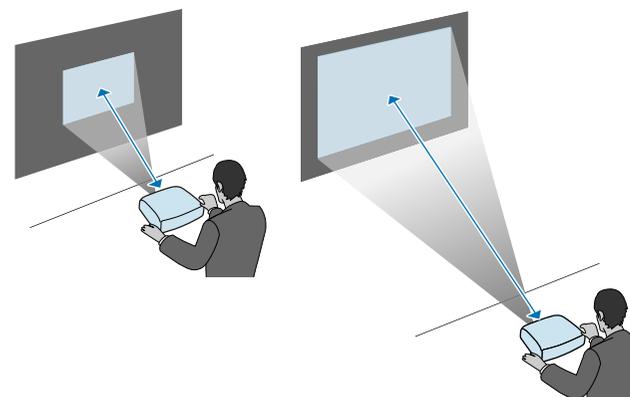
- 「スクリーンサイズと投写距離」 p.173

## 投写距離

本機からスクリーンまでの距離に応じて、映像の大きさが決まります。本機をスクリーンから遠ざけるほど、投写される映像は大きくなります。付録を参考にして、本機からスクリーンまでのおおよその距離を決めてください。



台形補正後は、映像が少し小さくなります。



### ▶▶ 関連項目

- 「スクリーンサイズと投写距離」 p.173

## ボールジョイントで投写角度を調整する

投写角度を変えたいときは、ボールジョイントを使って調整します。

### ⚠ 注意

- ボールジョイントに指を挟まないようにご注意ください。
- ボールジョイント固定ネジを締めたら、無理に映像投写部を動かさないでください。

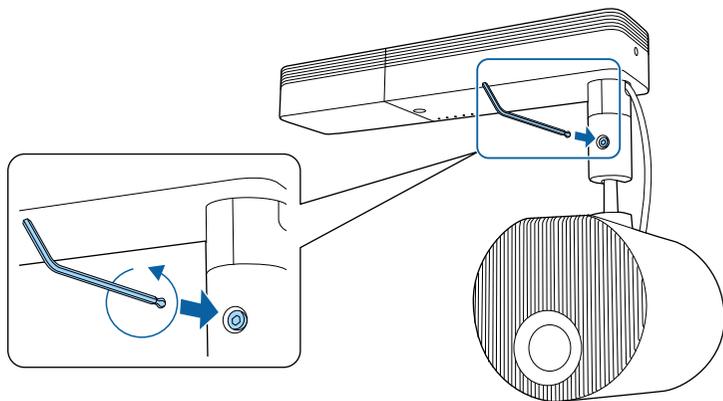
### 注意

本機が動かないように映像投写部の底面を支え、同梱の六角レンチ（対辺サイズ5.0mm）で固く締めてください。



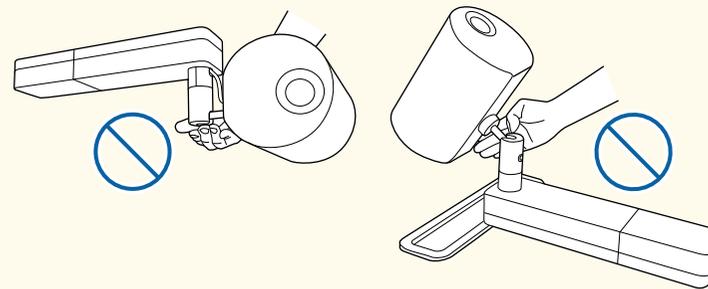
プロジェクターの電源を入れた直後は映像が安定しません。投写位置、ピント、およびズームの調整は、映像を投写し始めてから20分以上経過してから行うことをお勧めします。

- 1** リモコンの電源ボタンを押して電源を入れます。
- 2** ボールジョイント固定ネジを六角レンチで緩めます。



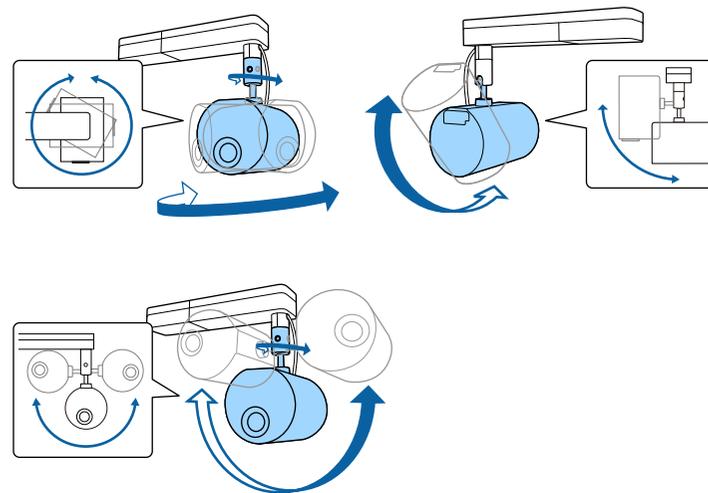
## 注意

- 映像投写部を傾けて設置している状態でネジを緩めると、映像投写部が重みで勢いよく動く可能性があります。ネジを緩めるときは、本機の映像投写部が勢いよく動かないように支えてください。



- ネジを緩めるときは、ボールジョイントを掴まないでください。指を挟むおそれがあります。

- 3** 投写角度を調整します。



## 注意

- 本機に接続されたケーブルに無理な力が加わらないようにしてください。
- ボールジョイントにケーブルを巻きつけないでください。ケーブルが破損するおそれがあります。

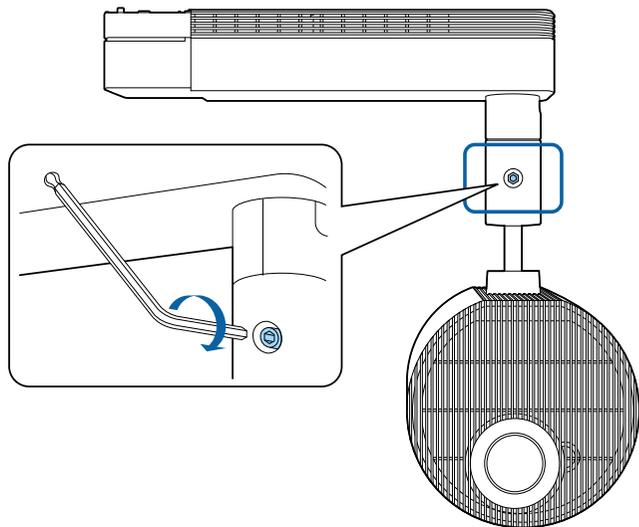


映像投写部を水平方向に360°、垂直方向に90°回転できます。  
また、横に各90°傾けることができます。

## ▶▶ 関連項目

- 「映像の大きさを調整する」 p.47
- 「ピントを調整する」 p.49
- 「テストパターンを表示する」 p.43
- 「プロジェクターの電源を入れる」 p.35

- 4** 調整が終了したら、ボールジョイント固定ネジを締め直します。



- 同梱の六角レンチで増し締めをするときは、六角レンチのボールポイント側は使用しないでください。
- 投写位置を変えたら、サイズやピントを調整します。
- テストパターンを表示すると、投写位置を合わせやすくなります。

プロジェクターと映像機器の接続方法を説明します。

## 注意

接続する前に、使用するケーブルのコネクターの形状と向きを確認してください。形状が合わないコネクターを無理に端子に押し込まないでください。お使いの機器、プロジェクターの破損や故障の原因となります。



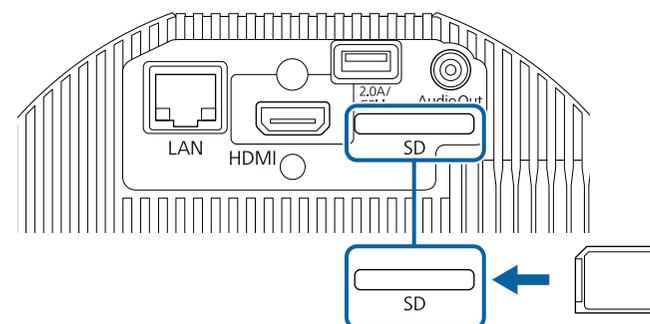
本機に同梱されているケーブルは、『かんたん操作ガイド』で確認できます。同梱されていないケーブルは、オプション品または市販品をお買い求めください。

## ▶ 関連項目

- 「SDカードを挿入する」 [p.25](#)
- 「コンピューターを接続する」 [p.25](#)
- 「HDMIケーブルで接続する」 [p.26](#)
- 「メディアストリーミング端末を接続する」 [p.26](#)
- 「外部スピーカーの接続」 [p.27](#)
- 「Bluetooth®オーディオ機器を接続する」 [p.28](#)
- 「外部センサー機器を接続する」 [p.29](#)
- 「ケーブルクランプを取り付ける/取り外す」 [p.30](#)

## SDカードを挿入する

本機のSDカードスロットにSDカードを挿入できます。



- 最大32GBのSDHC/microSDHCカードClass10以上に対応しています。
- FAT16/FAT32でフォーマットされたSDカードをお使いください。

## ▶ 関連項目

- 「プレイリストを再生する」 [p.61](#)

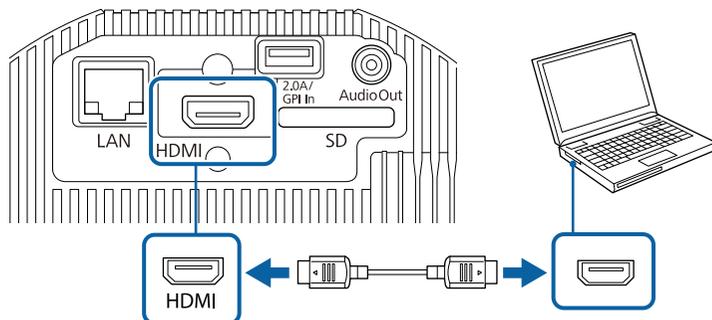
## コンピューターを接続する

HDMI端子を搭載したコンピューターを使用しているときは、HDMIケーブルでプロジェクターとコンピューターを接続して映像と音声を出力できます。



映像出力用HDMI端子を搭載していないMacをお使いのときは、HDMI変換アダプターが必要です。お使いのMacに対応した変換アダプターは、Appleにお問い合わせください。2009年以前に発売されたMacは、HDMI端子からの音声出力に対応していません。

- 1 コンピューターのHDMI出力端子にHDMIケーブルを接続します。
- 2 ケーブルのもう一方のコネクターを本機のHDMI端子に接続します。



## ▶▶ 関連項目

- 「拡張設定メニュー」 p.130

## HDMIケーブルで接続する

HDMI端子を搭載したビデオ機器を使用しているときは、HDMIケーブルでプロジェクターとビデオ機器を接続して映像と音声を出力できます。

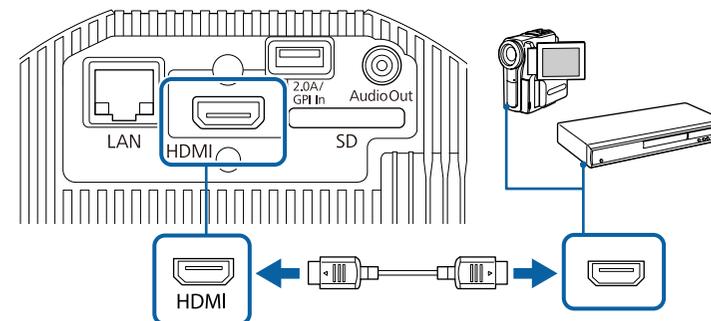
### 注意

あらかじめビデオ機器の電源を切ってください。ビデオ機器の電源が入った状態で接続すると、故障の原因となります。



- 接続する機器の端子が特有の形状をしているときは、その機器に同梱またはオプションのケーブルで接続してください。
- 使用するケーブルは、接続するビデオ機器の出力信号によって異なります。
- ビデオ機器によっては、数種類の信号を出力できます。出力できる信号の種類は、お使いのビデオ機器に同梱の取扱説明書で確認してください。

- 1 ビデオ機器のHDMI出力端子にHDMIケーブルを接続します。
- 2 ケーブルのもう一方のコネクターを本機のHDMI端子に接続します。



## ▶▶ 関連項目

- 「拡張設定メニュー」 p.130

## メディアストリーミング端末を接続する

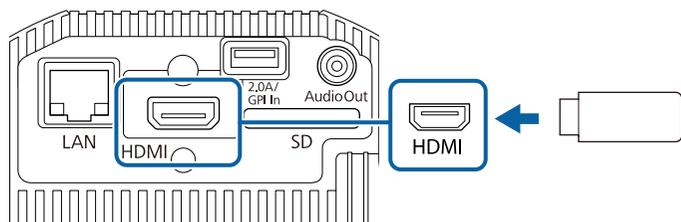
メディアストリーミング端末を本機のHDMI端子に接続します。USB給電ケーブルを接続すると、プロジェクターからメディアストリーミング端末に電力を供給できます。



映像を投写していないときもメディアストリーミング端末に給電を続けるには、[拡張設定]メニューの[DC Out/GPI In]で[常時オン/オン]を設定します。

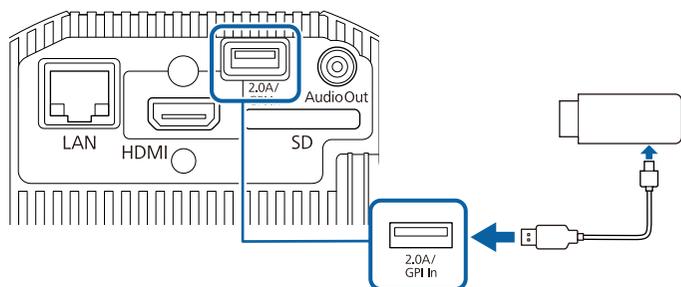
☛ [拡張設定] > [DC Out (2.0A)/GPI In設定] > [DC Out/GPI In]

- 1 メディアストリーミング端末をHDMI端子に接続します。



- 2 USB給電ケーブルを本機のDC Out (2.0A) / GPI In端子に接続します。

- 3 ケーブルのもう一端をメディアストリーミング端末のUSB端子 (Bタイプ) に接続します。



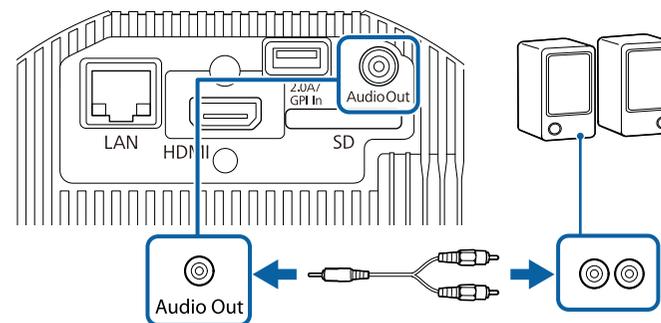
## 外部スピーカーの接続

外部スピーカーをプロジェクターに接続できます。本機のリモコンで音量を調整できます。



• スピーカー付きのアンプに本機を接続することもできます。

- 1 必要に応じてビデオケーブルを使用して、お使いのコンピューターやビデオ機器と本機が接続されていることを確認します。
- 2 ステレオミニプラグオーディオケーブル、またはその他のケーブル、アダプターなど、外部スピーカーに接続するケーブルを用意します。
- 3 必要に応じて、接続ケーブルを外部スピーカーに接続します。
- 4 接続ケーブルのもう一方のコネクターを本機のAudio Out端子に接続します。



### ▶▶ 関連項目

- 「拡張設定メニュー」 [p.130](#)
- 「明るさを設定する」 [p.56](#)

## Bluetooth®オーディオ機器を接続する

Bluetooth対応（A2DP準拠）のスピーカーやヘッドフォンを接続して、以下の入力ソースの音声を出力できます。

- HDMI
- LAN
- SD

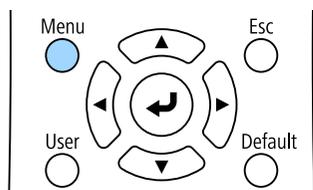
Bluetoothオーディオ機器に音声を出力するときは、「設定」メニューの「Bluetoothオーディオ」を「オン」に設定します。



- Bluetoothオーディオ機器で再生される音声には遅延が生じます。
- SCMS-T規格に準拠したBluetoothオーディオ機器を使用してください。

**1** 本機の電源を入れ、投写する機器の映像に切り替えます。

**2** リモコンの【Menu】ボタンを押します。



**3** 「設定」を選択して、【Enter】ボタンを押します。



**4** 「Bluetooth」を選択し、【Enter】ボタンを押します。

**5** 「Bluetoothオーディオ」を「オン」に設定します。



**6** 接続するBluetoothオーディオ機器を、ペアリング可能な設定にします。詳しくは、Bluetoothオーディオ機器の取扱説明書をご覧ください。

- 7** [Bluetooth機器検索] を選択して、【Enter】 ボタンを押します。接続可能な機器の一覧が表示されます。
- 8** 接続するBluetoothオーディオ機器を選択して、【Enter】 ボタンを押します。
- 9** 【Menu】 ボタンまたは【Esc】 ボタンを押してメニューを終了します。

本機の電源を入れ直したときは、最後に接続した機器に自動的に接続します。接続機器を切り替えるときは、手順6から行います。

▶ 関連項目

- 「Bluetooth仕様」 p.29

## Bluetooth仕様

バージョン	Bluetooth Ver. 4.2
出力	Class 2
通信可能距離	約10m
対応プロファイル	A2DP
コンテンツ保護	SCMS-T方式
使用周波数	2.4 GHz帯 (2.402 - 2.480 GHz)
対応コーデック	SBC、Qualcomm® aptX™ audio

**⚠ 警告**

医療機器、自動ドアや火災報知機などの自動制御機器の近くで使用しないでください。電磁妨害による誤動作や事故の原因となります。



- 著作権保護 (SCMS-T) に対応しているBluetooth機器を接続してください。
- 機器の規格や種類によっては接続できないことがあります。
- 通信可能距離内で接続しているときでも、電波状況によっては接続が切れることがあります。
- Bluetoothの通信方式は無線LAN (IEEE802.11b/g/n) や電子レンジと同一の周波数帯 (2.4GHz) を使用しています。そのため、同時に使用すると電波干渉が発生し、映像や音声途切れたり接続できないことがあります。同時に使用したいときは、Bluetooth機器をこれらの機器の近くで使用しないでください。
- Bluetooth機器と無線LANを同時に使用するとき、無線LANは5GHz帯でお使いください。2.4GHz帯を使用すると電波干渉が発生し、映像や音声途切れたり、アップロード時間が長くなったりすることがあります。
- 複数のBluetooth機器を同時に接続することはできません。

## 外部センサー機器を接続する

USBケーブルで外部センサー機器に接続して、センサーからの入力信号を受信することができます。詳しくは『EV-115/EV-110 外部センサーセットアップガイド』をご覧ください。

以下のWebサイトからダウンロードしてください。

[epson.jp/download](http://epson.jp/download)

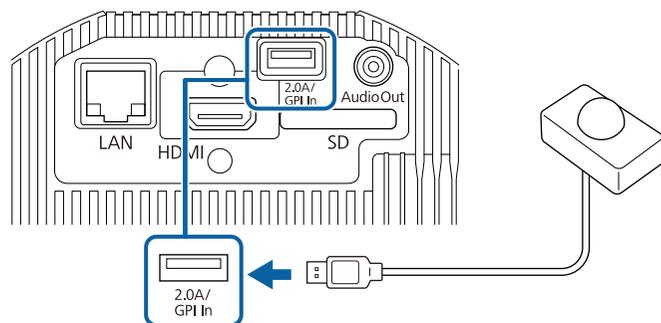
**注意**

正しく接続しないと故障の原因となることがあります。外部センサー機器との接続は専門の設置業者へご依頼ください。



- DC Out (2.0A) / GPI In端子ではUSB規格の信号を受信できません。
- センサーのケーブルを DC Out (2.0A) / GPI In端子に接続できるように加工する必要があります。市販のコネクターを使用することもできます。
- センサーだけでなく、ボタンやスイッチなどの外部機器にも接続することができます。

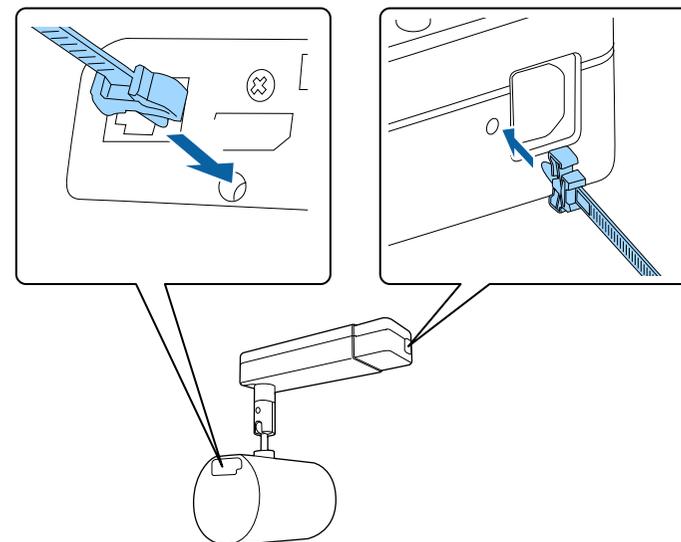
- 1** センサーの出力端子にUSBケーブルを接続します。
- 2** ケーブルのもう一方のコネクターを本機のDC Out (2.0A) / GPI In端子に接続します。



## ▶ 関連項目

- 「外部センサーを使用する」 [p.81](#)

- 2** 各ケーブルクランプのアンカーの端を、各端子の側にあるケーブルホルダーに差し込みます。

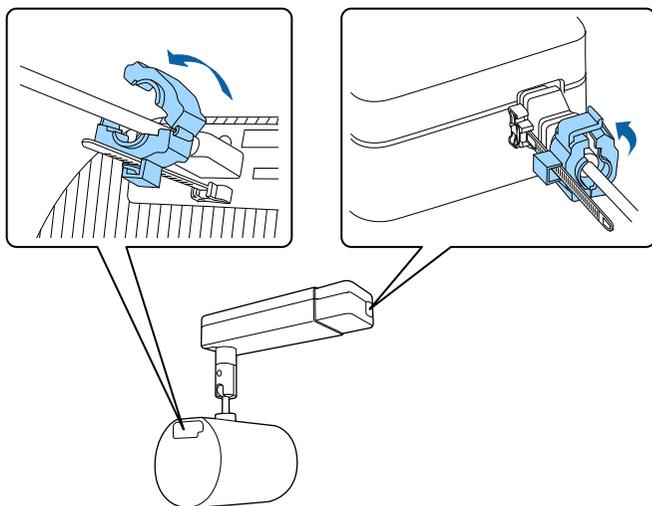


## ケーブルクランプを取り付ける/取り外す

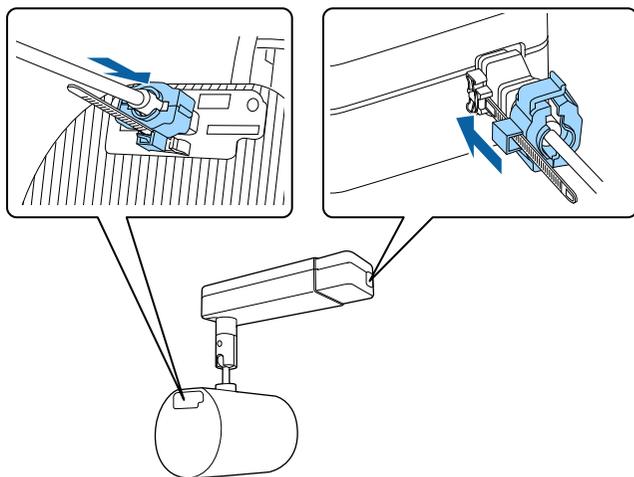
ケーブルクランプを差し込むことで、電源コードやHDMIケーブルが重みで抜けないようにすることができます。

- 1** 電源コードとHDMIケーブルを本機に接続します。

- 3** 開いた状態のケーブルクランプを、電源コードとHDMIケーブルのケーブルを覆うように配置します。このとき、まだロックはしません。



- 4** 各ケーブルクランプをアンカーの上にスライドさせ、ロックします。



ケーブルクランプを取り外すには、ケーブルクランプを開いてケーブルを抜きます。各ケーブルクランプのアンカーをつまみ、注意して引っ張りながらケーブルホルダーから抜きます。

本機に付属の単3形電池2個をリモコンに取り付けます。

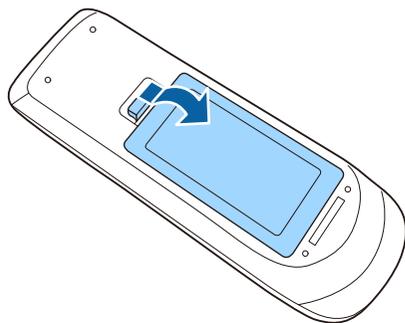
## 注意

電池を取り扱う前に、『安全にお使いいただくために』を必ずお読みください。



電池がなくなったら電池を交換してください。リモコンには、単3マンガン電池またはアルカリ電池2個を使用します。

**1** 電池カバーを外します。

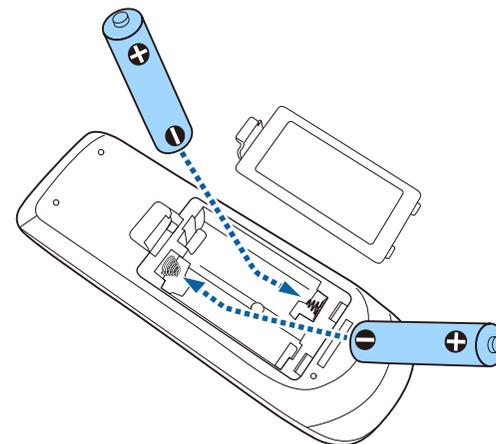


**2** 古い電池が入っていれば取り外します。



使用済みの電池は、地域の廃棄ルールに従って廃棄してください。

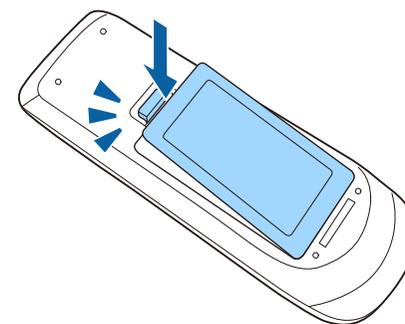
**3** 電池の + と - の向きを確認してリモコンにセットします。



## 警告

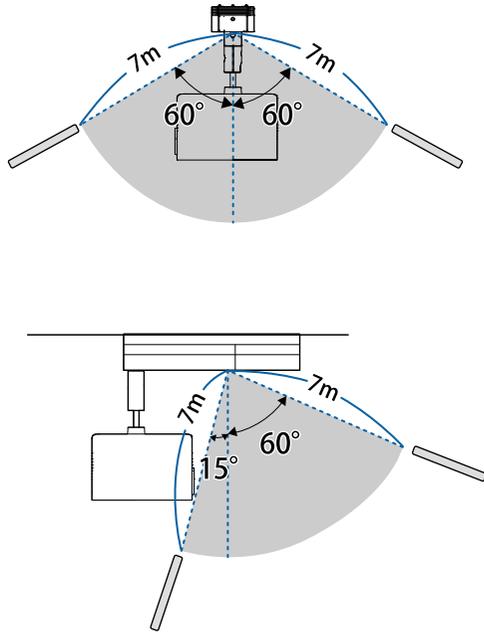
電池ホルダー内の表示を確認して、(+)(-)を正しく入れてください。電池の使い方を誤ると、電池の破裂・液もれにより、火災・けが・製品腐食の原因となることがあります。

**4** 電池カバーを閉め、カチッと音がするまで押し込みます。



リモコンを使用して、室内の離れた場所からプロジェクターを制御できます。

リモコンは、本機のリモコン受光部に対して下図の角度で使用してください。



蛍光灯の強い光や直射日光が当たる環境ではリモコンを使用しないでください。プロジェクターが操作に反応しないことがあります。リモコンを長期間使用しないときは、電池を取り外しておきます。

# プロジェクターの基本機能を使用する

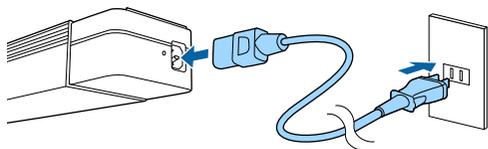
プロジェクターの基本機能を説明します。

## ▶ 関連項目

- 「プロジェクターの電源を入れる」 [p.35](#)
- 「プロジェクターの電源を切る」 [p.37](#)
- 「日時を設定する」 [p.38](#)
- 「メニューの言語を選択する」 [p.40](#)
- 「設置モードを選択する」 [p.41](#)
- 「テストパターンを表示する」 [p.43](#)
- 「映像の形状を補正する」 [p.44](#)
- 「映像の大きさを調整する」 [p.47](#)
- 「映像の位置を調整する」 [p.48](#)
- 「ピントを調整する」 [p.49](#)
- 「投写映像を切り替える」 [p.50](#)
- 「映像のアスペクト比を設定する」 [p.51](#)
- 「映像を最適化する (カラーモード)」 [p.53](#)
- 「明るさを設定する」 [p.56](#)
- 「音量ボタンで音量を調整する」 [p.58](#)

プロジェクターの電源を入れた後、使用するコンピューターまたはビデオ機器の電源を入れます。

- 1 本機とコンセントを電源コードで接続します。



配線ダクトに取り付けている場合、配線ダクトの電源をオンにすると、本機がスタンバイ状態になります。

本機の電源インジケータが青色に点灯します（スタンバイ状態）。スタンバイ状態は、プロジェクターに電力が供給されていて、電源が入っていない状態です。

- 2 リモコンの電源ボタンを押して電源を入れます。  
ステータスインジケータが青色に点滅します（ウォームアップ状態）。ウォームアップが終わると、ステータスインジケータが青色に点灯します。

映像が投写されないときは、以下を試してください。

- 接続されているコンピューターまたはビデオ機器の電源を入れます。
- ノートパソコンを使用するときは、コンピューターの画面出力を切り替えます。
- DVDなどのメディアを挿入して再生します。
- 投写したい入力ソースに対応するリモコンのボタンを押します。

## ⚠ 警告

- 投写中は本機のレンズをのぞきこまないでください。目に損傷を与えるおそれがあります。特にお子様やペットの行動にご注意ください。
- 本機から離れた場所でリモコンを使って電源を入れるときは、レンズをのぞいている人がいないことを確認してください。
- 小さなお子様には操作させないでください。操作する可能性がある場合は、必ず保護者が同伴してください。
- 投写中に本などで投写光を遮らないでください。投写光を遮ると、光の当たる部分が高温になって溶けたり、やけどや火災の原因になります。また、反射した光でレンズ部が高温になり、本機が故障する原因となります。投写を中断するときはAVミュート機能を使うか、本機の電源を切ってください。
- 本機のケースを開けないでください。また、本機の分解・改造は、絶対にしないでください。内部に電圧の高い部分があり、火災・感電・事故の原因となります。
- 本機に異常が発生した場合は、すぐに電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてお買い上げの販売店またはお問い合わせ先に記載の連絡先にご相談ください。そのまま使用を続けると、感電や火災の原因だけでなく、視力障害の原因にもなります。

## ⚠ 注意

投写中は、排気口の付近に、熱で変形したり、悪影響を受けるものを置いたり、手や顔を近づけたりしないでください。

## 注意

レンズ部分に手や指が触れないように作業してください。レンズ面に指紋や皮脂が付くと投写品質が劣化します。



- [拡張設定] メニューの [ダイレクトパワーオン] が [オン] に設定されているときは、本機に電源コードを接続したときに自動で電源が入ります。停電復旧時などにコンセントに電源プラグが差し込まれた状態になっていると、本機の電源がオンになりますのでご注意ください。
  - ☛ [拡張設定] > [動作設定] > [ダイレクトパワーオン]
- [拡張設定] メニューの [オートパワーオン] を有効にしているときは、入力ソース機器からの信号を検出すると自動的に電源が入ります。
  - ☛ [拡張設定] > [動作設定] > [オートパワーオン]
- 液晶パネルについて
  - 使用の有無に関わらず、高出力のレーザー光が投写レンズ面に入ると、液晶パネルの故障の原因となります。
  - 長時間同じ映像を投写すると、液晶パネルに焼き付きが発生する場合があります。 [初期化] メニューの [リフレッシュモード] で焼き付きを軽減してください。

## ▶▶ 関連項目

- 「拡張設定メニュー」 [p.130](#)
- 「明るさを設定する」 [p.56](#)

使用後にプロジェクターの電源を切ります。



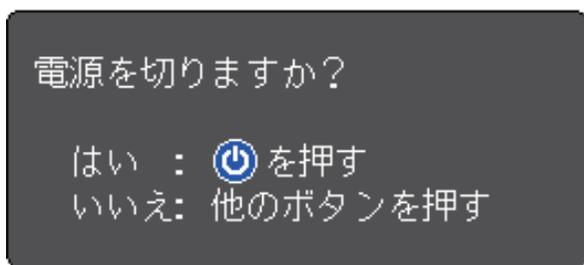
- 本機を長くお使いいただくために、使用しないときは本機の電源を切ってください。光源の寿命は、メニューの設定、環境条件、および使用状況によって異なります。投写映像の明るさは、使用時間の経過にもなって低下します。
- [初期化] メニューの [光源キャリブレーション] が [定期的な実行] に設定されていて、プロジェクターが以下の状態にあるときに本機の電源を切ると、光源キャリブレーションが自動で開始します。
  - 前回の光源キャリブレーションの実施から100時間が経過している場合
  - 本機を20分以上使用している場合
- 本機はダイレクトシャットダウン機能に対応していますので、電源ブレーカーで直接電源を切ることができます。

- 3** 本機を搬送または保管するときは、電源インジケータが青色に点灯していることを確認してから電源コードを抜いてください。



配線ダクトに取り付けている場合は、配線ダクトの電源をオフにします。

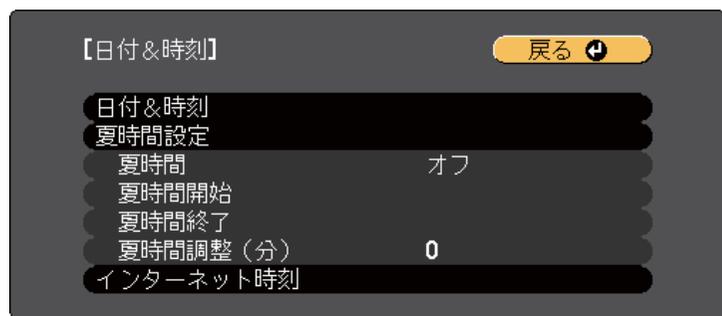
- 1** プロジェクターまたはリモコンの電源ボタンを押します。  
シャットダウン確認画面が表示されます。



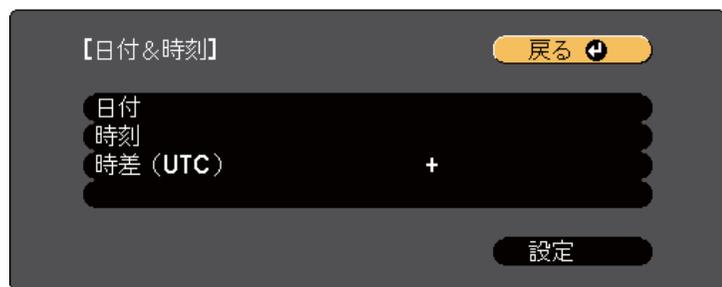
- 2** 再度電源ボタンを押します。(電源を切らないときは、他のボタンを押します。)  
光源がオフになり、ステータスインジケータが消灯します。

プロジェクターの日時を設定します。

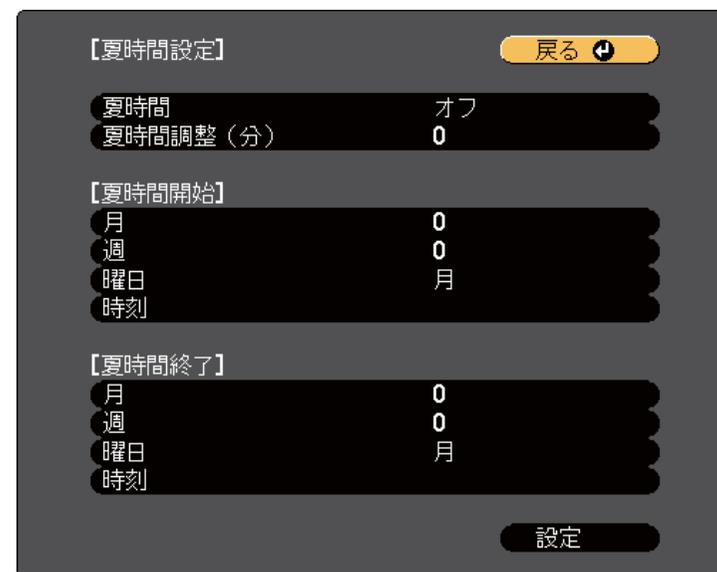
- 1** 本機の電源を入れます。
- 2** リモコンの【Menu】ボタンを押します。
- 3** [拡張設定] を選択し、【Enter】ボタンを押します。
- 4** [動作設定] を選択し、【Enter】ボタンを押します。
- 5** [日付&時刻] を選択し、【Enter】ボタンを押します。  
次の画面が表示されます。



- 6** [日付&時刻] を選択し、【Enter】ボタンを押します。  
次の画面が表示されます。



- 7** [日付] を選択し、【Enter】ボタンを押します。表示されたソフトキーボードで本日の日付を入力します。
- 8** [時刻] を選択し、【Enter】ボタンを押します。表示されたソフトキーボードで現在の時刻（現地時間）を入力します。
- 9** [時差 (UTC)] を選択し【Enter】ボタンを押して、協定世界時からの時差を設定します。
- 10** 終了したら、[設定] を選択し、【Enter】ボタンを押します。
- 11** 夏時間を有効にするときは、[夏時間設定] を選択し、【Enter】ボタンを押します。表示された画面の各項目を設定します。



- 12** 終了したら、[設定] を選択し、【Enter】ボタンを押します。

- 13** インターネット時刻サーバーから自動的に時刻を設定するときは、[インターネット時刻] を選択し、【Enter】ボタンを押します。表示された画面の各項目を設定します。



- 14** 終了したら、[設定] を選択し、【Enter】ボタンを押します。
- 15** 【Menu】ボタンまたは【Esc】ボタンを押してメニューを終了します。

[言語] 設定でメニューおよびメッセージの言語を変更できます。

- 1 本機の電源を入れます。
- 2 リモコンの【Menu】ボタンを押します。
- 3 [拡張設定] を選択し、【Enter】ボタンを押します。



- 4 [言語] を選択し、【Enter】ボタンを押します。
- 5 使用する言語を選択し、【Enter】ボタンを押します。
- 6 【Menu】ボタンまたは【Esc】ボタンを押してメニューを終了します。

プロジェクターの設置方法によって、設置モードを変更します。

- [フロント・天吊り]：天井や配線ダクトに設置して、スクリーンの正面から投写します。
- [リア・天吊り]：天井や配線ダクトに設置して、リアスクリーンの裏側から映像を左右反転して投写します。
- [フロント]：机の上に設置して、映像を上下反転して投写します。
- [リア]：机の上に設置して、リアスクリーンの裏側から映像を上下左右反転して投写します。

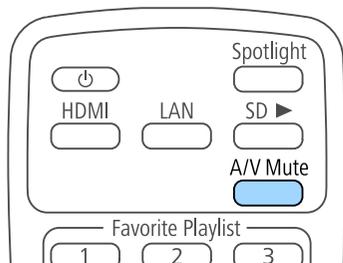
## ▶ 関連項目

- 「リモコンで設置モードを変更する」 p.41
- 「メニューから設置モードを変更する」 p.41
- 「プロジェクターの設置・取り付け」 p.20

## リモコンで設置モードを変更する

設置モードを変更して、映像を上下反転します。

- 1 本機の電源を入れて、映像を表示します。
- 2 リモコンの【A/V Mute】ボタンを5秒間押します。



映像が一時的に消え、上下反転して再度投写されます。

- 3 元の設置モードに戻すには、【A/V Mute】ボタンをもう一度5秒間押します。

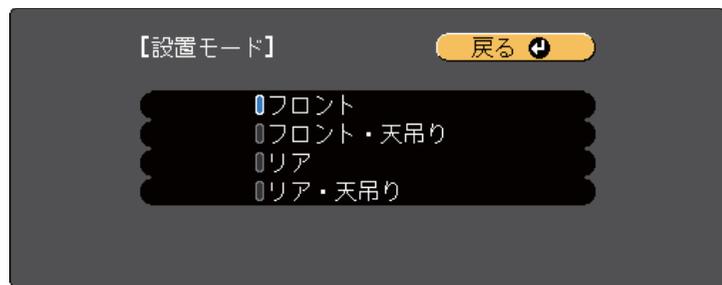
## メニューから設置モードを変更する

メニューから設置モードを変更して、映像を上下左右反転します。

- 1 本機の電源を入れて、映像を表示します。
- 2 リモコンの【Menu】ボタンを押します。
- 3 [拡張設定] を選択し、【Enter】ボタンを押します。



- 4 「設置モード」を選択して、【Enter】ボタンを押します。
- 5 お使いの環境に合わせた設置モードを選択して、【Enter】ボタンを押します。



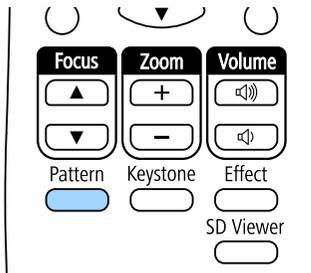
- 6 【Menu】ボタンまたは【Esc】ボタンを押してメニューを終了します。

テストパターンを表示させると、映像機器を接続せずに投写映像を調整できます。



テストパターンで調整できない項目や、映像の微調整は、映像機器から実際に映像を投写して調整してください。

- 1 本機の電源を入れます。
- 2 リモコンの【Pattern】ボタンを押します。



テストパターンが表示されます。

- 3 テストパターンの表示中に、リモコンの左右ボタン、または【Enter】ボタンを押すと、テストパターンが切り替わります。
- 4 映像を調整します。
- 5 テストパターンを消すには、【Esc】ボタンを押します。



プロジェクターメニューからもテストパターンを選択できます。

☞ [設定] > [テストパターン]

スクリーンの正面にプロジェクターを設置して、水平にすることで、傾きやゆがみのない映像を投写できます。スクリーンに対して斜めにプロジェクターを設置したり、上下に傾けて設置したりしたときは、映像の形状を補正します。

補正後は、映像が少し小さくなります。

投写映像の画質を維持するためには、プロジェクターの設置位置を調整して映像サイズや形状を調整することをお勧めします。

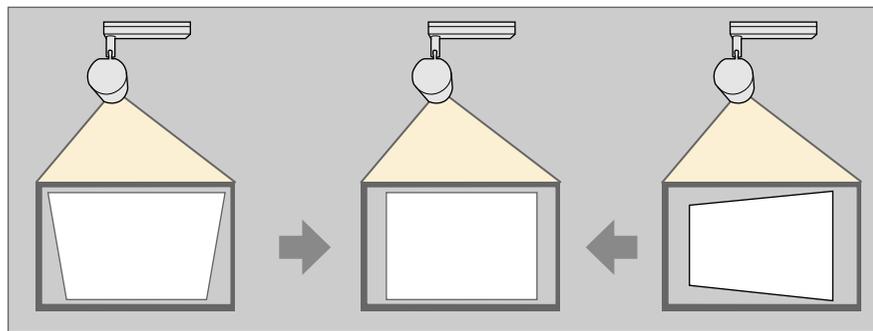
## ▶ 関連項目

- 「台形補正ボタンで映像のゆがみを補正する」 [p.44](#)
- 「Quick Corner機能で映像のゆがみを補正する」 [p.45](#)

## 台形補正ボタンで映像のゆがみを補正する

投写映像のゆがみを補正できます。

リモコンの【Keystone】ボタンを押して、映像の縦方向、横方向のゆがみをそれぞれ補正します。

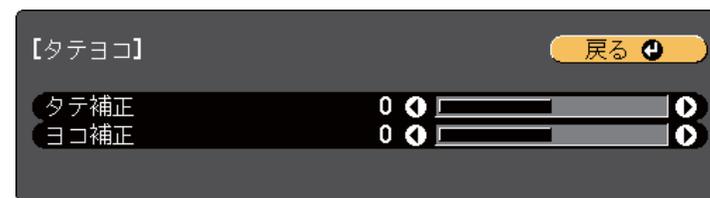


- 同時に複数の補正方法を使って補正することはできません。
- ヨコ方向は投写角度左右40°まで補正できます。
- タテ方向は投写角度上下45°まで補正できます。

- 1 本機の電源を入れて、映像を表示します。
- 2 リモコンの【Keystone】ボタンを押し、[タテヨコ] を選択して、【Enter】ボタンを押します。

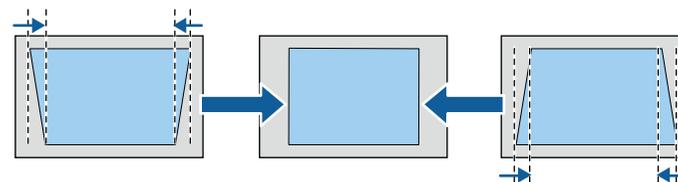


[タテヨコ台形補正] 調整画面が表示されます。

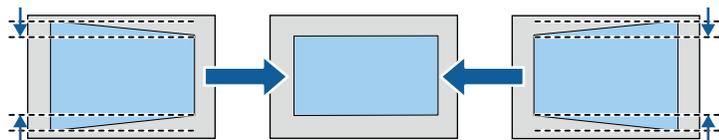


- 3 リモコンの上下左右ボタンで補正方法を選択して、映像の形状を補正します。

- [タテ台形補正]



## • [ヨコ台形補正]



### 4 終了したら、【Esc】ボタンを押します。

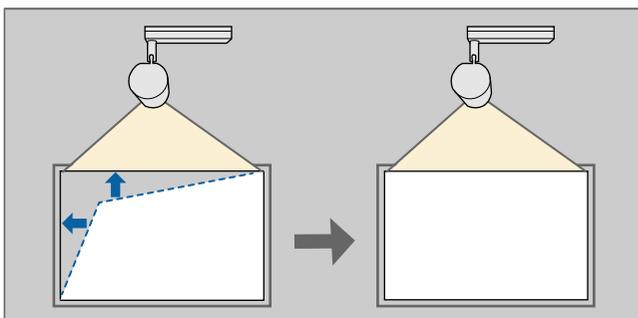
補正後は、映像が少し小さくなります。

#### ▶ 関連項目

- 「設定メニュー」 p.128

## Quick Corner機能で映像のゆがみを補正する

[Quick Corner] 機能を使用して、映像のゆがみと大きさを補正します。



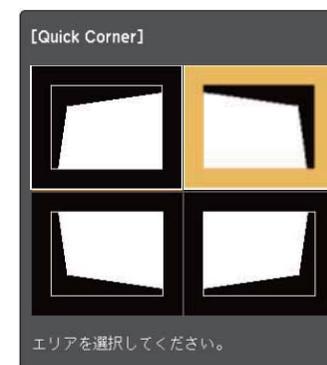
### 1 本機の電源を入れて、映像を表示します。

- 2 リモコンの【Keystone】ボタンを押し、[Quick Corner] を選択して、【Enter】ボタンを押します。必要に応じてもう一度【Enter】ボタンを押します。



エリア選択画面が表示されます。

- 3 上下左右ボタンを押して、調整するコーナーを選択します。【Enter】ボタンを押します。



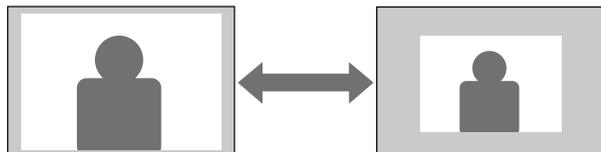
Quick Cornerで補正した結果を初期化するには、エリア選択画面が表示されているときに【Esc】ボタンを約2秒間押し、[はい]を選択します。

- 4 上下左右ボタンを押して、映像の形状を調整します。【Enter】ボタンを押すと、エリア選択画面に戻ります。

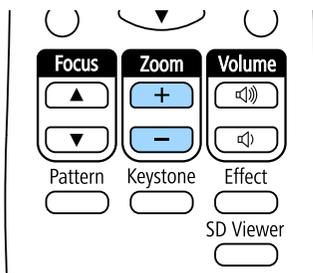


- 5** 手順3と4を繰り返して、調整が必要なすべてのコーナーを調整します。
- 6** 終了したら、【Esc】ボタンを押します。

リモコンで映像の大きさを調整できます。



- 1 本機の電源を入れて、映像を表示します。
- 2 リモコンの【Zoom】ボタンを押して調整します。



- 光学ズームで映像のサイズを最小にするとメッセージが表示され、デジタルズームに切り替わります。
- デジタルズームで映像のサイズを最大にするとメッセージが表示され、光学ズームに切り替わります。

- 3 終了したら、【Esc】ボタンを押します。

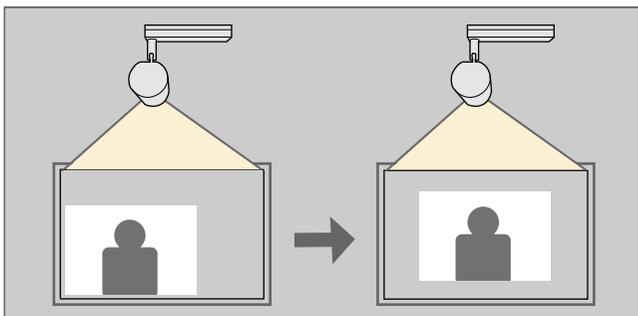
## ▶ 関連項目

- 「映像の位置を調整する」 [p.48](#)

[デジタルピクチャーシフト] 機能を使って、本機を動かさずに映像の投写位置を微調整できます。

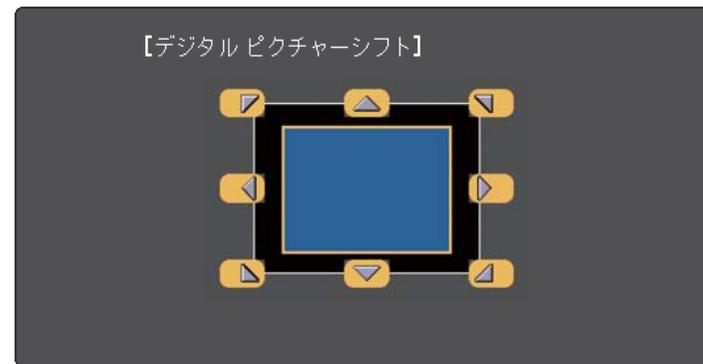


- デジタルズームを最大に設定しているときは投写位置を調整できません。



- 1 本機の電源を入れて、映像を表示します。
- 2 リモコンの【Zoom】ボタンを押して映像のサイズを調整します。  
ズームが光学ズームのときは、メッセージが表示されるまで映像のサイズを縮小して、デジタルズームに切り替える必要があります。
- 3 【Enter】ボタンを押して、デジタルピクチャーシフト画面を表示します。

- 4 上下左右ボタンで映像の位置を調整します。



- 隣り合う上下左右ボタンを2つ同時に押すと、映像を斜めに移動できます。

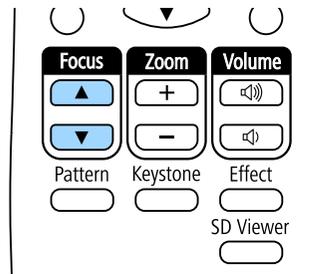
- 5 【Esc】ボタンを押して調整画面を終了します。  
約10秒間何もしないと、調整画面は自動的に消えます。



- デジタルピクチャーシフトの設定は電源を切っても記憶されています。本機の設置位置や角度を変えたときは、再度調整してください。

リモコンの【Focus】ボタンを使用して、ピントのズレを補正します。

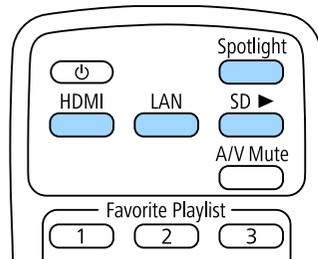
- 1 リモコンの【Focus】ボタンを押して調整します。



- 2 【Esc】ボタンを押して調整を終了します。

コンピューターとDVDプレーヤーなど複数の機器をプロジェクターに接続しているときは、投写する映像を切り替えます。

- 1** 接続機器の電源が入っていることを確認します。
- 2** ビデオ機器の映像を投写するときは、DVDなどのメディアを挿入して再生します。
- 3** リモコンで、投写したい入力ソースのボタンを押します。



本機はさまざまな縦横比（アスペクト比）で映像を表示できます。通常は、接続機器からの入力信号によって映像のアスペクト比が決まります。常に特定のアスペクト比で投写するときは、[映像] メニューでアスペクトを設定します。

## ▶ 関連項目

- ・「映像のアスペクト比を切り替える」 p.51
- ・「アスペクトモードの種類」 p.51
- ・「各アスペクトモードの投写イメージ」 p.52
- ・「映像メニュー」 p.127

## 映像のアスペクト比を切り替える

投写する映像のアスペクト比を切り替えます。

- 1 本機の電源を入れ、投写する機器の映像に切り替えます。
- 2 リモコンの【Menu】ボタンを押します。
- 3 [映像] を選択し、【Enter】ボタンを押します。



- 4 [アスペクト] を選択し、【Enter】ボタンを押します。

- 5 入力信号に合わせてアスペクト比を選択して、【Enter】ボタンを押します。



- 6 【Menu】ボタンまたは【Esc】ボタンを押してメニューを終了します。

## アスペクトモードの種類

接続機器からの入力信号に応じて、以下のアスペクト比を選択できます。



- ・アスペクト比設定は、入力ソースがHDMIのときのみ使用できません。
- ・選択できるアスペクト比は、接続機器からの入力信号によって異なります。
- ・著作権法で保護されている映像をアスペクト機能で圧縮、引き伸ばし、分割などを行い、営利目的で公衆に視聴させた場合は、著作権者の権利を侵害するおそれがあります。

アスペクトモード	説明
オート	入力信号と [入力解像度] の設定に応じて、アスペクト比が自動的に設定されます。
16:9	入力信号のアスペクト比が16:9に変換されます。
フル	入力信号のアスペクト比を維持せずに、投写エリア全体に映像を表示します。
ズーム	入力信号のアスペクト比を維持し、投写エリアの横幅に合わせて映像を表示します。
リアル	入力信号のアスペクト比と解像度を維持して表示します。

アスペクトモード	入力信号のアスペクト比		
	16:10	16:9	4:3
フル			
ズーム			
リアル			

## 各アスペクトモードの投写イメージ

入力信号のアスペクト比と解像度によっては、特定のアスペクトモードで黒帯が発生したり、映像の端が欠けたりすることがあります。黒帯が発生する領域と映像の欠けが発生する領域は、以下の表をご覧ください。



[リアル] を選択したときのイメージは、入力信号の解像度によって異なることがあります。

アスペクトモード	入力信号のアスペクト比		
	16:10	16:9	4:3
オート			
16:9			

本機は、投写環境や映像の種類に応じて、明るさ、コントラスト、色を最適化するためのカラーモードを用意しています。環境や映像の種類に合ったカラーモードを選択できます。

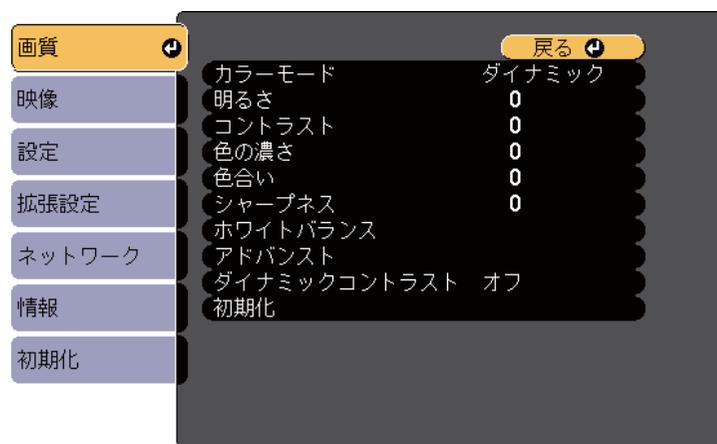
## ▶ 関連項目

- 「カラーモードを変更する」 p.53
- 「カラーモードの種類」 p.53
- 「映像の光量を調整する」 p.53
- 「ガンマを調整する」 p.54

## カラーモードを変更する

リモコンでカラーモードを変更して、映像を最適化します。

- 1 本機の電源を入れ、投写する機器の映像に切り替えます。
- 2 リモコンの【Menu】ボタンを押します。
- 3 [画質] を選択し、【Enter】ボタンを押します。



4 [カラーモード] を選択して、【Enter】ボタンを押します。

5 お好みのカラーモードを一覧から選択して、【Enter】ボタンを押します。

6 【Menu】ボタンまたは【Esc】ボタンを押してメニューを終了します。

## ▶ 関連項目

- 「画質メニュー」 p.125

## カラーモードの種類

投写している映像の種類に応じて、以下のカラーモードを設定できます。

カラーモード	説明
ダイナミック	最も明るいモードです。明るさを優先したい場合に適しています。
ノーマル	[ダイナミック] よりも明るさを抑え、自然な色合いの映像になります。

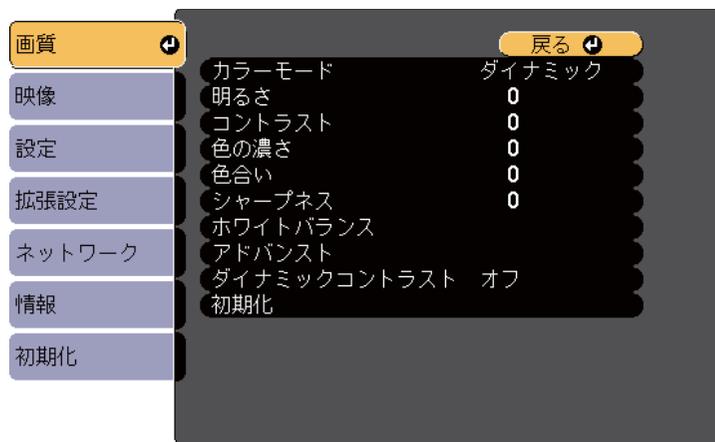
## 映像の光量を調整する

ダイナミックコントラストをオンにすると、投写映像の光量を自動的に調整できます。光量を自動的に調整することで、映像の明るさに合わせてコントラストを改善します。

- 1 本機の電源を入れ、投写する機器の映像に切り替えます。

**2** 操作パネルまたはリモコンの【Menu】ボタンを押します。

**3** [画質] を選択し、【Enter】ボタンを押します。



**4** [ダイナミックコントラスト] を選択して、【Enter】ボタンを押します。

**5** 以下のいずれかを選択し、【Enter】ボタンを押します。

- [標準]：標準の光量調整を行います。
- [高速]：シーンが切り替わったとき、すぐに光量を調整します。



**6** 【Menu】ボタンまたは【Esc】ボタンを押してメニューを終了します。

## ▶ 関連項目

- 「画質メニュー」 p.125

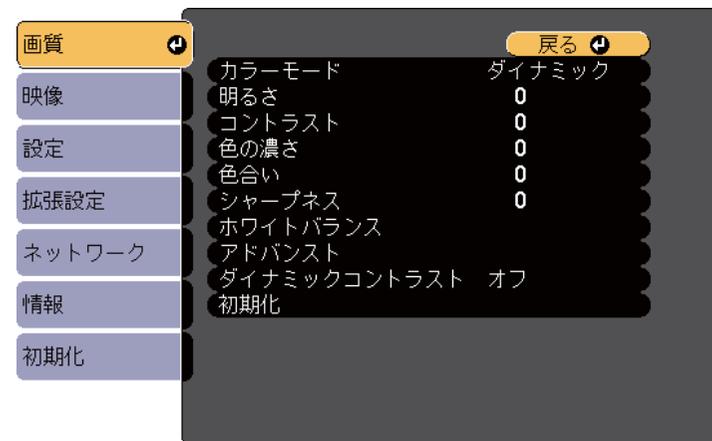
## ガンマを調整する

ガンマを調整することにより、接続機器の違いにより生じる投写映像の発色の違いを調整します。

**1** 本機の電源を入れ、投写する機器の映像に切り替えます。

**2** リモコンの【Menu】ボタンを押します。

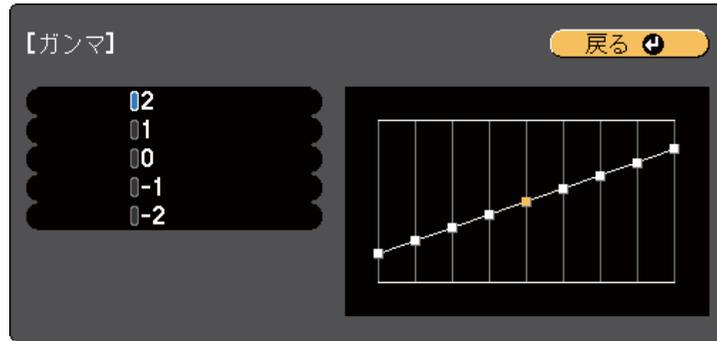
**3** [画質] を選択し、【Enter】ボタンを押します。



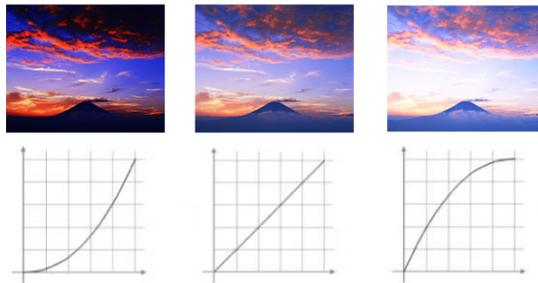
**4** [アドバンスト] を選択し、【Enter】ボタンを押します。

**5** [ガンマ] を選択し、【Enter】ボタンを押します。

## 6 補正値を選んで調整します。



数値が小さいほど、映像全体の明るさを抑えてメリハリのある映像になります。数値が大きいと、映像の暗い部分が明るくなり、明るい部分は色の濃淡が小さくなります。



## 7 【Menu】ボタンまたは【Esc】ボタンを押してメニューを終了します。

### ▶ 関連項目

- 「画質メニュー」 [p.125](#)

光源の明るさを設定します。

- 1 本機の電源を入れ、投写する機器の映像に切り替えます。
- 2 リモコンの【Menu】ボタンを押します。
- 3 [設定] を選択して、【Enter】ボタンを押します。

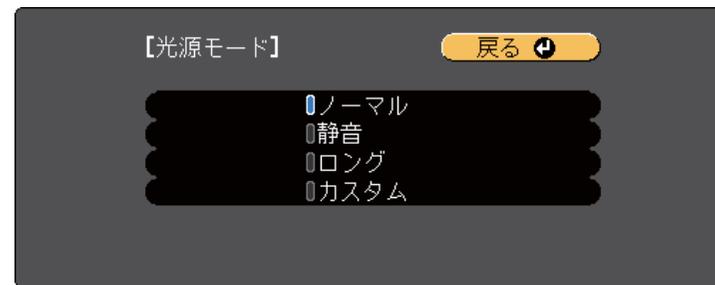


- 4 [明るさ設定] を選択し、【Enter】ボタンを押します。

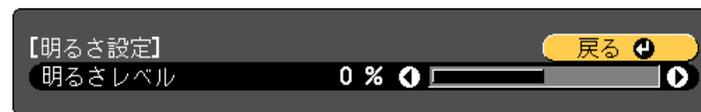
- 5 [光源モード] を選択し、【Enter】ボタンを押します。

- 6 次のいずれかを選択します。
  - [ノーマル]：明るさを落としたりたくないときに選択します。光源使用時間の目安は約20,000時間です。
  - [静音]：ファンの音が気になるときに選択します。明るさレベルは約50%になります。光源使用時間の目安は約20,000時間です。

- [ロング]：光源の寿命を延ばしたいときに選択します。明るさレベルは約50%になります。光源使用時間の目安は約30,000時間です。
- [カスタム]：明るさレベルを50～100%の範囲で設定します。



- 7 [光源モード] で [カスタム] を選択したときは、[明るさレベル] を選択し、左右矢印ボタンを押して明るさレベルを設定します。



- 8 【Menu】ボタンまたは【Esc】ボタンを押してメニューを終了します。



光源の明るさを一定に保ちたいときは、[初期化]メニューの[光源キャリブレーション]で[定期的に行う]を選択してください。

## ▶▶ 関連項目

- 「光源の使用時間」 p.57
- 「本機仕様」 p.176

## 光源の使用時間

光源の使用時間は [明るさレベル] の設定によって異なります。



- 光源の使用時間はお使いの環境によって異なります。
- 以下に示す時間は目安であり、保証期間ではありません。
- 本機の使用条件や使用環境によっては、目安時間より短い時間でも、本機内部の部品交換が必要となることがあります。

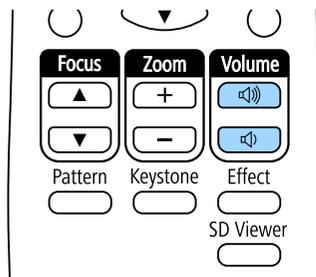
### 明るさレベルと光源使用時間

明るさレベルの設定	光源の明るさが半減するまでの時間 (目安)
100%	20,000時間
90%	22,000時間
80%	24,000時間
70%	26,000時間
60%	28,000時間
50%	30,000時間

Audio Out端子に接続した外部スピーカーから出力される音声の音量を調整できます。

本機に接続しているBluetoothオーディオ機器の音量も調整できます。

- 1 プロジェクターの電源を入れ、投写を開始します。
- 2 リモコンの【Volume】 ボタンを押して音量を調整します。



音量調節画面が表示されます。



「設定」メニューの「音量」でも設定できます。

## ⚠ 注意

初めから音量を上げすぎないでください。突然大きな音が出て、聴力障害の原因となることがあります。

電源を切る前に音量を下げておき、電源を入れた後で徐々に上げてください。

## ▶ 関連項目

- 「設定メニュー」 [p.128](#)

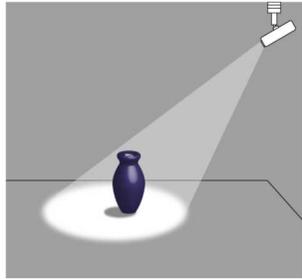
# プロジェクターの便利な機能

プロジェクターの各機能を使用します。

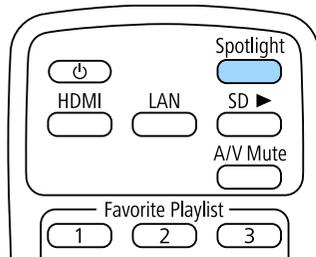
## ▶ 関連項目

- 「スポットライトを使用する」 [p.60](#)
- 「プレイリストを再生する」 [p.61](#)
- 「映像と音声を一時的に遮断する」 [p.67](#)
- 「ユーザーロゴを設定する」 [p.68](#)
- 「複数台のプロジェクターから投写する（マルチプロジェクション機能）」 [p.69](#)
- 「光源キャリブレーションを実行する」 [p.77](#)
- 「セキュリティー機能」 [p.78](#)
- 「外部センサーを使用する」 [p.81](#)

本機の投写光をスポットライトとして使用できます。本機を動かさずに、スポットライトの位置、大きさ、形を調整することもできます。

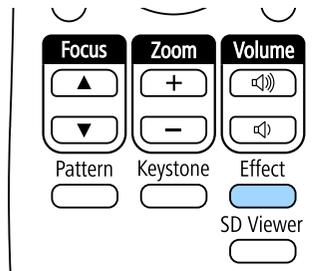


**1** リモコンの【Spotlight】ボタンを押します。



投写光がスポットライトに切り替わります。

**2** リモコンの【Effect】ボタンを押して、色や形を調整します。



## ▶▶ 関連項目

- 「映像に効果を加える（エフェクト機能）」 [p.65](#)

本機では、美術館、ショールーム、店舗などでのデジタルサイネージに適した映像を投写できます。

外付けデバイスに保存されているプレイリストの写真や動画を投写できます。エフェクト機能を使って投写映像の色や形を変えることもできます。



## ▶ 関連項目

- 「プレイリストを再生する」 p.61
- 「複数台で同じプレイリストを同時に再生する（同期再生）」 p.64
- 「映像に効果を加える（エフェクト機能）」 p.65

## プレイリストを再生する

プレイリストとして保存した写真や動画を投写できます。



**1** 以下の方法でプレイリストを作成し、SDカードに保存します。

- Epson Projector Content Managerを使うと、画像や動画をプレイリストに追加して外付けデバイスに保存できます。エフェクト機能を使って投写映像の色や形を変えたり、プレイリストを再生する日時を指定するタイムテーブルを設定することもできます。

Epson Projector Content Managerは以下のWebサイトからダウンロードしてください。

[epson.jp/download](http://epson.jp/download)

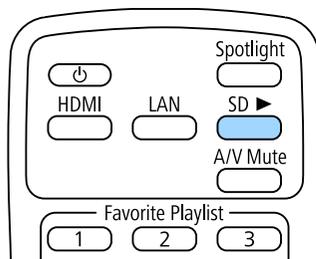
詳しくは『Epson Projector Content Manager操作ガイド』をご覧ください。

- Epson Web Controlを使うと、Webブラウザを使ってプレイリストを作成して、ネットワークプロジェクターに接続されている外付けデバイスに保存できます。エフェクト機能を使って投写映像の色や形を変えることもできます。
- Epson Creative Projectionを使うと、iOSのモバイルデバイスでデジタルサイネージコンテンツを作成できます。プロジェクターにコンテンツをワイヤレスに転送することもできます。

Epson Creative Projectionは、App Storeから無料でダウンロードできます。App Storeへ接続する際の通信料はお客様の負担となります。

**2** 本機のSDカードスロットにSDカードを挿入します。

**3** リモコンの【SD ▶】 ボタンを押します。



前回再生したプレイリストが再生されます。タイムテーブルを設定しているときは、その時間に指定されているプレイリストが再生されます。



- テンキーボタンを押すと、お気に入りに登録したプレイリストを再生できます。お気に入りにするには、プレイリストを作成したソフトウェアを使って登録できます。
- 再生するプレイリストを一覧から選択するには、リモコンの【SD Viewer】 ボタンを押して、上下左右ボタンで選択します。

## ▶ 関連項目

- 「Epson Web Controlを使ってプレイリストを作成する」 [p.62](#)
- 「ドキュメント類の最新バージョンを入手する」 [p.9](#)

## Epson Web Controlを使ってプレイリストを作成する

Webブラウザを使ってプレイリストを作成して、ネットワークプロジェクターに接続されているSDカードに保存できます。

## 注意

プレイリストの作成中は、SDカードを本機から取り外したり、本機の電源コードを抜いたりしないでください。SDカードに記録されたデータが破損する恐れがあります。

**1** お使いの機器を、接続先のプロジェクターと同じネットワークに接続します。

**2** 本機のSDカードスロットにSDカードが挿入されていることを確認します。

**3** お使いの機器でWebブラウザを起動します。

**4** ブラウザーのアドレス入力部にプロジェクターのIPアドレスを入力し、Epson Web Control画面に接続します。IPv6アドレスを入力するときは、アドレスを[]で囲んで入力します。

**5** 【SDカード】 を選択します。



## 6 [素材のアップロード] を選択します。



## 7 プレイリストに追加したい写真や動画を選択します。



.avi、.jpeg (.jpg)、.png、.bmp、.gifファイルをアップロードできます。

.mp4または.movファイルをプレイリストに追加したいときは、Epson Projector Content ManagerまたはEpson Creative Projectionを使用します。

選択したファイルが、プロジェクターに接続されているSDカードにコピーされます。

## 8 次のいずれかの操作を行います。

- アップロードした画像や動画を既存のプレイリストに追加したいときは、[プレイリストに追加] を選択し、追加するプレイリストを選択します。

- 新しいプレイリストを作成したいときは、[新規プレイリストを作成] を選択します。

## 9 プレイリストを編集します。



- 1 プレイリスト名を編集できます。
- 2 繰り返し再生するかどうかを設定します。
- 3 お気に入りに登録します。  
お気に入りに登録すると、[リモコン] 画面またはリモコンを使用して簡単にプレイリストを再生できます。
- 4 プレイリストに追加された画像や動画を表示します。ここに表示された順序で画像や動画が再生されます。
- 5 画像や動画を追加します。
- 6 画像や動画を一覧から削除します。

- 7 [静止画切り替え] 画面を表示します。  
プレイリスト投写中に次のファイルに切り替わるまでの表示時間を設定できます。トランジション効果も設定できます。
- 8 [エフェクト] 画面を表示します。  
あらかじめ用意されているカラーフィルターまたは形状フィルターなどのエフェクトをプレイリストに設定できます。エフェクトをカスタマイズすることもできます。
- 9 プレイリストをプレビューできます。

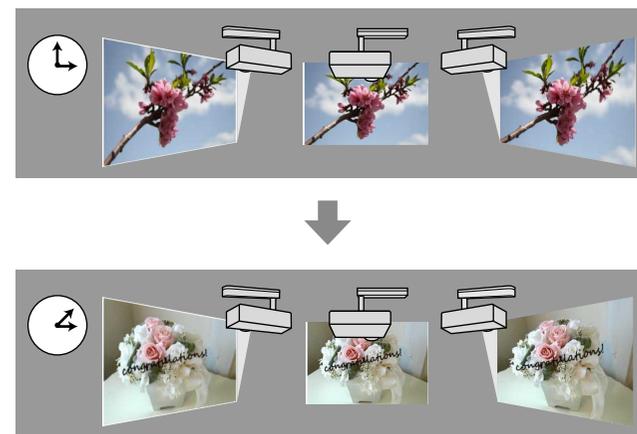
**10** 終了したら、[完了] を選択します。



- [リモコン] または [プレイリスト] 画面からプレイリストを再生できます。
- プレイリストを再生する日時を設定するには、Epson Projector Content Managerを使用します。

## 複数台で同じプレイリストを同時に再生する（同期再生）

タイムテーブルを設定すると、複数台のプロジェクターで同じプレイリストを同時に再生できます（最大16台）。



- 同期再生では、すべて同じ型番のプロジェクターをお使いください。解像度や型番が異なると正しく動作しないことがあります。
- すべてのプロジェクターに、プロジェクター名と正しい日時を設定します。
- すべてのプロジェクターを同じネットワークに接続します。ネットワークの状況によって再生のタイミングがずれることがありますので、有線LANでの接続をお勧めします。

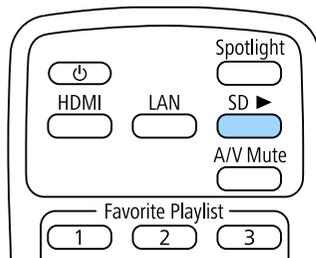
- 1 Epson Projector Content Managerを使ってプレイリストを作成し、タイムテーブルを設定して、SDカードに保存します。



- 詳しくは『Epson Projector Content Manager操作ガイド』をご覧ください。
- プレイリストはEpson Creative ProjectionやEpson iProjection (Android/iOS)、Webブラウザでも作成できます。
- プロジェクターと同数のSDカードが必要です。
- 同期再生するプレイリストに静止画を含めたいときは、JPEG形式の画像をお勧めします。

- 2 本機のSDカードスロットにプレイリストが含まれたSDカードを挿入します。

- 3 リモコンの【SD】ボタンを押します。



タイムテーブルで指定した日時に、プレイリストが再生されます。

## ▶ 関連項目

- 「ネットワークメニュー - 基本設定メニュー」 [p.135](#)
- 「日時を設定する」 [p.38](#)
- 「有線LANでの映像投写」 [p.84](#)

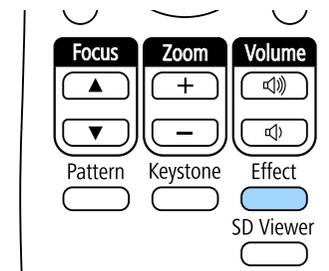
## 映像に効果を加える（エフェクト機能）

エフェクト機能を使って投写映像の色や形を変えることができます。



- エフェクト機能を使うときは、[リフレッシュモード] を定期的に行ってください。
  - ☛ [初期化] > [リフレッシュモード]
- 以下の条件のときはこの機能を使用できません。
  - [エッジブレンディング] が [オン] のとき
    - ☛ [拡張設定] > [マルチプロジェクション] > [エッジブレンディング] > [エッジブレンディング]
  - 入力ソースがSDプレーヤーで、書き込み不可のエラーとなっているとき
  - 入力ソースがSDプレーヤーで、プレイリストを再生していないとき

- 1 リモコンの【Effect】ボタンを押します。



- 2** [エフェクト] を [オン] に設定し、【Enter】 ボタンを押します。



- 3** [形状フィルター] を選択し、【Enter】 ボタンを押します。

- 4** 必要に応じて以下の項目を調整します。

- [形状]：エフェクトの形状を、丸、四角、カスタムから選択します。



Epson Projector Content Managerを使うと、お好きな画像をカスタムに登録できます。詳しくは『Epson Projector Content Manager操作ガイド』をご覧ください。

- [フィルター効果]：選択した形状の内側をマスクするか、外側をマスクするかを選択します。
- [サイズ]：選択した形状のサイズを設定します。
- [表示位置]：選択した形状の表示位置を設定します。



カスタムを使用する時は、[サイズ] と [表示位置] 設定は変更できません。

- 5** [カラーフィルター] を選択し、【Enter】 ボタンを押します。

- 6** 必要に応じて以下の項目を調整します。

- [カラーフィルター]：エフェクトの色を選択します。

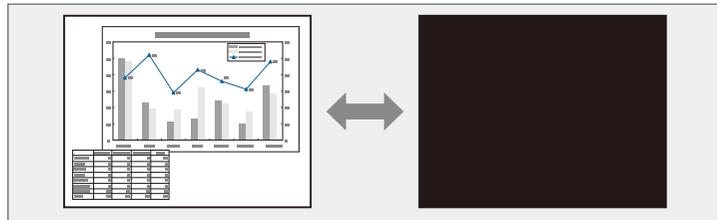
- [カスタム]：[赤]、[緑]、[青] をそれぞれ調整します。

- 7** エフェクトの明るさを設定するときは、[明度] を選択します。

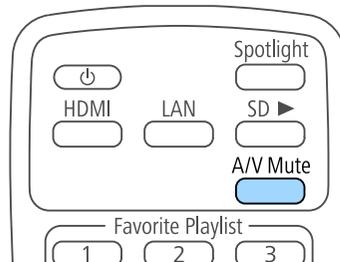
- 8** 【Menu】 ボタンを押して終了します。

投写映像と音声を一時的に消すことができます。

停止中も映像と音声は進んでいるため、停止した場面から投写を再開することはできません。



- 1 リモコンの【A/V Mute】ボタンを押して、映像と音声を一時的に遮断します。



- 2 投写を再開するときは、再度【A/V Mute】ボタンを押します。

プロジェクターの電源投入時に表示する画像を設定します。

この画像をユーザーロゴと呼びます。写真、グラフィック、会社のロゴなどをユーザーロゴとして設定し、プロジェクターの所有者を明示することで、本機の盗難防止などに役立ちます。また、パスワードプロテクトを設定して、ユーザーロゴを変更できないようにすることができます。



- [パスワードプロテクト] 設定画面で [ユーザーロゴ保護] を [オン] にしているときは、[オフ] にしてからユーザーロゴを設定してください。
- 一括設定機能を使用して、複数のプロジェクター間でメニュー設定をコピーすると、ユーザーロゴもコピーされます。複数のプロジェクター間で共有したくない画像は、ユーザーロゴとして設定しないでください。
- HDCPで保護されたコンテンツは保存できません。

**1** ユーザーロゴとして設定する画像を投写します。

**2** 【Menu】 ボタンを押し、[拡張設定] を選択して、【Enter】 ボタンを押します。



**3** [ユーザーロゴ] > [設定開始] の順に選択し、【Enter】 ボタンを押します。

確認画面が表示されます。



[ユーザーロゴ] を選択すると、台形補正、ズーム、アスペクト、表示倍率などの設定が一時的に無効になります。

**4** [はい] を選択して【Enter】 ボタンを押します。

**5** 表示されている画像を確認し、[はい] を選択して保存します。ユーザーロゴが保存され、完了メッセージが表示されます。

**6** 【Esc】 ボタンを押して、メッセージを閉じます。

**7** [拡張設定] を選択し、【Enter】 ボタンを押します。

**8** [表示設定] を選択し、【Enter】 ボタンを押します。

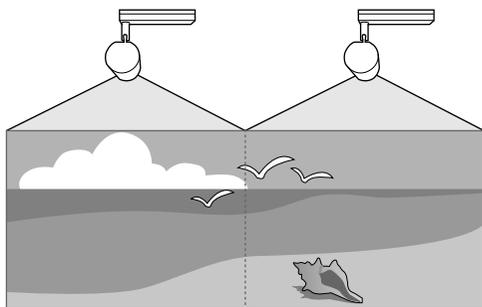
**9** 投写開始時にユーザーロゴを表示したいときは、[スタートアップスクリーン] を [オン] に設定します。

ユーザーロゴが変更されることを防ぐには、[パスワードプロテクト] 設定画面で [ユーザーロゴ保護] を [オン] にしてパスワードを設定してください。

## ▶ 関連項目

- 「パスワードプロテクトの種類を設定する」 p.79

複数台のプロジェクターを並べて、ひとつの大きな映像として投写できます（マルチプロジェクション機能）。



- プロジェクターの電源を入れた直後は映像が安定しません。投写位置、ピント、およびズームの調整は、映像を投写し始めてから20分以上経過してから行うことをお勧めします。
- [台形補正]の補正値が大きいと、投写映像を重ねたときに、映像の位置を合わせるのが困難になります。
- 補正を行っても、それぞれの映像の明るさと色合いは完全に一致しないことがあります。
- 時間の経過とともに、映像の明るさと色合いの違いが目立つことがあります。その場合は、再度補正を行ってください。

以下の順序で設定することをお勧めします。

- プロジェクターにIDを設定する
- ユニフォーミティーを調整する
- 映像のつなぎ目を補正する
- カラーマッチングを調整する
- 映像を切り出して表示する

## ▶ 関連項目

- 「プロジェクターのID設定」 p.69

- 「ユニフォーミティーを調整する」 p.71
- 「映像のつなぎ目を補正する」 p.72
- 「カラーマッチングを調整する」 p.73
- 「映像を切り出して表示する」 p.74

## プロジェクターのID設定

本機を複数台並べて投写するときは、それぞれの映像の明るさや色合いの違いを補正します。

プロジェクターごとにリモコンで調整するため、各プロジェクターにプロジェクターIDを設定してから明度と色合いを調整します。

### ▶ 関連項目

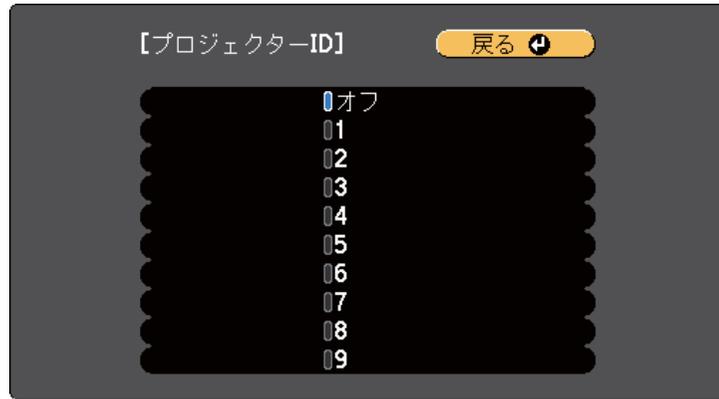
- 「プロジェクターにIDを設定する」 p.69
- 「操作対象のプロジェクターIDをリモコンで選択する」 p.70

## プロジェクターにIDを設定する

リモコンで操作するプロジェクターを選択するために、各プロジェクターに一意的IDを指定します。

- 1** 【Menu】ボタンを押し、[拡張設定]を選択して、【Enter】ボタンを押します。
- 2** [マルチプロジェクション]を選択し、【Enter】ボタンを押します。
- 3** [プロジェクターID]を選択して【Enter】ボタンを押します。

- 4** 対象のプロジェクターに設定するID番号を選択します。【Enter】ボタンを押します。



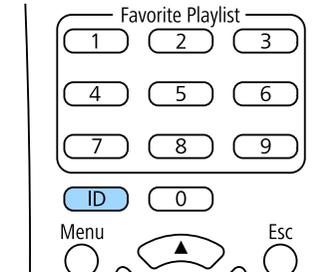
- 5** 【Menu】ボタンまたは【Esc】ボタンを押してメニューを終了します。

- 6** リモコンから操作するすべてのプロジェクターに対して、同様の手順を繰り返します。

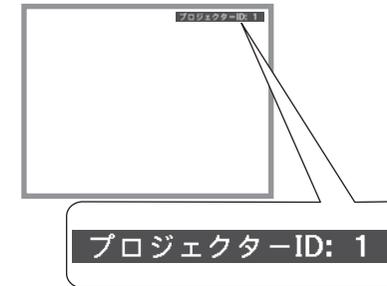
## 操作対象のプロジェクターIDをリモコンで選択する

プロジェクターのIDを設定した後、リモコンで操作対象のプロジェクターのIDを選択します。

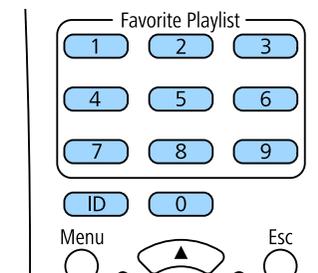
- 1** 操作対象のプロジェクターにリモコンを向けて、【ID】ボタンを押します。



プロジェクターに設定されたIDが投写画面に表示されます。表示は約3秒後に消えます。



- 2** 【ID】ボタンを押したまま、操作対象のプロジェクターIDと同じ数字のボタンを押します。



選択したIDが設定されたプロジェクターのリモコン操作が有効になります。



- IDを【0】に設定したときは、[プロジェクターID] の設定に関わらず、すべてのプロジェクターを操作できます。
- [プロジェクターID] を [オフ] に設定しているときは、リモコンで選択したIDに関わらず、プロジェクターをリモコンで操作できます。
- プロジェクターIDはリモコンに記憶され、電池交換でリモコンから電池を取り外しても残ります。ただし、長期間電池を取り外したままにすると、IDは初期値（0）に戻ります。
- 複数のリモコンを同時に操作すると、赤外線の干渉により意図しない動作となることがあります。

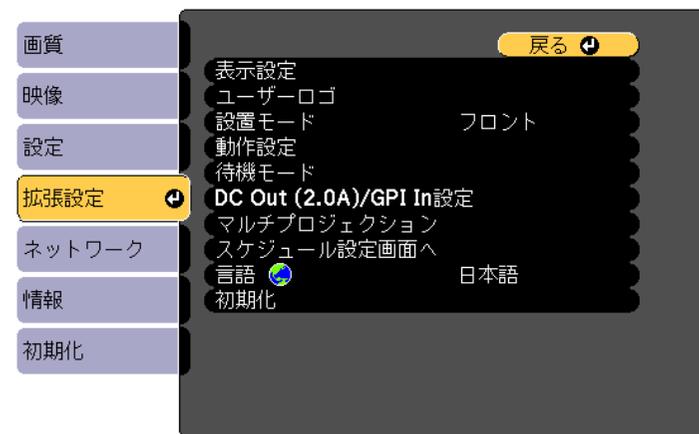
## ユニフォーミティーを調整する

各プロジェクターの投写画面に色むらがあるときは、[拡張設定] メニューのユニフォーミティーで画面全体の色味を補正します。



- ユニフォーミティーを調整後も、色味が均一にならない場合があります。
  - カラーモードを [ダイナミック] に設定しているときは、この機能は使用できません。
- ☛ [画質] > [カラーモード]

- 1 【Menu】 ボタンを押し、[拡張設定] を選択して、【Enter】 ボタンを押します。



- 2 [マルチプロジェクション] を選択し、【Enter】 ボタンを押します。

- 3 [ユニフォーミティー] を選択し、【Enter】 ボタンを押します。

- 4 [ユニフォーミティー] を選択し、【Enter】 ボタンを押します。

- 5 [オン] を選択し、【Enter】 ボタンを押します。その後、【Esc】 ボタンを押します。

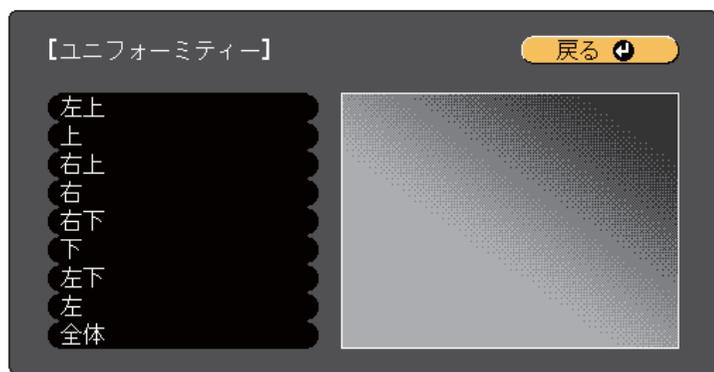
- 6 [調整レベル] を選択し、【Enter】 ボタンを押します。

- 7 レベルを調整し、【Esc】 ボタンを押します。  
白 - グレー - 黒まで8つのレベルがあります。それぞれのレベルに対して調整を行います。



**8** 「調整開始」を選択して【Enter】ボタンを押します。

**9** 調整するエリアを選択し、【Enter】ボタンを押します。



最初に画面の周囲を調整します。最後に「全体」を選択し、画面全体を調整します。

**10** 調整する色（[赤]、[緑]、[青]）を選択し、左ボタンで色味を弱く、右ボタンで色味を強くします。



調整画面は、【Enter】ボタンを押すたびに更新されます。



**11** 【Esc】ボタンを押すと、エリア選択画面に戻ります。

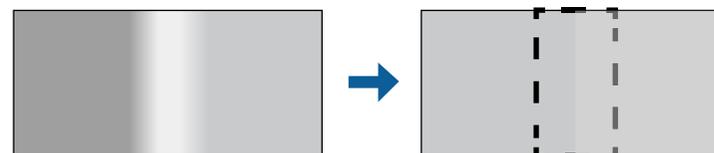
**12** この手順を繰り返して、すべてのエリアを調整します。

**13** 手順6に戻り、それぞれのレベルで調整します。

**14** 【Esc】ボタンを押して、前の画面に戻ります。

## 映像のつなぎ目を補正する

「エッジブレンディング」機能を使って、映像のつなぎ目を目立たなくします。



**1** 【Menu】ボタンを押し、[拡張設定] を選択して、【Enter】ボタンを押します。



**2** 「マルチプロジェクション」>「エッジブレンディング」の順に選択し、【Enter】ボタンを押します。

- 3** [エッジブレンディング]、[マーカ表示]、[パターン表示] をオンにします。



各プロジェクターで異なる [表示色] を選択すると、映像が重なる範囲を見やすくできます。

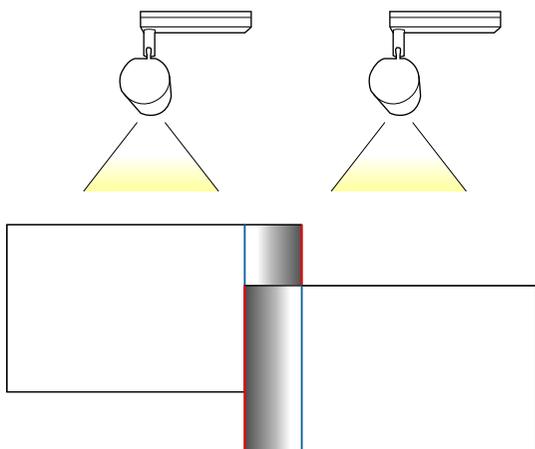
- 4** 補正するエッジ位置（映像が重なり合う箇所）を選択し、【Enter】ボタンを押します。

以下の画面が表示されます。



- 5** [ブレンディング] を [オン] にします。

- 6** [ブレンド範囲] を選択し、左右ボタンでグラデーションをかける範囲を指定します。映像が重なり合う範囲とマーカーの位置が等しくなるようにします。



- 7** 【Esc】 ボタンを押して、前の画面に戻ります。

- 8** [ブレンド曲線] でグラデーションのかけ方を調整します。

- 9** 設定が終わったら、[マーカ表示] と [パターン表示] をオフにします。

- 10** 終了したら、【Menu】 ボタンを押します。

## カラーマッチングを調整する

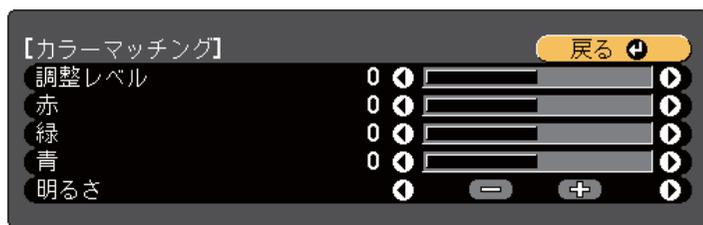
本機を複数台並べて投写するときの、それぞれの映像の色合いを合わせます。

すべてのプロジェクターの電源を入れ、[拡張設定] メニューの [カラーマッチング] をプロジェクターごとに調整します。投写画面全体の色味と明るさが均一になるように調整します。

- 1** 【Menu】 ボタンを押し、[拡張設定] を選択して、【Enter】 ボタンを押します。



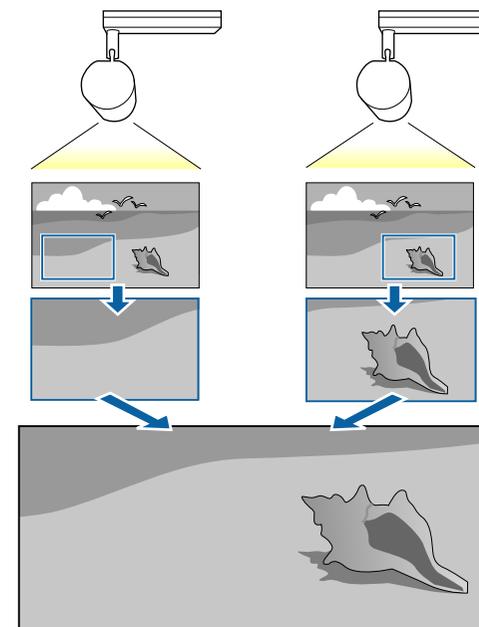
- 2 [マルチプロジェクション] を選択し、【Enter】ボタンを押します。
- 3 [カラーマッチング] を選択し、【Enter】ボタンを押します。
- 4 [調整レベル] を [8] に設定します。



- 5 [明るさ] を選択し、明るさを調整します。
- 6 必要に応じて、[赤]、[緑]、[青] を選択し、それぞれの色味を調整します。
- 7 トップメニューに戻り、[設定] メニューを選択して、【Enter】ボタンを押します。
- 8 [明るさ設定] を選択し、【Enter】ボタンを押します。
- 9 [光源モード] を [カスタム] に設定します。
- 10 [明るさレベル] を調整します。
- 11 手順1に戻り、調整レベル [7] から [2] の各レベルで同様に調整します。
- 12 終了したら、【Menu】ボタンを押します。

## 映像を切り出して表示する

投写中の映像を部分的に切り出して表示します。他のプロジェクターの投写映像と合わせて、ひとつの大きな映像を作ります。



- 1** 【Menu】 ボタンを押し、[拡張設定] を選択して、【Enter】 ボタンを押します。



- 2** [マルチプロジェクション] > [表示倍率] の順に選択し、【Enter】 ボタンを押します。

次の画面が表示されます。

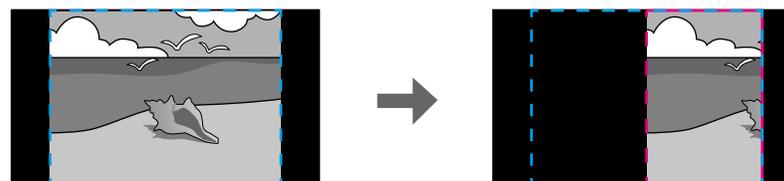
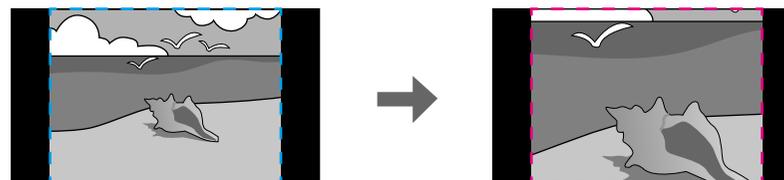


[映像] メニューからも [表示倍率] の設定を調整できます。

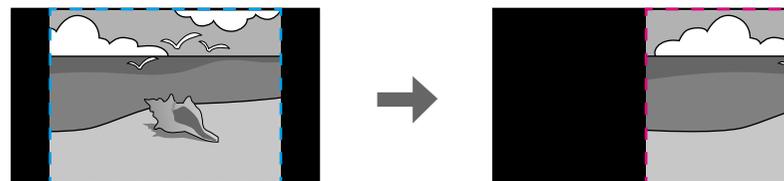
- 3** [表示倍率] を [オン] に設定します。

- 4** [表示倍率モード] を選択し、以下のいずれかを選択します。

- [ズーム表示]：表示中の映像のアスペクト比を維持して映像を切り出します。



- [フル表示]：プロジェクターのパネルサイズを基準にして映像を切り出します。



- 5** 必要に応じて以下の設定をします。
  - -/+：水平方向、垂直方向同時に映像を拡大/縮小します。
  - [タテ倍率]：垂直方向に映像を拡大/縮小します。
  - [ヨコ倍率]：水平方向に映像を拡大/縮小します。
- 6** [切り出し調整] を選択し、上下左右ボタンを使って映像の座標と範囲を調整します。
- 7** [切り出し範囲] を選択し、切り出す範囲を確認します。
- 8** 終了したら、【Menu】 ボタンを押します。

光源キャリブレーションを実行すると、光源のホワイトバランスや明るさレベルのずれが補正されます。使用時間が100時間を経過するたびに光源キャリブレーションを実行してください。自動でキャリブレーションが実行されるようにスケジュールしたり、手動でメニューから光源キャリブレーションを実行したりすることもできます。

以下の場合には自動光源キャリブレーションが開始されません。

- 本機の電源を入れて20分以内の場合
- ダイレクトシャットダウンを使用する場合
- 本機を24時間以上使用している場合
- 使用する環境の温度が高く、光源の明るさが自動的に低下している場合

**1** 【Menu】 ボタンを押し、[初期化] を選択して、【Enter】 ボタンを押します。



**2** [光源キャリブレーション] を選択し、【Enter】 ボタンを押します。

**3** 次のいずれかを選択します。

- 光源キャリブレーションを今すぐ実行するには、[今すぐ実行] を選択します。
- 使用時間が100時間が経過するたびに光源キャリブレーションを自動で実行するには、[定期的に実行] を選択します。
- 自動光源キャリブレーションをスケジュールするには、[スケジュール設定画面へ] を選択します。
- 光源キャリブレーションを実行した最後の日時を確認するには、[最終実行日時] を表示します。



本機を24時間以上使用している場合、またはダイレクトシャットダウンを使用している場合は、定期的に光源キャリブレーションを実行するために [スケジュール設定画面へ] を選択します。

**4** 【Menu】 ボタンを押して終了します。

#### ▶▶ 関連項目

- 「プロジェクターの電源を入れる」 p.35
- 「プロジェクターの電源を切る」 p.37

以下のセキュリティ機能を使用することで、プロジェクターの盗難や誤用・悪用を防止します。

- パスワードプロテクト：パスワードを知らないユーザーが本機を使用できないようにします。また、起動時に表示する画面などの設定を変更できないようにします。

本機を使用できるユーザーを制限したり、プロジェクターを持ち出しでも使用できないことで盗難防止の効果があります。

## ▶ 関連項目

- 「パスワードプロテクトの種類」 p.78
- 「パスワードを設定する」 p.78
- 「パスワードプロテクトの種類を設定する」 p.79
- 「パスワードを入力する」 p.80

## パスワードプロテクトの種類

パスワードを1つ設定して、以下の種類のメニュー保護を設定できます。

- [電源投入時]：パスワードを知らないユーザーが本機を起動できないようにします。コンセントを抜き差しした後に電源オンすると、パスワードの入力が必要になります。コンセントを抜かない限り、次回電源オンではパスワード入力は不要です。[ダイレクトパワーオン] および [オートパワーオン] 機能でプロジェクターが起動したときも、パスワードの入力が必要になります。
- [ユーザーロゴ保護]：プロジェクターの電源を入れたときに表示されるユーザーロゴの画面設定を変更できないようにします。ユーザーロゴを設定していると、プロジェクターの所有者が特定されるため、盗難防止につながります。
- [ネットワーク保護]：[ネットワーク] メニューの設定を変更できないようにします。

- [スケジュール保護]：スケジュール設定を変更できないようにします。

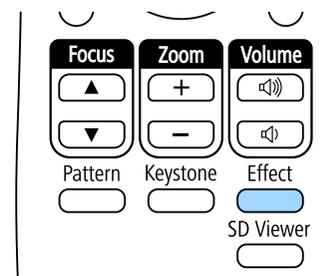
## パスワードを設定する

初めて本機を使用するときは、パスワードを設定します。



デフォルトのパスワードは設定されていません。新たにパスワードを設定する必要があります。

- 1 リモコンの【Effect】ボタンを約5秒間押し続けます。

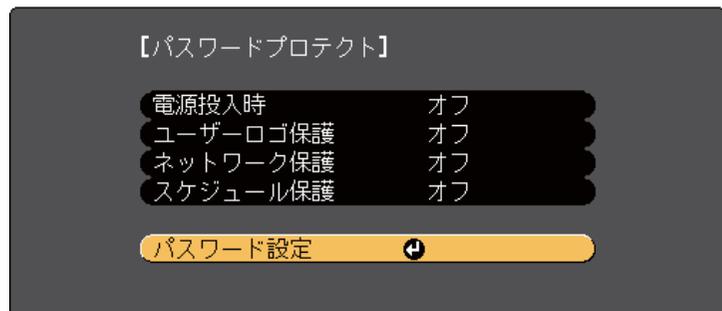


パスワードプロテクト設定メニューが表示されます。



- パスワードが設定されていないときは、[パスワードプロテクト] 設定メニューが表示される前にパスワードの設定を求められます。
- すでに [パスワードプロテクト] が有効になっているときは、[パスワードプロテクト] 設定メニューを表示する前にパスワードの入力が求められます。

- 2** [パスワード設定] を選択して【Enter】ボタンを押します。



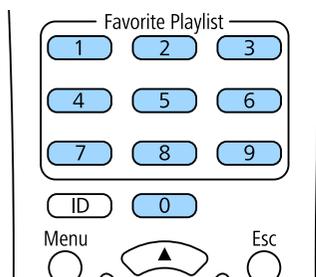
「パスワードを変更しますか?」というメッセージが表示されます。

- 3** [はい] を選択して【Enter】ボタンを押します。



[いいえ] を選択したときは、パスワードプロテクト設定メニューが再度表示されます。

- 4** テンキーボタンを押して、4桁のパスワードを設定します。



入力したパスワードは、「\*\*\*\*」と表示されます。4桁目を入力すると、確認画面が表示されます。

- 5** パスワードを再入力します。  
「パスワード設定が終了しました。」というメッセージが表示されます。間違えてパスワードを入力した場合は、メッセージが表示されますのでパスワード設定をやり直してください。

- 6** 【Esc】ボタンを押してメニューに戻ります。

- 7** パスワードを控えて、安全な場所に保管してください。

## パスワードプロテクトの種類を設定する

パスワードの設定後、パスワードプロテクト設定メニューで設定したいパスワードプロテクトの種類を選択します。



このメニューが表示されないときは、メニューが表示されるまで約5秒間リモコンの【Effect】ボタンを押し続けてください。

- プロジェクターの無断使用を防止したいときは、[電源投入時] を [オン] に設定します。
- ユーザーロゴなどの表示設定の変更を防止したいときは、[ユーザーロゴ保護] を [オン] に設定します。
- ネットワーク設定の変更を防止したいときは、[ネットワーク保護] を [オン] に設定します。

- スケジュール設定の変更を防止したいときは、[スケジュール保護]を[オン]に設定します。

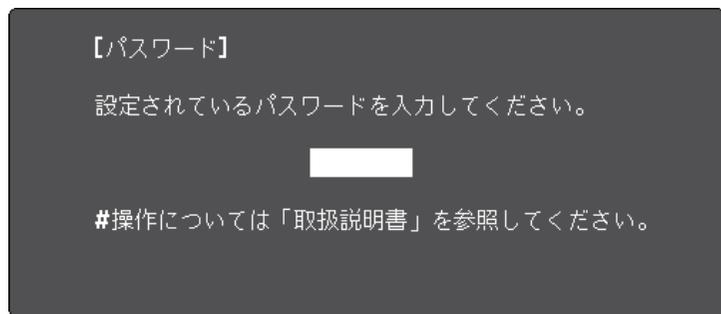
パスワードプロテクトステッカーを本機に貼り付けることで、盗難防止効果を向上できます。



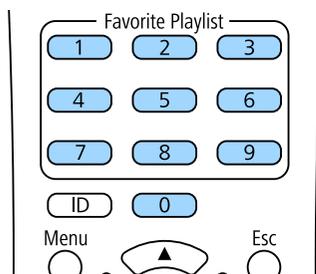
リモコンは必ず安全な場所に保管してください。リモコンを失くすとパスワードを入力できなくなります。

## パスワードを入力する

パスワード画面が表示されたときは、正しいパスワードを入力します。



- テンキーボタンを使用してパスワードを入力します。



パスワード画面が閉じます。

- 誤ったパスワードを入力したときは、再入力用の画面が表示されます。正しいパスワードを入力します。

### 注意

- 誤ったパスワードを3回連続で入力すると、「プロジェクターの動作を停止します。」というメッセージが約5分間表示され、プロジェクターはスタンバイ状態になります。電源プラグを抜いて差し直してから、本機の電源を入れます。パスワード入力画面が表示されたら、正しいパスワードを入力してください。
- パスワードを忘れたときは、画面に表示される「[問い合わせコード]:xxxxx」の番号を控えて、お買い上げの販売店またはお問い合わせ先に記載の連絡先にご相談ください。
- 上記の操作を繰り返し、誤ったパスワードを連続30回入力したときは、「プロジェクターの動作を停止します。各修理窓口へ修理を依頼してください。」というメッセージが表示され、それ以上パスワードを入力できなくなります。お買い上げの販売店またはお問い合わせ先に記載の連絡先にご相談ください。
- パスワードに関してお問い合わせいただいた際は、お客様のお名前や連絡先などをお聞きし、お客様から返送いただいた『お客様情報+正式保証書発行カード』と照合しご本人様であることを確認させていただきます。同梱の『お客様情報+正式保証書発行カード』に必要事項を記入して、必ず返送してください。

本機に接続した外部センサーから本機の操作を実行できます。

センサーの信号変化に応じて、あらかじめプロジェクターメニューで設定した以下のいずれかの動作を実行できます。

- [電源オン] / [電源オフ]
- [AVミュート実行] / [AVミュート解除]
- [プレイリスト再生] / [プレイリスト停止]
- [ソース切り替え]
- [光源モード：ノーマル] / [光源モード：静音]

詳しくは『EV-115/EV-110 外部センサーセットアップガイド』をご覧ください。

以下のWebサイトからダウンロードしてください。

[epson.jp/download](http://epson.jp/download)

## 注意

正しく接続しないと故障の原因となることがあります。外部センサー機器との接続は専門の設置業者へご依頼ください。



- 同時に2つまでのセンサーを使用できます。また、2つのセンサーからの信号を組み合わせた設定もできます。
- センサーのケーブルを DC Out (2.0A) / GPI In端子に接続できるように加工する必要があります。市販のコネクターを使用することもできます。
- センサーだけでなく、ボタンやスイッチなどの外部機器にも接続することができます。

**1** 外部センサーをDC Out (2.0A) / GPI In端子に接続します。

**2** リモコンの【Menu】ボタンを押し、[拡張設定]を選択して、【Enter】ボタンを押します。



**3** [DC Out (2.0A)/GPI In設定] を選択し、【Enter】ボタンを押します。

**4** [DC Out/GPI In] で [常時オン/オン] を選択します。



**5** [GPI-1設定] を選択します。

**6** [Low -> High] を選択して、センサーの信号が一定電圧以上になったときに実行する動作を以下から選択します。

- [電源オン] / [電源オフ]：プロジェクターの電源をオン/オフします。

- [AVミュート実行] / [AVミュート解除]：AVミュートを実行または解除します。
- [プレイリスト再生] / [プレイリスト停止]：お気に入りプレイリストのプレイリストを再生または停止します。[お気に入りプレイリスト] で、対象のプレイリストも設定する必要があります。
- [ソース切り替え]：入力ソースを切り替えます。[入力ソース] で、切り替え先の入力ソースも設定する必要があります。
- [光源モード：ノーマル] / [光源モード：静音]：[光源モード] の設定を切り替えます。



- 7** [組み合わせ] を選択し、以下のいずれかを選択します。
- [なし]：GPI-2の信号の状態にかかわらず、常に [GPI-1設定] で設定した動作を開始します。
  - [GPI-2 Low]：GPI-2の信号が一定電圧以下になったとき、[GPI-1設定] で設定した動作を開始します。
  - [GPI-2 High]：GPI-2の信号が一定電圧以上になったとき、[GPI-1設定] で設定した動作を開始します。



[DC Out (2.0A)/GPI In設定] の [GPI情報] で、GPI-1とGPI-2の信号について現在の値を確認できます。

- 8** 必要に応じて、[High -> Low] を設定します。
- 9** 選択した動作が実行されるまでに一定の時間が必要な場合は、[High保持] または [Low保持] を選択してください。設定した時間だけセンサーの信号が保持された後、選択した動作が実行されます。



[High保持] と [Low保持] には0秒から30分までを指定できます。

- 10** 【Esc】 ボタンを押して前の画面に戻り、必要に応じて [GPI-2設定] を設定します。
- 11** 【Menu】 ボタンを押して終了します。

▶▶ 関連項目

- 「外部センサー機器を接続する」 p.29

# ネットワーク上のプロジェクターを使用する

ネットワーク経由でプロジェクターから映像を投写するための設定について説明します。

## ▶ 関連項目

- 「有線LANでの映像投写」 [p.84](#)
- 「無線LANでの映像投写」 [p.87](#)
- 「セキュアHTTP」 [p.95](#)

有線LAN経由でプロジェクターから映像を投写できます。ネットワーク経由で投写するには、プロジェクターをネットワークに接続し、プロジェクターおよびコンピューターのネットワーク設定をします。

プロジェクターの接続とネットワーク設定が終わったら、以下のWebサイトから Epson iProjection (Windows/Mac) をインストールします。

[epson.jp/download](http://epson.jp/download)

Epson iProjectionを使用すると、コンピューターの映像をネットワーク経由で投写できます。詳しくは『Epson iProjection操作ガイド (Windows/Mac)』をご覧ください。



[Web制御パスワード] が設定されていないときは、ネットワークの設定を保存する際にパスワード設定を求められます。画面の指示に従ってパスワードを設定してください。

#### ▶ 関連項目

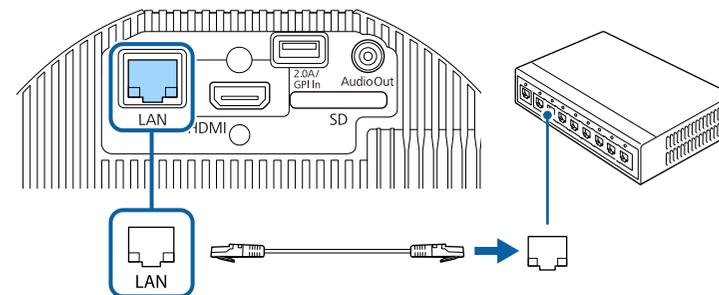
- 「有線LANに接続する」 [p.84](#)
- 「有線LANを設定する」 [p.84](#)

## 有線LANに接続する

プロジェクターを有線LANに接続するには、100Base-TXまたは10Base-Tネットワークケーブルを使用します。誤作動防止のために、カテゴリ5以上のシールド付きケーブルをお使いください。

- 1** LANケーブルをネットワークハブ、スイッチ、またはルーターに接続します。

- 2** ケーブルのもう一方のコネクターをプロジェクターのLAN端子に接続します。



## 有線LANを設定する

ネットワーク経由でコンピューターの映像を投写するには、事前にプロジェクターのネットワーク設定が必要です。



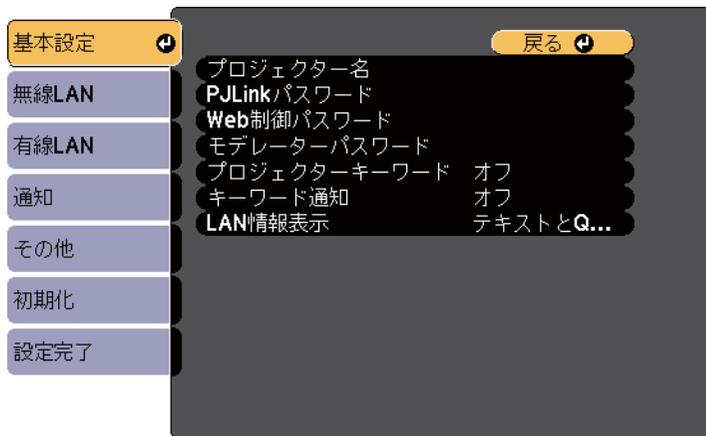
設定の前に、LAN端子にLANケーブルを接続し、プロジェクターを有線LANに接続してください。

- 1** 【Menu】 ボタンを押し、[ネットワーク] を選択して、【Enter】 ボタンを押します。



- 2** [ネットワーク設定画面へ] を選択し、【Enter】 ボタンを押します。

- 3** [基本設定] を選択し、【Enter】 ボタンを押します。



- 4** 必要に応じて以下を設定します。

- [プロジェクター名]：ネットワーク上で本機を識別するための名前を入力します。半角英数字で16文字以内で入力します。
- [PJLinkパスワード]：PJLink対応アプリケーションを使って本機を制御するときの認証用パスワードを設定します。半角英数字で32文字以内で入力します。
- [Web制御パスワード]：Web制御で本機の設定や制御をするときの認証用パスワードを設定します。半角英数字で8文字以内で入力します。(ユーザー名はEPSONWEBです。デフォルトのパスワードは設定されていません。)
- [モデレーターパスワード]：Epson iProjectionを使って、モデレーターとして本機に接続するときの認証用パスワードを設定します。4桁の数字を入力します。(デフォルトのパスワードは設定されていません。)
- [プロジェクターキーワード]：他のユーザーが誤って接続しないように、セキュリティーパスワードを有効にできます。コンピューターやモバイルデバイスの映像を投写するときは、投写画面に表示されるキーワードをEpson iProjectionで入力する必要があります。
- [キーワード通知]：Epson iProjectionを使って本機に接続するとき、投写画面にプロジェクターキーワードを表示するかどうかを設定します。
- [LAN情報表示]：本機のネットワーク情報の表示形式を設定します。



名前、パスワード、およびキーワードの入力には、表示されたソフトキーボードを使用します。リモコンの上下左右ボタンを押して文字を選択し、【Enter】 ボタンを押して入力します。

- 5** [有線LAN] を選択し、【Enter】 ボタンを押します。



- 6** 必要に応じてプロジェクターにIPアドレスを割り当てます。

- DHCPを使用できるネットワークの場合は、 [IP設定] を選択し、 [DHCP] を [オン] にします。
- DHCPを使用できないネットワークの場合は、 [IP設定] を選択し、 [DHCP] を [オフ] にして、プロジェクターの [IPアドレス]、 [サブネットマスク]、 [ゲートウェイアドレス] を入力します。
- IPv6を使用してプロジェクターをネットワークに接続する場合は、 [IPv6設定] を選択し、 [IPv6] を [オン] にして、 [自動構成]、 [一時アドレスの使用] を設定します。



リモコンの上下左右ボタンを押して、表示されたソフトキーボードで入力する数字を選択します。【Enter】ボタンを押して入力します。

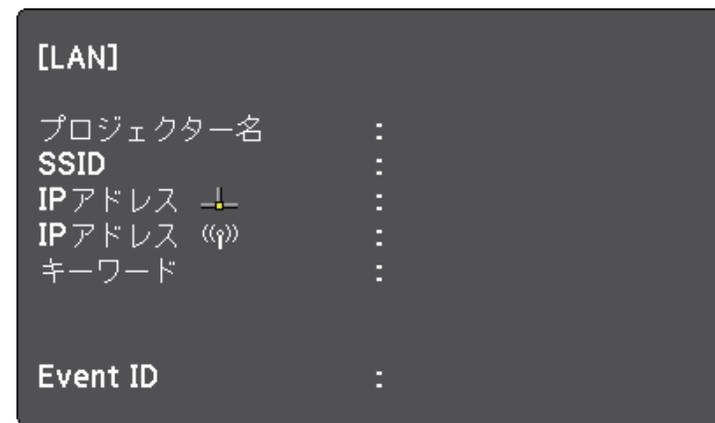
- 7** 設定したIPアドレスがLAN待機画面に表示されないようにするには、 [IPアドレス表示] を [オフ] に設定します。

- 8** 設定が終わったら、 [設定完了] を選択します。画面の指示に従って設定を保存し、メニューを終了します。



[Web制御パスワード] が設定されていないときは、ネットワークの設定を保存する際にパスワードの設定を求められます。画面の指示に従ってパスワードを設定してください。

- 9** リモコンの【LAN】 ボタンを押します。  
LAN待機画面に正しいIPアドレスが表示されていれば、設定完了です。



無線LAN経由でプロジェクターから映像を投写できます。

無線LAN経由で投写するときは、プロジェクターとコンピューターの無線LAN設定をしてください。

[ネットワーク] メニューから、無線LAN設定をすると、本機を無線接続できます。

プロジェクターの接続とネットワーク設定が終わったら、以下のWebサイトからネットワークソフトウェアをダウンロードしてインストールします。

[epson.jp/download](http://epson.jp/download)

無線LAN経由で映像を投写するには、以下のネットワークソフトウェアを使用します。

- Epson iProjection (Windows/Mac)を使用すると、ネットワークに接続された複数のコンピューターの映像を同時に投写して、ミーティングをより活発にできます。詳しくは『Epson iProjection操作ガイド (Windows/Mac)』をご覧ください。

- Epson iProjection (iOS/Android)を使用すると、iOSやAndroidなどのモバイルデバイスから映像を投写できます。

Epson iProjectionは、App StoreまたはGoogle Playから無料でダウンロードできます。App Store、Google Playへ接続する際の通信料はお客様の負担となります。

- Epson iProjection (Chromebook)を使用すると、Chromebookから映像を投写できます。

Epson iProjectionは、Chromeウェブストアから無料でダウンロードできます。Chromeウェブストアへ接続する際の通信料はお客様の負担となります。



[Web制御パスワード] が設定されていないときは、ネットワークの設定を保存する際にパスワード設定を求められます。画面の指示に従ってパスワードを設定してください。

## ▶▶ 関連項目

- 「内蔵の無線LANユニットを安全にお使いいただくために」 [p.87](#)
- 「プロジェクターの無線LANを設定する」 [p.87](#)
- 「Windowsで無線LANを設定する」 [p.90](#)
- 「Macで無線LANを設定する」 [p.90](#)
- 「無線LANのセキュリティーを設定する」 [p.90](#)
- 「QRコードを使用してモバイルデバイスに接続する」 [p.93](#)

## 内蔵の無線LANユニットを安全にお使いいただくために

本機には無線LANユニットが内蔵されています。以下の注意事項を必ず守ってご使用ください。

### ⚠ 警告

- 心臓ペースメーカー等の医療機器を装着している方は、製品に近づかないでください。また、製品を取り扱うときは、近くに心臓ペースメーカー等の医療機器を装着している方がいないことを確認してください。電磁妨害が生じ、医療機器が誤動作する可能性があります。
- 電磁妨害による誤動作や事故の原因となります。自動ドアや火災報知機などの自動制御機器の近くで使用しないでください。

### ⚠ 注意

製品から20cm以上離れてお使いください。体調不良の原因となります。

## プロジェクターの無線LANを設定する

無線LAN経由でコンピューターの映像を投写するには、事前にプロジェクターのネットワーク設定が必要です。

- 1** 【Menu】 ボタンを押し、[ネットワーク] を選択して、【Enter】 ボタンを押します。



- 2** [無線LAN電源] を [オン] に設定します。
- 3** [ネットワーク設定画面へ] を選択し、【Enter】 ボタンを押します。
- 4** [基本設定] を選択し、【Enter】 ボタンを押します。



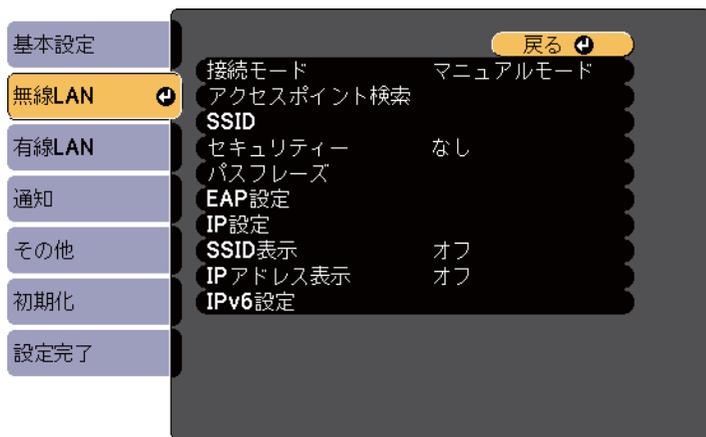
- 5** 必要に応じて以下を設定します。

- [プロジェクター名]：ネットワーク上で本機を識別するための名前を入力します。半角英数字で16文字以内で入力します。
- [PJLinkパスワード]：PJLink対応アプリケーションを使って本機を制御するときの認証用パスワードを設定します。半角英数字で32文字以内で入力します。
- [Web制御パスワード]：Web制御で本機の設定や制御をするときの認証用パスワードを設定します。半角英数字で8文字以内で入力します。(ユーザー名はEPSONWEBです。デフォルトのパスワードは設定されていません。)
- [モデレーターパスワード]：Epson iProjectionを使って、モデレーターとして本機に接続するときの認証用パスワードを設定します。4桁の数字を入力します。(デフォルトのパスワードは設定されていません。)
- [プロジェクターキーワード]：他のユーザーが誤って接続しないように、セキュリティーパスワードを有効にできます。コンピューターやモバイルデバイスの映像を投写するときは、投写画面に表示されるキーワードをEpson iProjectionで入力する必要があります。
- [キーワード通知]：Epson iProjectionを使って本機に接続するときに、投写画面にプロジェクターキーワードを表示するかどうかを設定します。
- [LAN情報表示]：本機のネットワーク情報の表示形式を設定します。



名前、パスワード、およびキーワードの入力には、表示されたソフトキーボードを使用します。リモコンの上下左右ボタンを押して文字を選択し、【Enter】 ボタンを押して入力します。

- 6 [無線LAN] を選択し、【Enter】 ボタンを押します。



- 7 [接続モード] を選択します。

- [かんたんモード]：スマートフォンやタブレット端末、コンピューターとワイヤレスに直接接続できます。
- [マニュアルモード]：無線LANアクセスポイント経由でスマートフォンやタブレット端末、コンピューターと接続できます。



本機がスタンバイ状態のとき無線LAN経由で監視・制御するには、[接続モード] を [マニュアルモード] に設定してください。

- 8 [マニュアルモード] を選択した場合は [アクセスポイント検索] を行って、接続する無線LANアクセスポイントを選択します。



手動でSSIDを割り当てるときは [SSID] を選択して、SSIDを入力します。

- 9 [マニュアルモード] の場合は、必要に応じてプロジェクターにIPアドレスを割り当てます。

- DHCPを使用できるネットワークの場合は、[IP設定] を選択し、[DHCP] を [オン] にします。
- DHCPを使用できないネットワークの場合は、[IP設定] を選択し、[DHCP] を [オフ] にして、プロジェクターの [IPアドレス]、[サブネットマスク]、[ゲートウェイアドレス] を入力します。
- IPv6を使用してプロジェクターをネットワークに接続する場合は、[IPv6設定] を選択し、[IPv6] を [オン] にして、[自動構成]、[一時アドレスの使用] を設定します。

- 10 設定したSSIDやIPアドレスがLAN待機画面に表示されないようにするには、[SSID表示] または [IPアドレス表示] を [オフ] に設定します。

- 11 設定が終わったら、[設定完了] を選択します。画面の指示に従って設定を保存し、メニューを終了します。



[Web制御パスワード] が設定されていないときは、ネットワークの設定を保存する際にパスワードの設定を求められます。画面の指示に従ってパスワードを設定してください。

- 12** リモコンの【LAN】 ボタンを押します。  
LAN待機画面に正しいIPアドレスが表示されていれば、設定完了です。



無線LAN設定が完了したら、コンピューターの無線LAN設定をしてください。ネットワークソフトウェアを起動して、無線LAN経由で映像をプロジェクターに送ります。

## Windowsで無線LANを設定する

コンピューターとプロジェクターを接続するには、コンピューターで無線LAN設定をします。

- 1** Windowsタスクバーのネットワークアイコンをクリックし、無線ユーティリティソフトウェアを起動します。
- 2** マニュアルモードで接続するときは、プロジェクターが接続しているネットワークのネットワーク名（SSID）を選択します。
- 3** [接続] をクリックします。

## Macで無線LANを設定する

コンピューターとプロジェクターを接続するには、コンピューターで無線LAN設定をします。

- 1** 画面上部にあるメニューバーのWi-Fiアイコンをクリックします。
- 2** マニュアルモードで接続するときは、Wi-Fiがオンに設定されていることを確認し、プロジェクターが接続しているネットワークのネットワーク名（SSID）を選択します。

## 無線LANのセキュリティを設定する

プロジェクターの無線通信に使うセキュリティを設定できます。無線LANの設定に合わせて、以下のいずれかのセキュリティを設定します。

- WPA2-PSKセキュリティ \*
- WPA3-PSKセキュリティ \*\*
- WPA2/WPA3-PSKセキュリティ \*\*
- WPA3-EAPセキュリティ \*\*
- WPA2/WPA3-EAPセキュリティ \*\*

\* かんたんモードに設定しているときのみ

\*\* マニュアルモードに設定しているときのみ



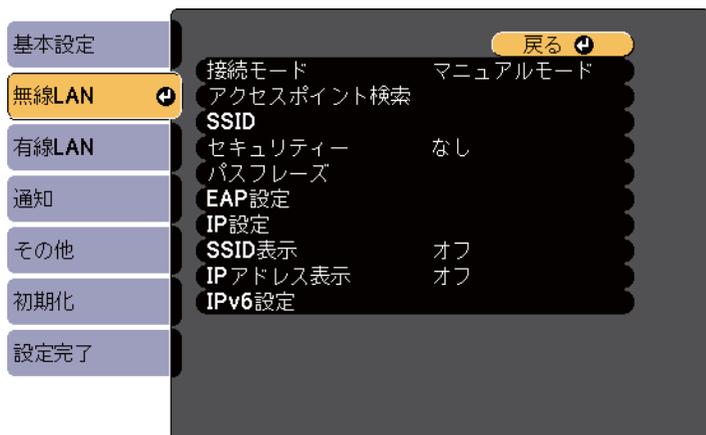
無線LANのネットワーク設定については、ネットワーク管理者にお問い合わせください。

- 1** WPA3-EAPまたはWPA2/WPA3-EAPセキュリティを設定する場合は、本機に対応した形式の証明書をSDカードのルートディレクトリに格納します。

**2** 【Menu】 ボタンを押し、[ネットワーク] を選択して、【Enter】 ボタンを押します。

**3** [ネットワーク設定画面へ] を選択し、【Enter】 ボタンを押します。

**4** [無線LAN] を選択し、【Enter】 ボタンを押します。



**5** [セキュリティ] を選択し、【Enter】 ボタンを押します。

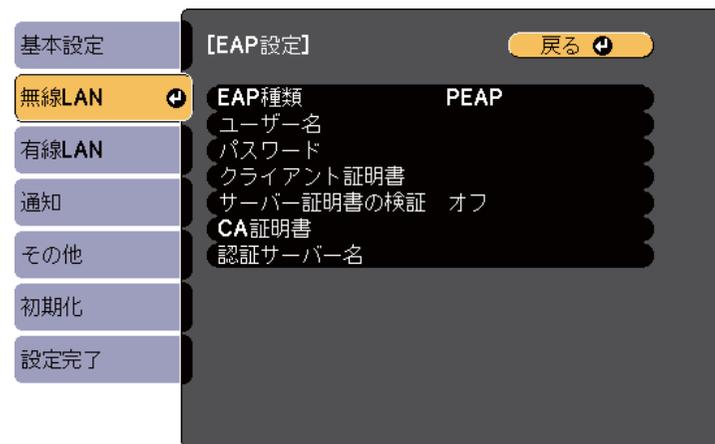


**6** 無線LANの設定に合わせて、セキュリティーを設定します。

**7** 選択したセキュリティーに応じて、以下のいずれかの操作をします。

- [WPA2-PSK]、[WPA3-PSK]、[WPA2/WPA3-PSK] の場合：[設定完了] を選択します。画面の指示に従って設定を保存してメニューを終了します。
- [WPA3-EAP]、[WPA2/WPA3-EAP] の場合：[EAP設定] を選択し【Enter】 ボタンを押します。

**8** [EAP種類] で認証プロトコルを選択します。



**9** 証明書の種類を選択し、【Enter】 ボタンを押します。

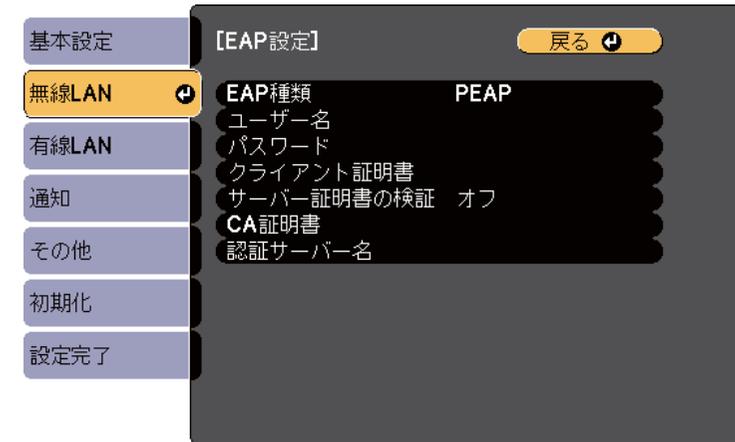
- [クライアント証明書]：[PEAP-TLS]、[EAP-TLS] 用のクライアント証明書
- [CA証明書]：EAPのすべての種類用のクライアント証明書



電子証明書はWebブラウザからも設定できます。ただし、Webブラウザとプロジェクターメニューの双方から証明書をインストールすると、正しくインストールされないことがあります。

- 10 [登録] を選択し、【Enter】 ボタンを押します。
- 11 画面の指示に従って、本機のSDカードスロットにSDカードを挿入します。
- 12 【Enter】 ボタンを押して、証明書の一覧を表示します。
- 13 一覧からインポートする証明書を選択します。  
パスワードの入力を求めるメッセージが表示されます。
- 14 証明書のパスワードを入力し、【Enter】 ボタンを押します。  
証明書がインストールされ、完了メッセージが表示されます。
- 15 必要に応じてEAPセキュリティーを選択します。
  - [ユーザー名]：ユーザー名を入力します。半角英数字63文字以内で入力します。33文字以上の入力をするときは、Webブラウザを使って入力します。クライアント証明書をインポートしたときは、証明書の発行先が自動で設定されます。
  - [パスワード]：[PEAP]、[EAP-FAST] の認証用パスワードを入力します。半角英数字63文字以内で入力します。33文字以上の入力をするときは、Webブラウザを使って入力します。
  - [サーバー証明書の検証]：CA証明書が設定されているときに、サーバー証明書を照合するかどうかを選択します。

- [認証サーバー名]：認証サーバー名を入力します。



- 16 設定が終わったら、[設定完了] を選択します。画面の説明に従って設定を保存し、メニューを終了します。

#### ▶▶ 関連項目

- 「サポートするクライアント・CA証明書の一覧」 p.92
- 「ネットワーク設定 - 無線LANメニュー」 p.136

### サポートするクライアント・CA証明書の一覧

以下の種類の電子証明書を設定できます。

#### クライアント証明書 (PEAP-TLS/EAP-TLS)

項目	説明
フォーマット	PKCS#12
拡張子	PFX、P12

項目	説明
暗号	RSA
ハッシュ	MD5/SHA-1/SHA-256/SHA-384/SHA-512
鍵長	512/1024/2048/4096 bit
パスワード*	設定が必要。32文字以内の半角英数字。

### CA証明書 (PEAP/PEAP-TLS/EAP-TLS/EAP-FAST)

項目	説明
フォーマット	X509v3
拡張子	DER/CER/PEM
暗号	RSA
ハッシュ	MD5/SHA-1/SHA-256/SHA-384/SHA-512
鍵長	512/1024/2048/4096 bit
エンコード	BASE64/バイナリー

\*パスワードは半角英数字で64文字以内で設定できます。33文字以上の入力をするときは、Webブラウザを使って入力します。

## QRコードを使用してモバイルデバイスに接続する

プロジェクターの無線LAN設定が完了したら、画面に投写されるQRコードをEpson iProjection (iOS/Android) で読み取って、スマートフォンやタブレット端末などのモバイルデバイスを接続できます。



- お使いのモバイルデバイスに、最新版のEpson iProjectionがインストールされていることを確認してください。
- Epson iProjectionは、App StoreまたはGoogle Playから無料でダウンロードできます。App Store、Google Playへ接続する際の通信料はお客様の負担となります。
- かんたんモードでEpson iProjectionを使うときは、セキュリティの設定をすることをお勧めします。

- 1 リモコンの【LAN】ボタンを押します。  
QRコードが投写画面に表示されます。



- QRコードが表示されないときは、[ネットワーク]メニューの[LAN情報表示]を[テキストとQRコード]に設定します。  
☞ [ネットワーク] > [ネットワーク設定画面へ] > [基本設定] > [LAN情報表示]
- QRコードを非表示にしたいときは、【Esc】ボタンを押してください。
- QRコードが表示されないときは、【Enter】ボタンを押してください。

- 2 モバイルデバイスにインストールされているEpson iProjectionを起動します。
- 3 投写されているQRコードをEpson iProjectionで読み取って、プロジェクターに接続します。



投写画面に近づいて、正面からQRコードを読み取ります。QRコードがモバイルデバイスのQRコードリーダーのガイド内に収まっていることを確認します。画面から離れすぎると、正しく読み取れないことがあります。

接続が完了したら、☰から [コンテンツ] メニューを選択し、投写するファイルを選択してください。

HTTPSプロトコルを用いて、プロジェクターとWebブラウザ間の通信のセキュリティーを強固にできます。HTTPSプロトコルを用いたセキュリティーを適用するには、Webブラウザから信頼性を検証できるサーバー証明書を作成してプロジェクターにインストールし、[セキュアHTTP] 設定をオンにします。

☞ [ネットワーク] > [ネットワーク設定画面へ] > [その他] > [セキュアHTTP]

サーバー証明書がないときは、プロジェクター内部で自己署名証明書を自動作成して通信します。自己署名証明書はWebブラウザから信頼性を検証できないため、Webブラウザからプロジェクターにアクセスしたときにサーバーの信頼性に関する警告が表示されます。この警告を無視することで通信を継続できます。

#### ▶ 関連項目

- 「メニューからWebサーバー証明書を設定する」 [p.95](#)

## メニューからWebサーバー証明書を設定する

プロジェクターメニューと外付けデバイスを使って、作成したWebサーバー証明書を本機にインストールします。



- 本機では、外付けデバイスとしてSDカードを使用できます。
- 電子証明書はWebブラウザからも設定できます。ただし、Webブラウザとプロジェクターメニューの双方から証明書をインストールすると、正しくインストールされないことがあります。

- 1 本機に対応した形式の証明書をSDカードのルートディレクトリーに格納します。
- 2 【Menu】 ボタンを押し、[ネットワーク] を選択して、【Enter】 ボタンを押しします。

- 3 [ネットワーク設定画面へ] を選択し、【Enter】 ボタンを押しします。
- 4 [その他] を選択し、【Enter】 ボタンを押しします。



- 5 [セキュアHTTP] を [オン] に設定します。
- 6 [Webサーバー証明書] を選択し、【Enter】 ボタンを押しします。
- 7 [登録] を選択し、【Enter】 ボタンを押しします。
- 8 画面の指示に従って、本機のSDカードスロットにSDカードを挿入します。
- 9 【Enter】 ボタンを押しして、証明書の一覧を表示します。
- 10 一覧からインポートする証明書を選択します。パスワードの入力を求めるメッセージが表示されます。
- 11 証明書のパスワードを入力し、【Enter】 ボタンを押しします。証明書がインストールされ、完了メッセージが表示されます。

## ▶ 関連項目

- 「サポートするWebサーバー証明書の一覧」 [p.96](#)

## サポートするWebサーバー証明書の一覧

以下の種類の電子証明書を設定できます。

### Webサーバー証明書（セキュアHTTP）

項目	説明
フォーマット	PKCS#12
拡張子	PFX、P12
暗号	RSA
ハッシュ	MD5/SHA-1/SHA-256/SHA-384/SHA-512
鍵長	512/1024/2048/4096 bit
Common Name	ネットワークホスト名
Organization	任意
パスワード*	設定が必要。32文字以内の半角英数字。

\*パスワードは半角英数字で64文字以内で設定できます。33文字以上の入力をするときは、Webブラウザを使って入力します。

# プロジェクターを監視および制御する

ネットワーク経由でプロジェクターの監視と制御を行う方法について説明します。

## ▶ 関連項目

- 「Epson Projector Management」 [p.98](#)
- 「Webブラウザを使ってネットワークプロジェクターを制御する」 [p.99](#)
- 「Webブラウザで証明書を設定する」 [p.106](#)
- 「メールでプロジェクターの異常を通知する」 [p.108](#)
- 「SNMPを使ってプロジェクターを監視する」 [p.110](#)
- 「ESC/VP21コマンドを使用する」 [p.111](#)
- 「PJLinkについて」 [p.112](#)
- 「Crestron Connectedについて」 [p.113](#)
- 「Art-Netチャンネル定義」 [p.115](#)
- 「Web APIを使ってプロジェクターを操作する」 [p.118](#)
- 「プロジェクターのイベントスケジュールを設定する」 [p.119](#)

Epson Projector Managementを使用すると、ネットワークに接続されたプロジェクターの状態をコンピューターに表示して確認したり、コンピューターから制御したりできます (Windowsのみ)。詳しくは『Epson Projector Management操作ガイド』をご覧ください。

Epson Projector Managementは以下のWebサイトからダウンロードしてください。

[epson.jp/download](http://epson.jp/download)

コンピューターのWebブラウザを使って、ネットワークに接続されたプロジェクターのメニュー設定や制御を離れた場所から行えます。プレイリストの編集もできます。



- コンピューターとプロジェクターをネットワークに接続できる状態にしておきます。無線LANで接続するときは、[マニュアルモード]で接続してください。
- 以下のWebブラウザを使用できます。
  - Internet Explorer 11以上 (Windows)
  - Microsoft Edge (Windows)
  - Safari (Mac、iOS)
  - Chrome (Android)
- お使いのWebブラウザで、接続にプロキシサーバーを使用しないように設定してください。メニュー設定の中には、Webブラウザからは設定できない項目があります。
- 以下の場合、本機がスタンバイ状態（電源オフ）のときも、Webブラウザを使って設定や制御ができます。
  - [待機モード] が [通信オン] に設定されている場合
    - ☛ [拡張設定] > [待機モード] > [待機モード]
  - [接続モード] を [マニュアルモード] に設定して無線LANで接続しているか、有線LANで接続している場合
    - ☛ [ネットワーク] > [ネットワーク設定画面へ] > [無線LAN] > [接続モード]
- Epson iProjection (iOS/Android) から、Webブラウザを使ってプロジェクターの制御が可能です。

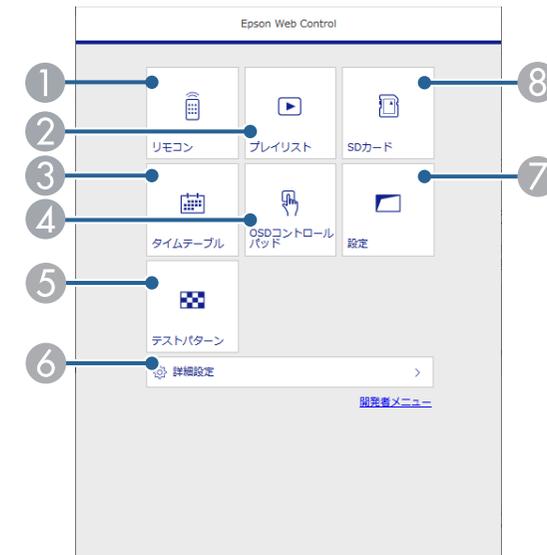
**1** 本機の電源がオンになっていることを確認します。

**2** お使いの機器を、接続先のプロジェクターと同じネットワークに接続します。

**3** お使いの機器でWebブラウザを起動します。

**4** ブラウザーのアドレス入力部にプロジェクターのIPアドレスを入力し、Epson Web Control画面に接続します。IPv6アドレスを入力するときは、アドレスを[]で囲んで入力します。

Epson Web Control画面が表示されます。



① 本機をリモート操作します。

② 再生したいプレイリストを選択します。プレイリストの作成や編集もできます。

③ タイムテーブル画面を表示します。

④ 指やマウスで本機のメニューを操作します。

⑤ テストパターンを表示します。

⑥ 本機の詳細設定をします。

⑦ 本機の設定をします。

⑧ プレイリスト用の素材データをSDカードに転送します。

## 5 操作したい項目を選択します。



- Epson Web Control画面のオプション設定をするためにログインを求められる場合があります。ログイン画面が表示されたら、ユーザー名とパスワードを入力します。ユーザー名は**EPSONWEB**、デフォルトのパスワードは設定されていません。
- パスワードは、[ネットワーク]メニューの[Web制御パスワード]で変更できます。
- 以下の項目は[詳細設定]からのみ設定できます。
  - Monitorパスワード（半角英数字で16文字以内）
  - IPv6設定（手動）
  - HTTPポート追加（Web制御に使用するポート番号で、80（デフォルト）、161、162、443、843、3620、3621、3629、3702、4352、5116、5357、6454、41794以外の番号）

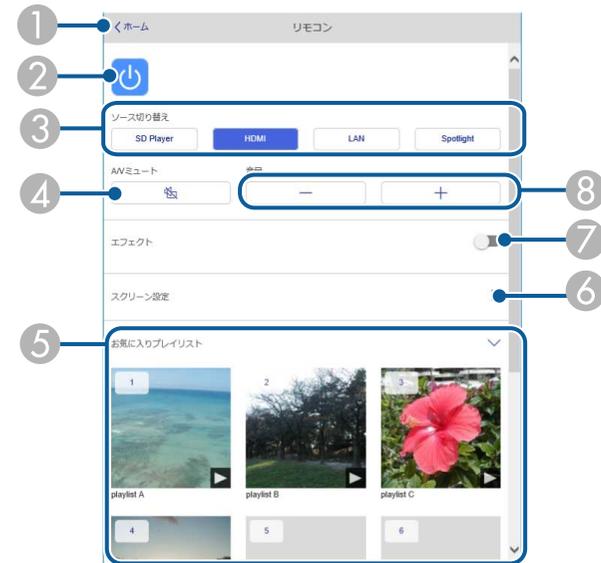
### ▶ 関連項目

- 「Web Controlのオプション設定」 [p.100](#)
- 「拡張設定メニュー」 [p.130](#)
- 「ネットワークメニュー - 基本設定メニュー」 [p.135](#)

## Web Controlのオプション設定

### リモコン

[リモコン]画面では、入力ソースの選択、プロジェクターの操作、プレイリストの再生ができます。

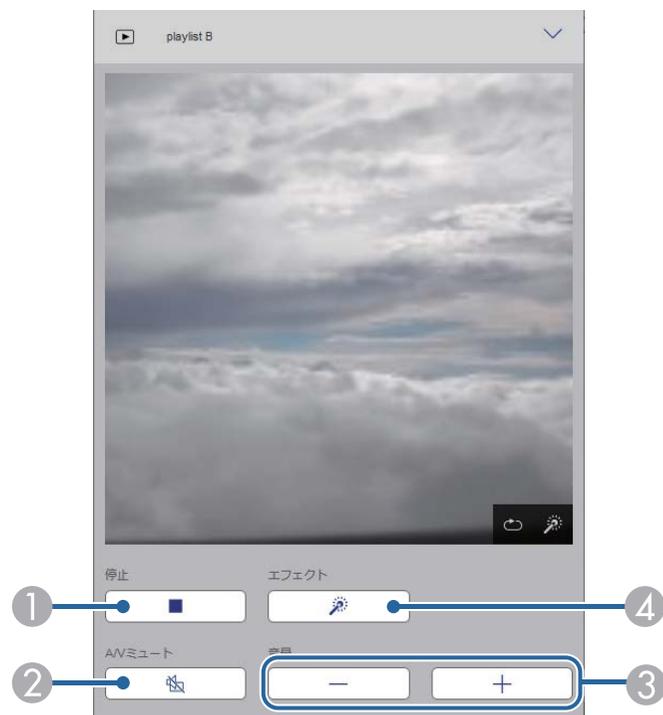


- ① Epson Web Controlのホーム画面に移動します。
- ② 本機の電源をオン/オフします。
- ③ 入力ソースを選択します。
- ④ 映像と音声を一時的に遮断します。
- ⑤ お気に入りに登録したプレイリストの一覧です。選択すると再生が始まります。
- ⑥ 投写映像を調整します。  
この項目を展開すると、[ズーム]、[電動フォーカス]、[台形補正]の設定を調整できます。

- ⑦ 入力ソースがSD以外のとき、[エフェクト] の項目が表示されます。  
[エフェクト] をオン/オフします。投写映像の色や形を変えたいときはオンにしてください。  
オンにすると、[エフェクト] 画面が表示されます。あらかじめ用意されているカラーフィルターまたは形状フィルターなどのエフェクトをプレイリストに設定できます。エフェクトをカスタマイズすることもできます。
- ⑧ 外部スピーカーの音量を調整します。

- ③ 外部スピーカーの音量を調整します。
- ④ [エフェクト] 画面を表示します。あらかじめ用意されているエフェクトの設定を選択、または明度、カラーフィルター、形状フィルターのエフェクトを個別に設定します。

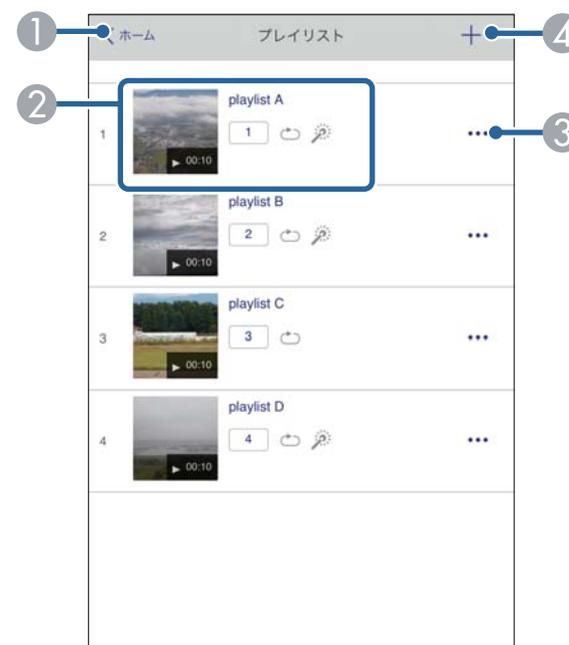
## プレイリスト再生中の画面



- ① 投写を停止します。
- ② 映像と音声を一時的に遮断します。ただし、すべてのサウンドおよびビデオの再生は続行されるため、停止したポイントから投写を再開することはできません。

## プレイリスト

[プレイリスト] 画面では、再生したいプレイリストを選択できます。プレイリストの作成や編集もできます。



- ① Epson Web Controlのホーム画面に移動します。

- ② プレイリストを再生します。  
プレイリストの設定はアイコンで示されます。  
  - ① : お気に入りに登録された番号
  - 🔄 : 繰り返し再生が設定されています
  - 🌟 : エフェクトが設定されています
- ③ メニューから、プレイリストの編集、複製、お気に入り登録、削除ができます。  
[編集] または [複製] を選択したときは、プレイリスト編集画面が表示されます。
- ④ 新規プレイリスト画面で新規プレイリストを作成できます。

## 新規プレイリスト作成/プレイリスト編集画面



- ① プレイリスト名を編集できます。

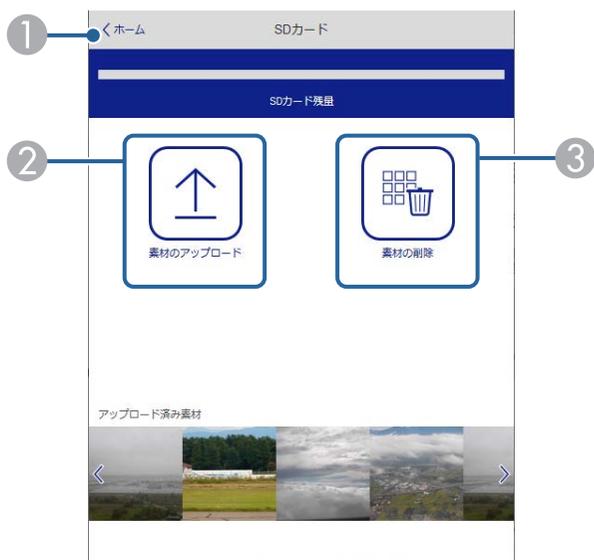
- ② 繰り返し再生するかどうかを設定します。
- ③ お気に入りに登録します。  
お気に入りに登録すると、[リモコン] 画面またはリモコンを使用して簡単にプレイリストを再生できます。
- ④ プレイリストに追加された画像や動画を表示します。ここに表示された順序で画像や動画が再生されます。
- ⑤ 画像や動画を追加します。
- ⑥ 画像や動画を一覧から削除します。
- ⑦ [静止画切り替え] 画面を表示します。  
プレイリスト投写中に次のファイルに切り替わるまでの表示時間を設定できます。トランジション効果も設定できます。
- ⑧ [エフェクト] 画面を表示します。  
あらかじめ用意されているカラーフィルターまたは形状フィルターなどのエフェクトをプレイリストに設定できます。エフェクトをカスタマイズすることもできます。
- ⑨ プレイリストをプレビューできます。

## SDカード

[SDカード] 画面では、プレイリストに追加したい画像や動画をSDカードに転送したり、不要な画像や動画をSDカードから削除できます。



.avi、.jpeg (.jpg)、.png、.bmp、.gifファイルをアップロードできません。  
 .mp4または.movファイルをプレイリストに追加したいときは、Epson Projector Content ManagerまたはEpson Creative Projectionを使用します。



- ① Epson Web Controlのホーム画面に移動します。
- ② プレイリストに追加する写真や動画を、SDカードに転送します。
- ③ 画像や動画をSDカードから削除します。

## タイムテーブル

[タイムテーブル] 画面では、タイムテーブルを有効または無効にできます。



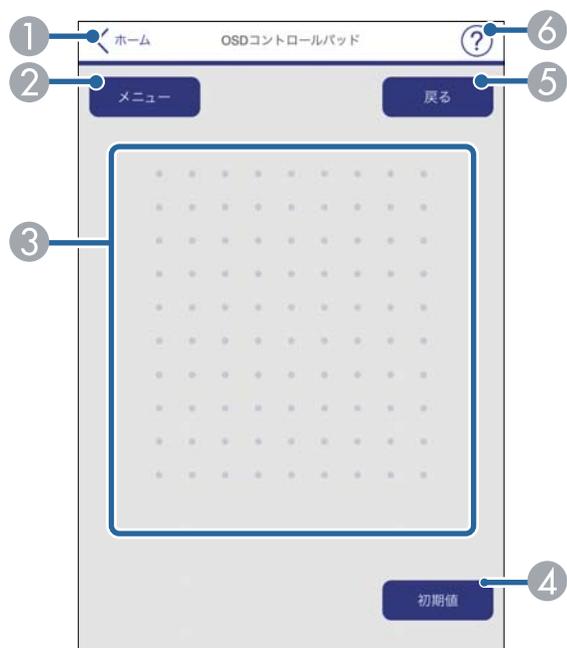
- ① Epson Web Controlのホーム画面に移動します。
- ② タイムテーブルをオン/オフします。



Epson Projector Content Manager のタイムテーブル機能を使うと、プレイリストを再生する日時を指定できます。  
 詳しくは『Epson Projector Content Manager操作ガイド』をご覧ください。

## OSDコントロールパッド

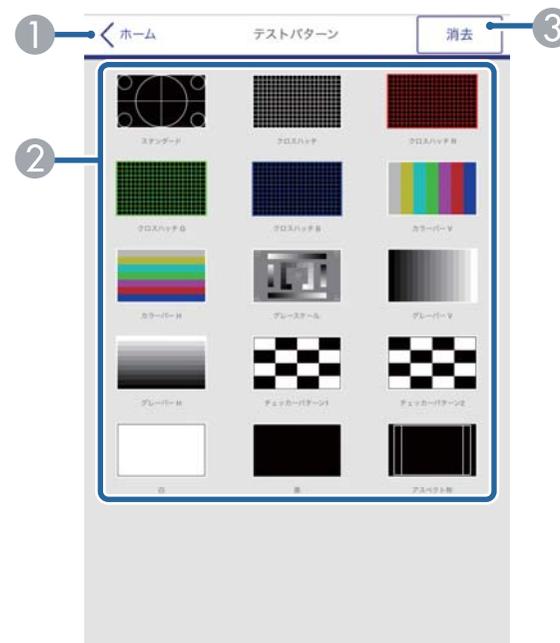
[OSDコントロールパッド] 画面では、指やマウスでプロジェクターのメニューを操作できます。



- ① Epson Web Controlのホーム画面に移動します。
- ② 本機のメニューを表示します。
- ③ 指やマウスでメニューを操作します。
- ④ 選択した設定を初期値に戻します。
- ⑤ 前のメニュー項目に戻ります。
- ⑥ ヘルプを表示します。

## テストパターン

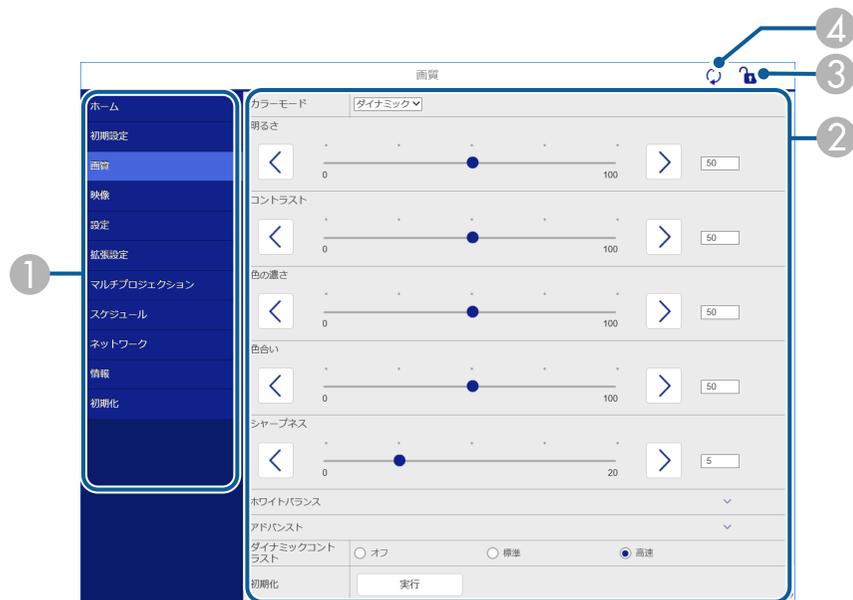
[テストパターン] 画面では、テストパターンを表示できます。



- ① Epson Web Controlのホーム画面に移動します。
- ② 表示可能なテストパターン一覧から、表示したいパターンを選択します。
- ③ テストパターンの表示を終了します。

## 詳細設定

[詳細設定] 画面では、プロジェクターの詳細設定ができます。



- 1 選択しているメニュー名を表示します。
- 2 本機の設定をします。
- 3 本機の設定をロックまたはアンロックします。
- 4 本機の設定を更新します。



以下の項目はWebブラウザでは変更できません。

- [Bluetooth]
- [ユーザーボタン]
- [コンテンツ再生]
- [ユーザーロゴ]
- [HDMI EQ 設定]
- [言語]
- [アクセスポイント検索]
- [Crestron Connected]
- [Event ID]
- [アンテナレベル]
- [ネットワーク初期化]



以下の項目はWebブラウザでのみ設定できます。

- Monitorパスワード（半角英数字で16文字以内）
- IPv6設定（手動）
- HTTPポート追加（Web制御に使用するポート番号で、80（デフォルト）、161、162、443、843、3620、3621、3629、3702、4352、5116、5357、6454、41794以外の番号）

セキュリティー設定に用いる電子証明書を本機に設定します。



本機への電子証明書のインストールは、[ネットワーク] メニューから行うことができます。ただし、Webブラウザとプロジェクターメニューの双方から証明書をインストールすると、正しくインストールされないことがあります。

- ☛ [ネットワーク] > [ネットワーク設定画面へ] > [無線LAN] > [EAP設定] > [クライアント証明書]
- ☛ [ネットワーク] > [ネットワーク設定画面へ] > [無線LAN] > [EAP設定] > [CA証明書]
- ☛ [ネットワーク] > [ネットワーク設定画面へ] > [その他] > [Webサーバー証明書]

- 1** 本機に対応した形式の証明書を用意します。
- 2** 本機の電源がオンになっていることを確認します。
- 3** ネットワークに接続されているコンピューターまたはモバイルデバイスでWebブラウザを起動します。

- 4** ブラウザーのアドレス入力部にプロジェクターのIPアドレスを入力し、Epson Web Control画面に接続します。

Epson Web Control画面が表示されます。



- 5** [詳細設定] を選択します。



- 詳細設定画面を表示するには、ログインが必要です。ログイン画面が表示されたら、ユーザー名とパスワードを入力します。(ユーザー名は**EPSONWEB**です。デフォルトのパスワードは設定されていません。)
- パスワードは、[ネットワーク] メニューで変更できます。
  - ☛ [ネットワーク] > [ネットワーク設定画面へ] > [基本設定] > [Web制御パスワード]

- 6** [ネットワーク] から [証明書] を選択します。

- 7** 登録する証明書を選択します。
- 8** [パスワード] ボックスにパスワードを入力し、[送信] をクリックします。
- 9** 設定が終了したら、[反映] をクリックします。

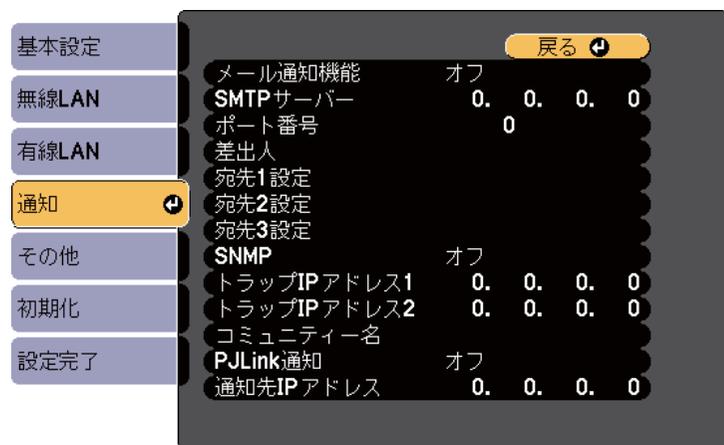
プロジェクトターが異常/警告状態になったとき、異常状態が電子メールで通知されるようにメール通知機能を設定できます。



以下の場合、本機がスタンバイ状態（電源オフ）のときも、通知メールを送信できます。

- [待機モード] が [通信オン] に設定されている場合  
 ● [拡張設定] > [待機モード] > [待機モード]
- [接続モード] を [マニュアルモード] に設定して無線LANで接続しているか、有線LANで接続している場合  
 ● [ネットワーク] > [ネットワーク設定画面へ] > [無線LAN] > [接続モード]

- 1 【Menu】ボタンを押し、[ネットワーク] を選択して、【Enter】ボタンを押します。
- 2 [ネットワーク設定画面へ] を選択し、【Enter】ボタンを押します。
- 3 [通知] を選択し、【Enter】ボタンを押します。



- 4 [メール通知] を [オン] に設定します。

- 5 [SMTPサーバー] にIPアドレスを入力します。



127.x.x.xのIPアドレスは使用できません（xは0～255の数値）。

- 6 [ポート番号] にSMTPサーバーのポート番号を0～65535の数値で入力します（デフォルトは25）。

- 7 送信者として表示されるメールアドレスを [差出人] に入力します。

- 8 宛先を選択し、メールアドレスとメール通知する異常/警告の種類を選択します。宛先は3つまで設定できます。



メールアドレスは半角英数字64文字以内で入力します。33文字以上を入力をするときは、Webブラウザーを使って入力します。

- 9 設定が終わったら、[設定完了] を選択します。画面の指示に従って設定を保存し、メニューを終了します。



本機に致命的な異常が発生し、瞬時に起動停止状態になったときは、メールを送信できないことがあります。

## ▶▶ 関連項目

- 「異常通知メールの見方」 p.109
- 「拡張設定メニュー」 p.130

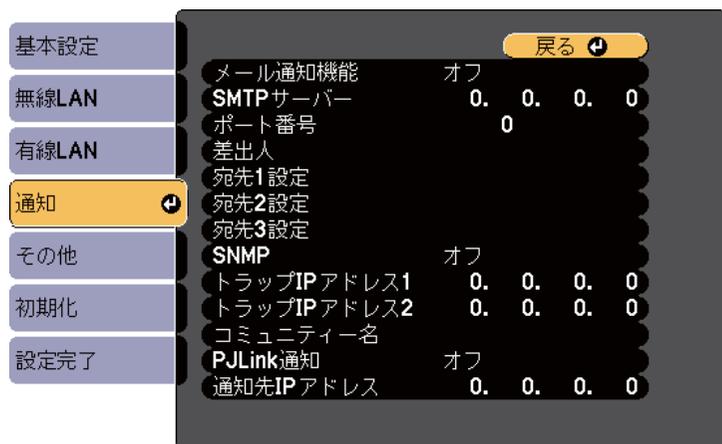
## 異常通知メールの見方

通知メールを送信する設定をしているとき、本機が異常/警告状態になると、以下の情報を含むメールが送信されます。

- メール差出人： [差出人] のメールアドレス
- メール件名： [Epson Projector]
- 1行目：異常が生じたプロジェクター名
- 2行目：異常が生じたプロジェクターのIPアドレス
- 3行目：異常の内容

コンピューターにSNMP（Simple Network Management Protocol）ソフトウェアをインストールして、プロジェクトターを監視できます。SNMPによる管理は、ネットワーク管理者が行います。SNMPソフトウェアを使用するときは、本機のSNMP設定をします。

- 1 【Menu】ボタンを押し、[ネットワーク] を選択して、【Enter】ボタンを押します。
- 2 [ネットワーク設定画面へ] を選択し、【Enter】ボタンを押します。
- 3 [通知] を選択し、【Enter】ボタンを押します。



- 4 [SNMP] を [オン] にします。

- 5 [トラップIPアドレス1] と [トラップIPアドレス2] に、SNMP通知を受信するIPアドレスを最大2つ入力します。0～255の数字を入力します。



224.0.0.0～255.255.255.255のIPアドレスは使用できません。  
本機のSNMPエージェントはバージョン1（SNMPv1）に対応しています。

- 6 SNMPの [コミュニティー名] を半角英数字32文字以内で入力します。
- 7 設定が終わったら、[設定完了] を選択します。画面の指示に従って設定を保存し、メニューを終了します。

ESC/VP21を使用して外部デバイスからプロジェクターを制御できます。

▶ **関連項目**

- 「ESC/VP21コマンドリスト」 [p.111](#)

詳細はお買い上げの販売店またはお問い合わせ先に記載の連絡先にご相談ください。

## ESC/VP21コマンドリスト

本機に電源オンのコマンドを送信すると、電源が入りウォームアップ状態になります。電源オンの状態になると、本機はコロン「:」（3Ah）を返信します。

本機はコマンドを受け取ると、そのコマンドを実行後「:」を返信し、次のコマンドを受け付けます。

異常終了のときは、エラーメッセージを出力した後に「:」を返信します。

以下のコマンドを使用できます。

項目		コマンド
電源のオン/オフ	オン	PWR ON
	オフ	PWR OFF
信号切り替え	HDMI	SOURCE 30
	LAN	SOURCE 53
	SDプレーヤー	SOURCE 57
	スポットライト	SOURCE 58
A/Vミュート機能のオン/オフ	オン	MUTE ON
	オフ	MUTE OFF

各コマンドの最後に復帰（CR）コード（0Dh）を追加して送信してください。

JBMIA（一般社団法人ビジネス機械・情報システム産業協会）によりネットワーク対応プロジェクターの制御用プロトコルの標準化が進められ、制御用標準プロトコルPJLinkが策定されました。

このプロジェクターは、JBMIAによって策定されたPJLink Class2規格に準拠しています。

PJLinkの検索機能で使用するポート番号は4352（UDP）です。

PJLinkを使用するには、事前にネットワーク設定を行う必要があります。次のコマンドを除く、PJLink Class2によって規定されているすべてのコマンドに対応しており、PJLink規格の適合性を確認しています。

<http://pjlink.jbmia.or.jp/>

- 非対応コマンド

働き		PJLinkコマンド
ミュート設定	映像ミュート設定	AVMT 11
	音声ミュート設定	AVMT 21

- 入力端子名称および入力ソース番号の対応表

入力端子名称	入力ソース番号
HDMI	32
SDプレーヤー	43
スポットライト	44
LAN	52

- 「メーカー名問合せ」で表示するメーカー名

**EPSON**

- 「機種情報問合せ」で表示する機種名

EPSON EV115/EV110

#### ▶▶ 関連項目

- 「ネットワーク上のプロジェクターを使用する」 p.83

Crestron Connectedは統合コントロールシステムです。ネットワークで接続された複数の機器を一括して監視、制御できます。Crestron Connectedを使うと、Webブラウザを使ってプロジェクターの制御や監視ができます。



- Crestron Connectedを使用するときは、Epson Projector Managementのメッセージ配信機能を使用できません。
- 以下の場合、本機がスタンバイ状態（電源オフ）でもプロジェクターを制御できます。
  - [待機モード] が [通信オン] に設定されている場合
    - ☛ [拡張設定] > [待機モード] > [待機モード]
  - [接続モード] を [マニュアルモード] に設定して無線LANで接続しているか、有線LANで接続している場合
    - ☛ [ネットワーク] > [ネットワーク設定画面へ] > [無線LAN] > [接続モード]

Crestron Connectedの詳細については、Crestron社のWebサイトを参照してください。

<https://www.crestron.com/>

システム内の機器の監視には、Crestron社が提供するCrestron RoomView ExpressまたはCrestron Fusionを使用できます。監視の他にヘルプデスクとの通信、緊急時のメッセージ送信ができます。詳細は以下をご覧ください。

<http://www.crestron.com/getroomview>

本書では、Webブラウザを利用してコンピューターの画面上で本機を操作する方法を説明します。

#### ▶▶ 関連項目

- 「Crestron Connectedを設定する」 p.113
- 「拡張設定メニュー」 p.130

## Crestron Connectedを設定する

Crestron Connectedを使ってプロジェクターの監視と制御をするには、コンピューターとプロジェクターがネットワークに接続されていることを確認します。

無線で接続する場合は、マニュアルモードでネットワークに接続します。

- 1 【Menu】 ボタンを押し、[ネットワーク] を選択して、【Enter】 ボタンを押します。
- 2 [ネットワーク設定画面へ] を選択し、【Enter】 ボタンを押します。
- 3 [その他] を選択し、【Enter】 ボタンを押します。



- 4 [Crestron Connected] を [オン] に設定して、プロジェクターが検出されるようにします。
- 5 設定が終わったら、[設定完了] を選択します。画面の指示に従って設定を保存し、メニューを終了します。
- 6 プロジェクターの電源を入れなおして設定を有効にします。

- 7** ネットワークに接続されているコンピューターまたはモバイルデバイスでWebブラウザを起動します。
- 8** ブラウザーのアドレス入力部にプロジェクターのIPアドレスを入力し、Epson Web Control画面に接続します。
- 9** [Crestron Connected] を選択します。詳細はCrestron社のWebサイトを参照してください。

Art-NetはTCP/IPプロトコルに基づくイーサネット通信プロトコルです。DMXコントローラーやアプリケーションシステムを使って本機を制御できます。

Art-Netで本機を制御するときのチャンネル定義は下記のとおりです。最初にチャンネル13を「操作可能」に設定してください。

チャンネル/機能	動作	パラメータ	初期値	説明
1 光量調整 (Dimming)	0% - 100%	0 - 255	0	映像の明るさを調整します。
2 シャッター制御	シャッター開	0 - 63	128	A/Vミュートを有効/無効にします。
	無操作	64 - 191		
	シャッター閉	192 - 255		
3 ソース切替	無操作	0 - 7	0	指定したソースに切り替えます。
	HDMI	8 - 15		
	LAN	16 - 23		
	SDプレーヤー	24 - 31		
	スポットライト	32 - 39		
	無操作	40 - 255		
7 ズーム	(+) レンズ調整 (移動量大)	0 - 31	128	指定した移動量に合わせてズームを実行します。

チャンネル/機能	動作	パラメータ	初期値	説明
	(+) レンズ調整 (移動量中)	32 - 63		
	(+) レンズ調整 (移動量小)	64 - 95		
	無操作	96 - 159		
	(-) レンズ調整 (移動量小)	160 - 191		
	(-) レンズ調整 (移動量中)	192 - 223		
	(-) レンズ調整 (移動量大)	224 - 255		
8 電動フォーカス	(+) レンズ調整 (移動量大)	0 - 31	128	指定した移動量に合わせて電動フォーカスを実行します。
	(+) レンズ調整 (移動量中)	32 - 63		
	(+) レンズ調整 (移動量小)	64 - 95		
	無操作	96 - 159		
	(-) レンズ調整 (移動量小)	160 - 191		
	(-) レンズ調整 (移動量中)	192 - 223		
	(-) レンズ調整 (移動量大)	224 - 255		

チャンネル/機能	動作	パラメータ	初期値	説明
10 コンテンツ再生	無操作	0 - 3	0	指定したプレイリストを再生します。
	Playlist 1	4 - 7		
	Playlist 2	8 - 11		
	Playlist 3	12 - 15		
	Playlist 4	16 - 19		
	Playlist 5	20 - 23		
	Playlist 6	24 - 27		
	Playlist 7	28 - 31		
	Playlist 8	32 - 35		
	Playlist 9	36 - 39		
	Playlist 10	40 - 43		
	Playlist 11	44 - 47		
	Playlist 12	48 - 51		
	Playlist 13	52 - 55		
	Playlist 14	56 - 59		
	Playlist 15	60 - 63		
	Playlist 16	64 - 67		
	Playlist 17	68 - 71		
	Playlist 18	72 - 75		
	Playlist 19	76 - 79		

チャンネル/機能	動作	パラメータ	初期値	説明
	Playlist 20	80 - 83		
	Playlist 21	84 - 87		
	Playlist 22	88 - 91		
	Playlist 23	92 - 95		
	Playlist 24	96 - 99		
	Playlist 25	100 - 103		
	Playlist 26	104 - 107		
	Playlist 27	108 - 111		
	Playlist 28	112 - 115		
	Playlist 29	116 - 119		
	Playlist 30	120 - 123		
	Playlist 31	124 - 127		
	Playlist 32	128 - 131		
	Playlist 33	132 - 135		
	Playlist 34	136 - 139		
	Playlist 35	140 - 143		
	Playlist 36	144 - 147		
	Playlist 37	148 - 151		
	Playlist 38	152 - 155		
	Playlist 39	156 - 159		
Playlist 40	160 - 163			

チャンネル/機能	動作	パラメータ	初期値	説明
	Playlist 41	164 - 167		
	Playlist 42	168 - 171		
	Playlist 43	172 - 175		
	Playlist 44	176 - 179		
	Playlist 45	180 - 183		
	Playlist 46	184 - 187		
	Playlist 47	188 - 191		
	Playlist 48	192 - 195		
	Playlist 49	196 - 199		
	Playlist 50	200 - 203		
	無操作	204 - 255		
11 電源制御	電源オフ	0 - 63	128	プロジェクターの電源をオン/オフします。
	無操作	64 - 191		
	電源オン	192 - 255		
13 ロック	操作不可	0 - 127	0	Art-Netの操作を有効/無効にします。
	操作可能	128 - 255		



Art-Netで本機を制御しながらリモコンで本機を操作すると、DMXコントローラーやアプリケーションソフトの設定と本機の実際の状態が異なる場合があります。すべてのチャンネルの制御を本機に反映するときは、チャンネル13を一度 [操作不可] に設定し、再度 [操作可能] に設定してください。

▶▶ 関連項目

- 「ネットワークメニュー - その他メニュー」 [p.142](#)

Web APIを使ってプロジェクトターを操作できます。詳しくは『プロジェクトター用Web API仕様書』をご覧ください。



- Web API通信には、API認証（Digest認証）を使用できます。
- API認証のユーザー名は **EPSONWEB**、パスワードは [Web制御パスワード] で設定されているパスワードを入力してください。

## ▶ 関連項目

- 「Web APIを有効にする」 [p.118](#)

---

## Web APIを有効にする

Web APIはWebブラウザーから有効にできます。

- 1** Epson Web Control画面で [開発者メニュー] を選択します。
- 2** [API有効] を [オン] にします。

プロジェクターの電源オン/オフや入力ソースの切り替えなど、最大30件のイベントをプロジェクターにスケジュール登録できます。設定した日時を選択したイベントが自動的に実行されます。

## 警告

燃えやすい物をプロジェクターのレンズの前に置かないでください。スケジュール機能によりプロジェクターの電源が自動でオンになり、火災の原因となることがあります。



- パスワードプロテクト画面で [スケジュール保護] をオンにしているときは、事前に [スケジュール保護] をオフにします。

- 1 [日付&時刻] メニューで日時を設定します。  
 [拡張設定] > [動作設定] > [日付&時刻]
- 2 【Menu】ボタンを押し、[拡張設定] を選択して、【Enter】ボタンを押します。
- 3 [スケジュール設定画面へ] を選択し、【Enter】ボタンを押します。
- 4 [スケジュール] を選択し、【Enter】ボタンを押します。

- 5 [新規追加] を選択し、【Enter】ボタンを押します。



- 6 イベント実行時のプロジェクターの動作内容を設定します。



**7** イベントを実行する日付や曜日、時刻を選択します。



**8** 「保存」を選択し、【Enter】ボタンを押します。  
登録したイベントが画面に表示されます。イベントのステータスや時刻はアイコンやインジケータで示されます。



- ①  : 有効なイベント
-  : 定期的なイベント
-  : 無効なイベント
- ② 選択している日付 (黄色で強調表示)
- ③  : 1回限りのイベント
-  : 定期的なイベント
-  : 通信監視のオン/オフ
-  : 無効なイベント

**9** 登録されているイベントを編集するには、イベントを選択し、【Esc】ボタンを押します。

- 10** 表示されたメニューから操作を選択します。
- [有効] / [無効]：選択したイベントを有効または無効にできます。
  - [編集]：イベントの動作内容または日時を変更できます。
  - [削除]：登録したイベントを一覧から削除できます。

- 11** [設定完了] を選択して、[はい] を選択します。

登録したイベントをすべて削除するには、[スケジュール初期化] を選択します。

▶ 関連項目

- 「日時を設定する」 [p.38](#)
- 「パスワードを設定する」 [p.78](#)

# メニューの設定

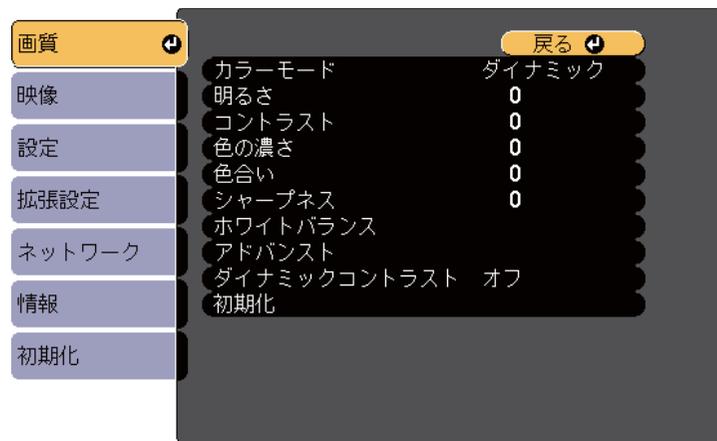
プロジェクターメニューの機能と設定について説明します。

## ▶ 関連項目

- 「プロジェクターメニューを操作する」 [p.123](#)
- 「ソフトキーボードを操作する」 [p.124](#)
- 「画質メニュー」 [p.125](#)
- 「映像メニュー」 [p.127](#)
- 「設定メニュー」 [p.128](#)
- 「拡張設定メニュー」 [p.130](#)
- 「ネットワークメニュー」 [p.135](#)
- 「情報メニュー」 [p.144](#)
- 「初期化メニュー」 [p.147](#)
- 「メニュー設定を別のプロジェクターにコピーする（一括設定機能）」 [p.149](#)

投写画面に表示されるメニューを使って、本機の各種動作を設定します。

- 1 リモコンの【Menu】ボタンを押します。  
[画質]メニューが表示されます。



- 2 上下ボタンを押して、左側に表示されるメニュー項目を選択します。各メニューの設定が右側に表示されます。



現在投写している入力ソースによって設定できる項目が異なります。

- 3 設定を変更するには、【Enter】ボタンを押します。
- 4 上下ボタンを押して、設定項目を選択します。
- 5 メニュー画面の下に表示されるナビゲーションに従って、設定を変更します。
- 6 メニュー設定をすべて初期値に戻すには、[初期化]を選択します。

- 7 メニューの設定が終わったら、【Esc】ボタンを押します。

- 8 【Menu】ボタンまたは【Esc】ボタンを押してメニューを終了します。

数字や文字の入力が必要なときはソフトキーボードが表示されます。

- 1 リモコンの上下左右ボタンを使って、入力する数字や文字を選択し、【Enter】ボタンを押します。



CAPSキーを選択すると、大文字小文字が切り替わります。  
SYM1/2キーを選択すると、枠に囲まれている記号が変わります。

- 2 テキストの入力後、キーボードのFinishを選択して入力を確定します。Cancelを選択すると、テキストの入力を取り消します。



コンピューターのWebブラウザーを使って、ネットワークに接続されたプロジェクターの設定や制御ができます。  
プロジェクターメニューのソフトキーボードでは入力できない文字があります。ソフトキーボードで入力できない文字はWebブラウザーを使って入力してください。

## ▶ 関連項目

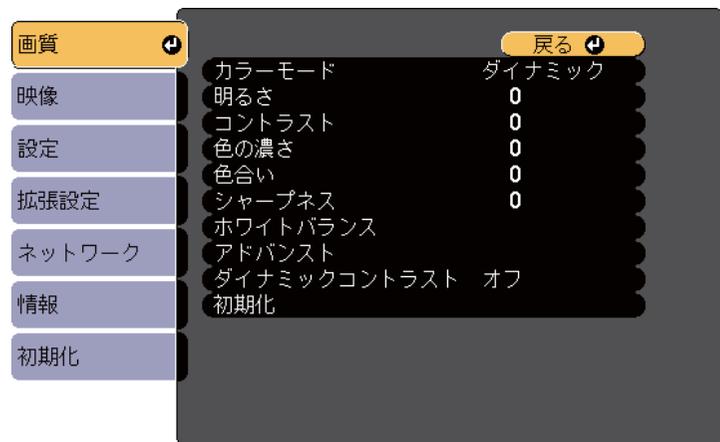
- 「ソフトキーボードで入力可能な文字」 [p.124](#)
- 「Webブラウザーを使ってネットワークプロジェクターを制御する」 [p.99](#)

## ソフトキーボードで入力可能な文字

ソフトキーボードでは、以下の文字を入力できます。

文字タイプ	詳細
数字	0123456789
アルファベット	ABCDEFGHIJKLMNOPQRSTUVWXYZ abcdefghijklmnopqrstuvwxyz
記号	!"#\$%&'()*+,-./:;<=>?@[\\]^_`{ }~

「画質」メニューでは、現在投写している入力ソースの映像の画質を調整できます。現在投写している入力ソースによって設定できる項目が異なります。



設定を変更するには、変更したい入力ソースの映像が投写されていることを確認してください。

設定	選択肢	説明
カラーモード	カラーモードの一覧を参照	映像の種類や使用環境に応じて、適切なカラーモードを選択します。
明るさ	レベル調整	映像全体を明るくしたり、暗くしたりします。
コントラスト	レベル調整	映像のコントラストを調整します。
色の濃さ	レベル調整	映像の色の濃さを調整します。
色合い	レベル調整	映像の色合いを調整します。
シャープネス	レベル調整	映像のシャープ感を調整します。
ホワイトバランス		映像全体の色合いを調整します。

設定	選択肢	説明
	色温度	選択したカラーモードに応じて色温度を設定します。値を高くすると青みがかった映像になり、値を低くすると赤みがかった映像になります。 [カラーフィルター] が [ウォームホワイト] または [クールホワイト] 以外のとき表示されます。 ☛ [設定] > [コンテンツ再生] > [エフェクト] > [カラーフィルター]
	カスタム	オフセット、ゲインをR (赤)、G (緑)、B (青) の成分ごとに調整します。
アドバンスト	ガンマ	ガンマグラフを見ながら補正値を選んで映像の発色を調整します。
ダイナミックコントラスト	オフ 標準 高速	映像の明るさに合わせて投写時の光量を調整します。 [カラーモード] を [ダイナミック] に設定しているときに調整できます。 この項目は、[マルチプロジェクション] を [オン] に設定しているときは設定できません。 ☛ [拡張設定] > [マルチプロジェクション] > [マルチプロジェクション]
初期化	—	選択されているカラーモードの「画質」メニューで調整したすべての値を初期値に戻します。



[明るさ] の設定は光源の明るさには影響しません。光源の明るさを変更するには、[明るさ設定] を設定します。

☛ [設定] > [明るさ設定]

## ▶▶ 関連項目

- 「カラーモードの種類」 [p.53](#)

本機は入力信号方式を自動的に検出し、映像設定を最適化します。詳細な設定が必要なときは、[映像]メニューで設定します。現在投写している入力ソースによって設定できる項目が異なります。



設定を変更するには、変更したい入力ソースの映像が投写されていることを確認してください。

設定	選択肢	説明
アスペクト	アスペクト比の一覧を参照	映像のアスペクト比（縦横比）を設定します。
アドバンスト	ビデオレンジ	HDMI端子に接続された機器の設定に合わせて、本機のビデオレベルを設定します。
表示倍率	映像の切り出しに関する設定	本機を複数台使用してひとつの映像を投写するときに、それぞれのプロジェクターで表示する映像の範囲を調整します。
初期化	—	[映像]メニューで調整したすべての値を初期値に戻します。

#### ▶▶ 関連項目

- 「アスペクトモードの種類」 p.51

[設定] メニューでは、プロジェクターの各種設定ができます。



設定	選択肢	説明
台形補正		投写画面のゆがみを補正します。
	タテヨコ台形補正	縦方向、横方向のゆがみを補正します。
	Quick Corner	投写画面のコーナーの形状を個別に補正します。
音量	レベル調整	外部スピーカーの音量を調整します。設定した内容は入力ソースごとに保持されます。入力ソースが [スポットライト] の場合は設定できません。
Bluetooth		Bluetoothに関する設定をします。
	Bluetooth機器検索	接続可能なBluetoothオーディオ機器を検索します。
	Bluetoothオーディオ	Bluetoothオーディオ機器に音声を出力するときは、オンに設定します。

設定	選択肢	説明
	接続機器	接続中のBluetooth機器の情報を表示します。
明るさ設定		光源の明るさを選択します。
	光源モード	光源の明るさを設定します。 [マルチプロジェクション] を [オン] に設定しているときは設定できません。 ☛ [拡張設定] > [マルチプロジェクション] > [マルチプロジェクション] <ul style="list-style-type: none"> <li>[ノーマル]：明るさを落とさないときに選択します。</li> <li>[静音]：ファンの音が気になるときに選択します。明るさレベルは約50%になります。</li> <li>[ロング]：光源の寿命を延ばしたいときに選択します。明るさレベルは約50%になります。</li> <li>[カスタム]：明るさレベルを設定します。</li> </ul>
		明るさレベル
リモコン受光部	オン オフ	[オフ] に設定すると、リモコンからの操作ができなくなります。

設定	選択肢	説明
ユーザーボタン	光源モード マルチプロジェクション 情報 QRコード表示 メッセージ表示 明るさレベル	リモコンの【User】ボタンに割り当てるメニュー項目を設定します。ボタンを押すと、割り当てたメニュー項目がワンタッチで表示されます。
テストパターン	—	機器を接続せずに映像のピントやズーム、映像のゆがみを調整できるように、テストパターンを表示します。 (【Esc】ボタンを押すと、パターン表示を終了します。)
コンテンツ再生		映像に装飾を追加したり、プレイリストを再生したりします。
	エフェクト	映像に色や形の装飾を追加します。 以下の場合には設定できません。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• [エッジブレンディング] が [オン] のとき  <ul style="list-style-type: none"> <li>☛ [拡張設定] &gt; [マルチプロジェクション] &gt; [エッジブレンディング] &gt; [エッジブレンディング]</li> </ul> </li> <li>• 入力ソースがSDプレーヤーで、書き込み不可のエラーとなっているとき</li> <li>• 入力ソースがSDプレーヤーで、プレイリストを再生していないとき</li> </ul>
	SDビューアー	SDカードに保存されているプレイリストを再生します。

設定	選択肢	説明
初期化	—	[設定] メニューで調整した、以下を除くすべての値を初期値に戻します。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• [ユーザーボタン]</li> </ul>

「拡張設定」メニューでは、プロジェクターの詳細な設定ができます。



設定	選択肢	説明
表示設定		表示に関する設定をします。
	メッセージ表示	[オン] にすると、入力ソース名、プロジェクターID、映像信号が入力されていないときのメッセージや高温警告などのメッセージが投写画面に表示されます。メッセージを表示させたくないときは [オフ] を選択します。
	背景表示	映像信号が入力されていないときに投写する画像を選択します。
	スタートアップスクリーン	[オン] にすると、投写開始時にロゴを表示します。
スタンバイ確認	[オフ] に設定すると、電源ボタンを押したときに、シャットダウン確認画面を表示せずに本機の電源を切ります。	

設定	選択肢	説明
	ユニフォーミティ	[オン] に設定すると画面全体の色味のバランスを調整できます。 [画質] メニューの [カラーモード] を [ダイナミック] に設定しているときは設定できません。 <ul style="list-style-type: none"> <li>[調整レベル]: レベルを設定します。</li> <li>[調整開始]: 色味を調整するエリアを選択し、赤、緑、青ごとの色味を調整します。</li> </ul>
ユーザーロゴ	—	本機の識別やセキュリティ向上のために、本機で表示するユーザーロゴを登録します。
設置モード	フロント フロント・天吊り リア リア・天吊り	映像が正しい方向で投写されるように、スクリーンに対する本機の設置方法を選択します。
動作設定		本機の動作に関する設定をします。
	ダイレクトパワーオン	[オン] に設定すると、電源プラグを差し込むだけで本機の電源が入ります。
	高地モード	標高約1500m以上の場所で本機を使用するように動作を制御します。
オートパワーオン	オートパワーオンに使用する入力ソースを選択します。本機がスタンバイ状態のときに、選択した入力ソースからの映像信号を検出すると、自動的に本機の電源が入ります。	

設定	選択肢	説明
	インジケータ表示	[オフ] に設定すると、本機のインジケータを消灯します。[オフ] の場合でも、異常時/警告時/スタンバイ時/ウォームアップ時は点灯します。
	起動時入力設定	本機を起動したときに投写する入力ソースを選択します。
	HDMI EQ 設定	HDMI入力端子に接続している映像機器に応じてHDMI受信レベルを変更します。映像にノイズが入ったり、映らないときは、設定を変更してください。 スティック型端末を接続して映らないときは、設定を [1] に変更してください。
	アドバンスト	一括設定機能を使ってすべてのメニュー設定をコピーするときは、[一括設定範囲] を [すべて] に設定します。以下の設定をコピーしたくないときは [一部] を選択します。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• [パスワードプロテクト] 設定</li> <li>• [ネットワーク] メニュー</li> </ul>
	日付&時刻	本機の日付と時刻を設定します。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• [夏時間設定] : [夏時間] を [オン] にすると、夏時間が有効になります。</li> <li>• [インターネット時刻] : [オン] にすると、インターネット時刻サーバーから時刻を自動的に更新します。</li> </ul>

設定	選択肢	説明
待機モード		[DC Out/GPI In] を [投写時オン/オフ] に設定しているときのみ設定できます。
	待機モード	スタンバイ状態のときにネットワーク経由で本機を監視・制御するときは、[通信オン] に設定します。 本機を無線LAN経由で監視・制御するときは、[接続モード] を [マニュアルモード] に設定してください。 ☛ [ネットワーク] > [ネットワーク設定画面へ] > [無線LAN] > [接続モード]
	通信ポート	[待機モード] で [通信オン] を選択したときに、使用するポートを [有線LAN] または [無線LAN] のどちらかに設定します。
DC Out (2.0A)/GPI In設定		DC Out (2.0A) / GPI In端子に接続している外部センサーなどの機器からの入力信号に応じて実行する動作を選択します。

設定	選択肢	説明
	DC Out/GPI In	<p>[GPI-1設定] および [GPI-2設定] を有効または無効にします。GPI設定を有効にするには [常時オン/オン] に設定します。</p> <p>また、本機が映像を投写していないときでも外部センサー機器を動作させておいたり、メディアストリーミング端末に給電を続けたりするときも、[常時オン/オン] に設定します。メディアストリーミング端末の起動を早め、ファームウェアの自動更新を可能にします。</p>

設定	選択肢	説明
	GPI-1設定 GPI-2設定	<p>[Low -&gt; High] / [High -&gt; Low] : センサーの信号が一定電圧以上または以下になったときに実行する動作を設定します。センサーの信号が一定電圧以上になったときに実行する動作を選択したいときは、[Low -&gt; High] を選択します。センサーの信号が一定電圧以下になったときに実行する動作を選択したいときは、[High -&gt; Low] を選択します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• [お気に入りプレイリスト] : [プレイリスト再生] を選択したときに再生するプレイリストを設定します。</li> <li>• [入力ソース] : [ソース切り替え] を選択したときに切り替えるソースを設定します。</li> <li>• [組み合わせ] : GPI-1およびGPI-2信号の組み合わせを設定します。</li> <li>• [High保持] / [Low保持] : 選択した動作を実行するまでにHighまたはLow信号が保持される時間を設定します。</li> </ul>
	GPI情報	GPI-1およびGPI-2の現在の値を表示します。
マルチプロジェクト ション		本機を2台以上並べて使用するときの設定をします。

設定	選択肢	説明
	マルチプロジェクション	複数台並べて色合いを合わせる場合に、[オン] に設定します。[オン] に設定すると、左右の画面の色ムラを防ぐため、以下の項目が自動的に設定されます。 <ul style="list-style-type: none"> <li>☛ [画質] &gt; [ダイナミックコントラスト] &gt; [オフ]</li> <li>☛ [設定] &gt; [明るさ設定] &gt; [光源モード] &gt; [カスタム]</li> </ul>
	プロジェクターID	複数のプロジェクターをリモコンから操作するときを使う本機のIDを設定します。
	カラーモード	映像の種類や使用環境に応じて、適切なカラーモードを選択します。すべてのプロジェクターで同じカラーモードを選択してください。
	ユニフォーミティー	画面全体の色味のバランスを調整します。
	エッジブレンディング	映像のつなぎ目を補正します。
	表示倍率	本機を複数台使用してひとつの映像を投写するとき、それぞれのプロジェクターで表示する映像の範囲を調整します。
	明るさ設定	光源の明るさを選択します。
	カラーマッチング	各映像の色合いや明るさの差を補正します。
	初期化	[マルチプロジェクション] メニューの調整値を初期値に戻します。

設定	選択肢	説明
スケジュール設定画面へ	スケジュール設定画面へ移動	プロジェクターにイベントスケジュールを登録して、設定した日時に選択したイベントを自動的に実行します。
言語	言語設定	メニュー、メッセージに表示する言語を選択します。
初期化	—	[拡張設定] メニューで調整した、以下を除くすべての値を初期値に戻します。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• [ユニフォーミティー]</li> <li>• [ユーザーロゴ]</li> <li>• [設置モード]</li> <li>• [高地モード]</li> <li>• [HDMI EQ 設定]</li> <li>• [日付&amp;時刻]</li> <li>• [待機モード]</li> <li>• [通信ポート]</li> <li>• [DC Out (2.0A)/GPI In設定]</li> <li>• [マルチプロジェクション]</li> <li>• [プロジェクターID]</li> <li>• [カラーモード]</li> <li>• [カラーマッチング]</li> <li>• [スケジュール設定]</li> <li>• [言語]</li> </ul>



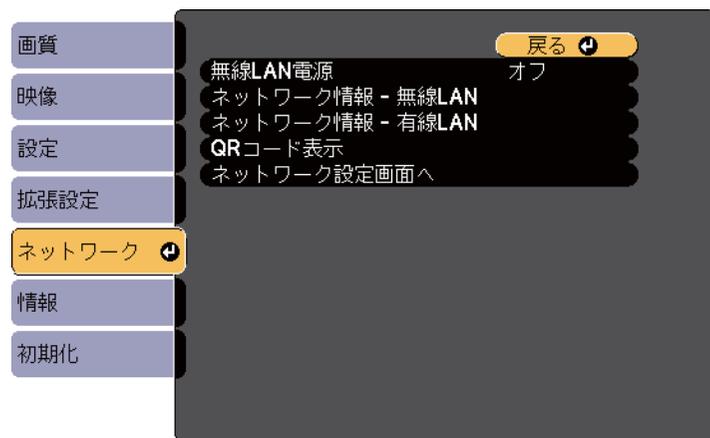
[パスワードプロテクト] で [ユーザーロゴ保護] を [オン] にすると、ユーザーロゴに関する設定は変更できません。事前に [ユーザーロゴ保護] を [オフ] に設定します。

### ▶▶ 関連項目

- 「パスワードプロテクトの種類を設定する」 [p.79](#)

[ネットワーク] メニューでは、ネットワーク情報の表示、ネットワーク経由で本機を使うための設定ができます。

[パスワードプロテクト] で [ネットワーク保護] を [オン] にすると、ネットワーク設定は変更できません。事前に [ネットワーク保護] を [オフ] に設定します。



[Web制御パスワード] が設定されていないときは、ネットワークの設定を保存する際にパスワードの設定を求められます。画面の指示に従ってパスワードを設定してください。

設定	選択肢	説明
無線LAN電源	オン オフ	無線LAN接続を設定します。 無線LAN経由で映像を投写するには [オン] を選択します。無線LANで接続しないときは、第三者の不正アクセスを防ぐためにオフに設定してください。

設定	選択肢	説明
ネットワーク情報 - 無線LAN情報	無線LAN情報	無線LANのステータス、詳細情報を表示します。 [無線LAN電源] を [オン] に設定しているときのみ有効です。
ネットワーク情報 - 有線LAN	有線LAN情報	有線LANのステータス、詳細情報を表示します。
QRコード表示	—	Epson iProjectionを使って、iOSまたはAndroid機器を接続するときに読み取るQRコードを表示します。
ネットワーク設定画面へ	ネットワーク設定画面へ移動	ネットワークの詳細設定をします。



コンピューターのWebブラウザを使って、ネットワークに接続されたプロジェクターのメニュー設定や制御を離れた場所から操作できます。

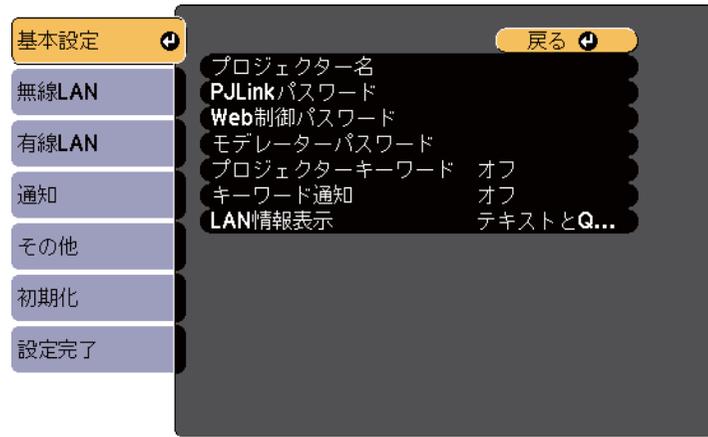
### ▶▶ 関連項目

- 「ネットワークメニュー - 基本設定メニュー」 [p.135](#)
- 「ネットワーク設定 - 無線LANメニュー」 [p.136](#)
- 「ネットワーク設定 - 有線LANメニュー」 [p.140](#)
- 「ネットワークメニュー - 通知メニュー」 [p.141](#)
- 「ネットワークメニュー - その他メニュー」 [p.142](#)
- 「ネットワークメニュー - 初期化メニュー」 [p.143](#)
- 「パスワードプロテクトの種類を設定する」 [p.79](#)

## ネットワークメニュー - 基本設定メニュー

[基本設定] メニューでは、ネットワークの基本設定ができます。

☛ [ネットワーク] > [ネットワーク設定画面へ] > [基本設定]



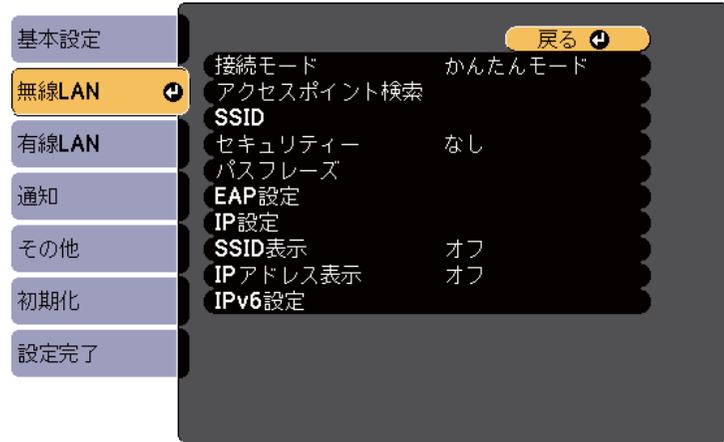
設定	選択肢	説明
プロジェクター名	16文字以内の半角英数字 ("* +, / : ; < = > ? [ \ ]   スペースは使用不可)	ネットワーク上で本機を識別するための名前を入力します。
PJLinkパスワード	32文字以内の半角英数字	PJLink対応アプリケーションを使って本機を制御するときの認証用パスワードを設定します。
Web制御パスワード	8文字以内の半角英数字 (* : スペースは使用不可)	Web制御で本機の設定や制御するときの認証用パスワードを設定します。(ユーザー名は <b>EPSONWEB</b> です。デフォルトのパスワードは設定されていません。)

設定	選択肢	説明
モデレーターパスワード	4桁の数字	Epson iProjectionを使って、モデレーターとして本機に接続するときの認証用パスワードを入力します。(デフォルトのパスワードは設定されていません。)
プロジェクターキーワード	オン オフ	[オン] にすると、他のユーザーが誤って映像を投写しないように、セキュリティパスワードを有効にできます。コンピューターやモバイルデバイスの映像を投写するときは、投写画面に表示されるキーワードをEpson iProjectionで入力する必要があります。
キーワード通知	オン オフ	[オン] にすると、Epson iProjectionでプロジェクターに接続したときに、投写画面にプロジェクターキーワードを表示します。 [プロジェクターキーワード] が [オン] のときに設定できます。
LAN情報表示	テキストとQRコード テキスト	本機のネットワーク情報の表示形式を設定します。 QRコードを表示させると、Epson iProjectionでQRコードを読み取るだけで本機とモバイルデバイスをネットワーク接続できます。初期値は [テキストとQRコード] です。

## ネットワーク設定 - 無線LANメニュー

[無線LAN] メニューでは、無線LANの設定ができます。

☛ [ネットワーク] > [ネットワーク設定画面へ] > [無線LAN]



設定	選択肢	説明
接続モード		接続モードを選択します。
	かんたんモード	スマートフォンやタブレット端末、コンピュータとワイヤレスに直接接続できます。 かんたんモードで接続すると、本機が簡易アクセスポイントになります。(プロジェクターに接続するコンピューターやタブレット端末の数は、6台以下を目安としてください。目安を超えると投写映像の更新が遅くなることがあります。)
	マニュアルモード	無線LANアクセスポイント経由でスマートフォンやタブレット端末、コンピュータと接続できます。

設定	選択肢	説明
アクセスポイント検索	検索画面へ移動	マニュアルモードで接続するときに、周囲の無線LANアクセスポイントを検索します。アクセスポイントの設定によっては、一覧に表示されないアクセスポイントがあります。
SSID	32文字以内の半角英数字	本機のSSID (ネットワーク名) を設定します。本機が接続する無線LANシステムでSSIDが定められているときは、そのSSIDを設定します。
セキュリティ		無線LANの設定に合わせてセキュリティの種類を選択します。 セキュリティの設定については、ネットワーク管理者の指示に従ってください。
	なし	セキュリティを設定しません。
	WPA2-PSK	WPA2パーソナルモードで接続します。WPA2によるセキュリティを使って通信します。暗号化にはAES方式を使用します。コンピューターからプロジェクターに接続するときは、パスワードに設定した値を入力してください。
	WPA3-PSK	WPA3パーソナルモードで接続します。WPA3によるセキュリティを使って通信します。暗号化にはAES方式を使用します。コンピューターからプロジェクターに接続するときは、パスワードに設定した値を入力してください。

設定	選択肢	説明
	WPA2/WPA3-PSK	WPA2/WPA3パーソナルモードで接続します。暗号化方式はアクセスポイントの設定に応じて自動的に選択されます。アクセスポイントと共通のパスワードを設定します。
	WPA3-EAP	WPA3エンタープライズモードで接続します。暗号化方式はアクセスポイントの設定に応じて自動的に選択されます。
	WPA2/WPA3-EAP	WPA2/WPA3エンタープライズモードで接続します。暗号化方式はアクセスポイントの設定に応じて自動的に選択されます。
パスワード	8～32文字のパスワード (Webブラウザから入力する場合：8～63文字のパスワード)	<p>セキュリティの設定で[WPA2-PSK]、[WPA3-PSK]、または [WPA2/WPA3-PSK] を選択したときは、ネットワークに接続するためのパスワードを入力します。</p> <p>パスワードを入力し、【Enter】ボタンを押すと、値が設定されます。設定された値はアスタリスク (*) で表示されます。</p> <p>セキュリティ強化のため、パスワードは定期的に変更することをお勧めします。ネットワーク設定を初期化すると、パスワードは初期値に戻ります。</p>
EAP設定		[WPA3-EAP] および [WPA2/WPA3-EAP] セキュリティのEAPを設定します。

設定	選択肢	説明
	EAP種類	<p>認証用プロトコルを選択します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• [PEAP]：Windows Serverで広く使われている認証プロトコルです。</li> <li>• [PEAP-TLS]：Windows Serverで使われている認証プロトコルです。クライアント証明書を使用する場合に選択します。</li> <li>• [EAP-TLS]：一般的に広く使われている、クライアント証明書を使用する認証プロトコルです。</li> <li>• [EAP-FAST]：EAP-FASTが使用されているときに指定します。</li> </ul>
	ユーザー名	<p>半角英数字63文字以内で入力します。プロジェクターのメニューで入力できる文字数は最大32文字です。33文字以上の入力をするときは、Webブラウザを使って入力します。ドメイン名を含めて入力する必要があるときは、ユーザー名の前にバックslashで区切ってドメイン名を追加します (ドメイン名\ユーザー名)。</p> <p>クライアント証明書をインポートしたときは、証明書の発行先が自動で設定されます。</p>

設定	選択肢	説明
	パスワード	[EAP種類] が [PEAP]、または [EAP-FAST] に設定されているときに、認証用パスワードを半角英数字63文字以内で入力します。プロジェクターのメニューで入力できる文字数は最大32文字です。33文字以上の入力をするときは、Webブラウザを使って入力します。パスワードを入力し、[設定] を選択すると、パスワードはアスタリスク (*) で表示されます。
	クライアント証明書	[EAP種類] が [PEAP-TLS]、または [EAP-TLS] に設定されているときに、クライアント証明書をインポートします。
	サーバー証明書の検証	CA証明書が設定されているときに、サーバー証明書を照合するときは、[オン] に設定します。
	CA証明書	CA証明書をインポートします。
	認証サーバー名	認証サーバー名を入力します。半角英数字で32文字まで入力できます。
チャンネル設定	チャンネル選択	かんたんモードの無線通信で使用する周波数の帯域 (チャンネル) を選択します。 [ネットワーク] メニューの [無線LAN電源] を [オフ] に設定しているときは設定できません。

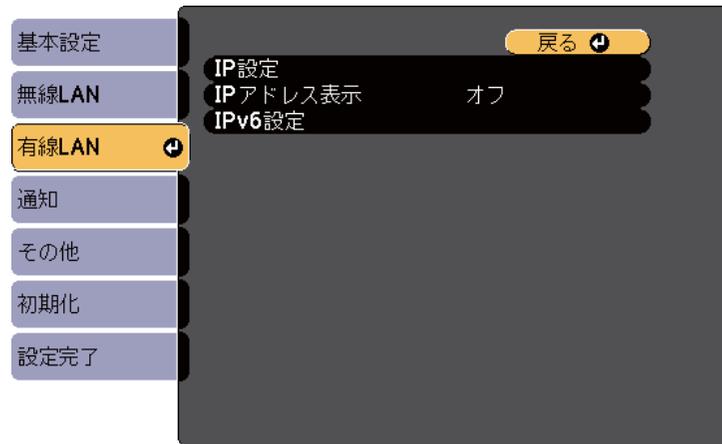
設定	選択肢	説明
IP設定	DHCP IPアドレス サブネットマスク ゲートウェイアドレス	[DHCP] を使用できるネットワークの場合は、[オン] にします。DHCPを使用できないネットワークの場合は、[オフ] にして、プロジェクターの [IPアドレス]、[サブネットマスク]、[ゲートウェイアドレス] を入力します。0~255の数字を入力します。 0.0.0.0、127.x.x.x、192.0.2.x、224.0.0.0~255.255.255.255のアドレスはIPアドレスに使用できません (xは0~255の数值)。255.255.255.255、0.0.0.0~254.255.255.255のアドレスはサブネットマスクに使用できません。0.0.0.0、127.x.x.x、224.0.0.0~255.255.255.255のアドレスはゲートウェイアドレスに使用できません。
	SSID表示	オン オフ LAN待機画面にSSIDを表示するかしないかを選択します。
IPアドレス表示	オン オフ LAN待機画面にIPアドレスを表示するかしないかを選択します。	
IPv6設定		IPv6を使用してプロジェクターをネットワークに接続するときに設定します。
	IPv6	IPv6を使用してプロジェクターをネットワークに接続するときは、[オン] にします。 Epson Web ControlおよびPJLinkを使ったネットワーク経由の監視・制御はIPv6に対応しています。

設定	選択肢	説明
	自動構成	[オン] の場合、ルーター広告に従い、アドレスを自動で取得します。
	一時アドレスの使用	[オン] に設定すると、一時IPv6アドレスを使用します。

## ネットワーク設定 - 有線LANメニュー

[有線LAN] メニューでは、有線LANの設定ができます。

☛ [ネットワーク] > [ネットワーク設定画面へ] > [有線LAN]



設定	選択肢	説明
IP設定	DHCP IPアドレス サブネットマスク ゲートウェイアドレス	[DHCP] を使用できるネットワークの場合は、[オン] にします。DHCPを使用できないネットワークの場合は、[オフ] にして、プロジェクターの [IPアドレス]、[サブネットマスク]、[ゲートウェイアドレス] を入力します。0~255の数字を入力します。  0.0.0.0、127.x.x.x、192.0.2.x、224.0.0.0~255.255.255.255のアドレスはIPアドレスに使用できません (xは0~255の数值)。255.255.255.255、0.0.0.0~254.255.255.255のアドレスはサブネットマスクに使用できません。0.0.0.0、127.x.x.x、224.0.0.0~255.255.255.255のアドレスはゲートウェイアドレスに使用できません。
IPアドレス表示	オン オフ	LAN待機画面にIPアドレスを表示するかしないかを選択します。
IPv6設定		IPv6を使用してプロジェクターをネットワークに接続するときに設定します。
	IPv6	IPv6を使用してプロジェクターをネットワークに接続するときは、[オン] にします。  Epson Web ControlおよびPJLinkを使ったネットワーク経路の監視・制御はIPv6に対応しています。
	自動構成	[オン] の場合、ルーター広告に従い、アドレスを自動で取得します。
	一時アドレスの使用	[オン] に設定すると、一時IPv6アドレスを使用します。

## ネットワークメニュー - 通知メニュー

[通知] メニューでは、本機が異常/警告状態になったとき、異常状態を電子メールで通知するための設定ができます。

☛ [ネットワーク] > [ネットワーク設定画面へ] > [通知]



設定	選択肢	説明
メール通知機能	オン オフ	[オン] に設定すると、本機が異常/警告状態になったとき、設定した宛先に異常状態を通知するメールを送信します。
SMTPサーバー	IPアドレス	SMTPサーバーのIPアドレスを入力します。0～255の数字を入力します。以下のアドレスは使用できません。127.x.x.x、192.0.2.x、224.0.0.0～255.255.255.255 (xは0～255の数字)。
ポート番号	1～65535 (デフォルトは25)	SMTPサーバーのポート番号を選択します。

設定	選択肢	説明
差出人	32文字以内の半角英数字	送信者のメールアドレスを入力します。
宛先1設定 宛先2設定 宛先3設定	Webブラウザからは64文字以内の半角英数字 ( " ( ) , ; < > [ \ ] スペースは使用不可)	メールアドレスおよびメール通知する異常/警告の種類を選択します。宛先は3つまで設定できます。
SNMP	オン オフ	[オン] に設定すると、SNMPを使用して本機を監視します。本機を監視するには、コンピューターにSNMPマネージャープログラムがインストールされている必要があります。SNMPによる管理は、必ずネットワーク管理者が行ってください。
トラップIPアドレス1 トラップIPアドレス2	IPアドレス	SNMP通知を受信するIPアドレスを入力します。0～255の数字を入力します。以下のアドレスは使用できません。127.x.x.x、224.0.0.0～255.255.255.255 (xは0～255の数字)。
コミュニティー名	32文字以内の半角英数字 (@以外の記号は使用不可)	SNMPコミュニティー名を入力します。
PJLink通知	オン オフ	PJLink通知機能の有効/無効を切り替えます。

設定	選択肢	説明
通知先IPアドレス	IPアドレス	PJLink通知機能が有効なとき、プロジェクターのステータスを通知するコンピューターのIPアドレスを入力します。0～255の数字を入力します。 以下のアドレスは使用できません。 127.x.x.x、224.0.0.0～255.255.255.255 (xは0～255の数字)。

## ネットワークメニュー-その他メニュー

[その他] メニューでは、ネットワークの詳細な設定ができます。

☛ [ネットワーク] > [ネットワーク設定画面へ] > [その他]



設定	選択肢	説明
セキュアHTTP	オン オフ	Web制御でのプロジェクターとコンピューターの通信を暗号化し、セキュリティを強化します。セキュリティの設定をWeb制御で行う場合は、[オン] に設定することをお勧めします。
Webサーバー証明書	—	セキュアHTTP機能のWebサーバー証明書を本機にインポートします。
優先ゲートウェイ	有線LAN 無線LAN	優先ゲートウェイを設定できます。
PJLink	オン オフ	PJLink通知機能を使うときは、[オン] に設定します。
Crestron Connected	オン オフ	[オン] にすると、Crestron Connectedを使用してプロジェクターの監視と制御ができます。  Crestron Connectedを有効にすると、Epson Projector Managementのメッセージ配信機能が無効になります。
Art-Net	Art-Net	[オン] にすると、Art-Netを使用して本機を監視します。
	Net Sub-Net Universe	Net、Sub-Net、Universeを設定します。
	開始チャンネル	Art-Netを処理する開始チャンネルを設定します。

設定	選択肢	説明
メッセージ配信	オン オフ	[オン] に設定すると、Epson Projector Managementで配信したメッセージが受信できます。詳しくは『Epson Projector Management操作ガイド』をご確認ください。  [Crestron Connected] を [オフ] に設定しているときのみ有効です。

▶▶ 関連項目

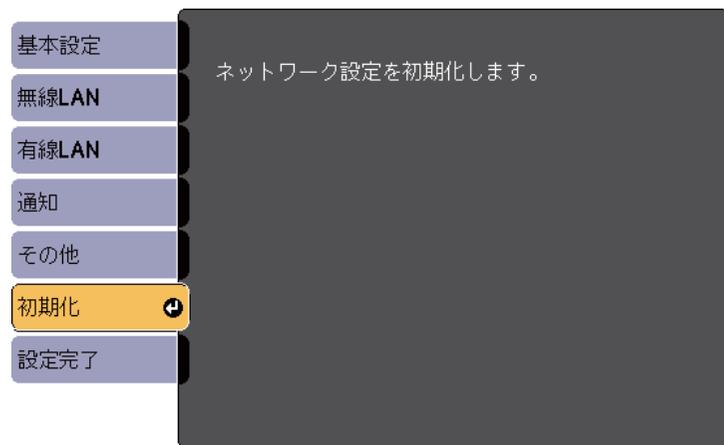
- 「Crestron Connectedについて」 [p.113](#)

設定	選択肢	説明
ネットワーク設定を初期化します。	はい いいえ	[はい] を選択すると、ネットワーク設定をすべて初期化します。  <b>注意</b> 初期化を実行すると [ネットワーク] メニューで設定したすべてのパスワードが初期化され、パスワードの再設定が必要になります。第三者によるパスワードの初期化を防ぐためには、[パスワードプロテクト] で [ネットワーク保護] を [オン] に設定してください。

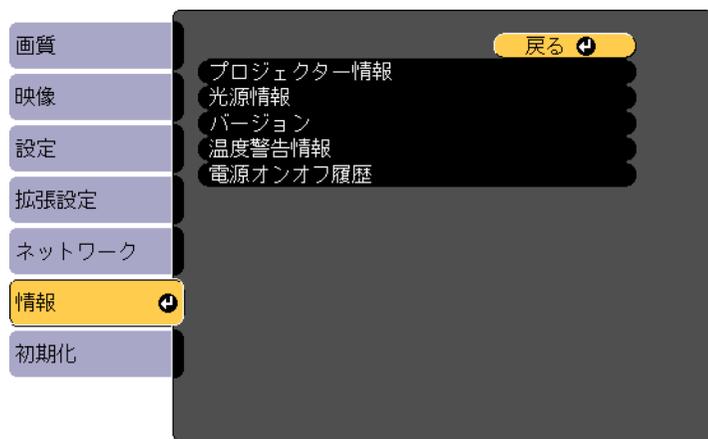
## ネットワークメニュー - 初期化メニュー

[初期化] メニューでは、ネットワーク設定をすべて初期化できます。

- ☛ [ネットワーク] > [ネットワーク設定画面へ] > [初期化]

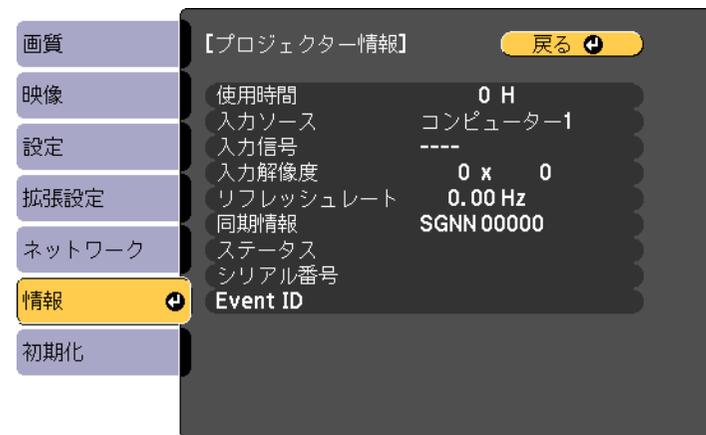


[情報] メニューでは、本機の情報やバージョンを確認できます。このメニューの設定は変更できません。



## 情報メニュー- プロジェクター情報

[情報] メニューの [プロジェクター情報] では、本機の状態や投写している映像信号の情報を確認できます。



情報の項目	説明
プロジェクター情報	プロジェクターの情報を表示します。
光源情報	光源の情報を表示します。
バージョン	ファームウェアバージョンを表示します。
温度警告情報	高温警告を表示します。
電源オンオフ履歴	電源オン/オフの履歴を表示します。

### ▶ 関連項目

- 「情報メニュー- プロジェクター情報」 p.144



現在投写している入力ソースによって設定できる項目が異なります。

情報の項目	説明
使用時間	プロジェクターの電源をオンにしてからの使用時間を表示します。
入力ソース	現在の入力ソースを表示します。
入力信号	現在の入力ソースの入力信号方式を表示します。
入力解像度	現在の入力ソースの解像度を表示します。
リフレッシュレート	現在の入力ソースのリフレッシュレートを表示します。
同期情報	サービス技術者が必要とする情報を表示します。

情報の項目	説明
ステータス	サービス技術者が必要とするプロジェクターの問題に関する情報を表示します。
シリアル番号	本機のシリアル番号を表示します。
Event ID	ネットワーク接続の問題に対応するEvent ID番号を表示します。Event IDコードの一覧を参照してください。

▶▶ 関連項目

- 「Event ID一覧」 [p.145](#)

Event ID一覧

[プロジェクター情報] メニューの [Event ID] に番号が表示されるときは、番号を確認して以下のとおり対処してください。

問題が解決しないときは、ネットワーク管理者にお問い合わせいただくか、お問い合わせ先に記載の連絡先にお問い合わせください。

Event ID	原因と対処法
0432 0435	ネットワークソフトウェアの起動に失敗しました。プロジェクターの電源を一度切ってから、再度電源を入れます。
0433	転送した映像を表示できません。ネットワークソフトウェアを再起動してください。
0434 0481 0482 0485	ネットワークの通信状態が不安定です。ネットワークの通信状態を確認し、しばらくしてから再接続します。

Event ID	原因と対処法
0483 04FE	ネットワークソフトウェアが予期せず終了しました。ネットワークの通信状態を確認してから、プロジェクターの電源を一度切り、再度電源を入れます。
0484	コンピューターから通信が切断されました。ネットワークソフトウェアを再起動してください。
0479 04FF	プロジェクターにシステムエラーが発生しました。プロジェクターの電源を一度切ってから、再度電源を入れます。
0891	同じSSIDのアクセスポイントが見つかりません。プロジェクター、コンピューター、アクセスポイントに同一のSSIDを設定します。
0892	WPA/WPA2/WPA3の認証方式が一致しません。無線ネットワークのセキュリティー設定が正しいことを確認します。
0893	TKIP/AES暗号化方式が一致しません。無線ネットワークのセキュリティー設定が正しいことを確認します。
0894	不正なアクセスポイントに接続したため通信が切断されました。ネットワーク管理者にお問い合わせください。
0895	コンピューターから通信が切断されました。お使いのデバイスの接続を確認してください。
0898	DHCPの取得に失敗しました。DHCPサーバーが正しく動作していることを確認します。DHCPを使用しないときは、本機の [ネットワーク] メニューにある [DHCP] 設定を [オフ] にします。  [ネットワーク] > [ネットワーク設定画面へ] > [無線LAN] > [IP設定] > [DHCP]  [ネットワーク] > [ネットワーク設定画面へ] > [有線LAN] > [IP設定] > [DHCP]
0899	その他、接続に関するエラー

Event ID	原因と対処法
089A	EAP認証方式がネットワークと一致しません。無線LANセキュリティーの設定が正しいか確認してください。また、証明書が適切にインストールされているか確認してください。
089B	EAPのサーバー認証が失敗しました。無線LANセキュリティーの設定が正しいか確認してください。また、証明書が適切にインストールされているか確認してください。
089C	EAPのクライアント認証が失敗しました。無線LANセキュリティーの設定が正しいか確認してください。また、証明書が適切にインストールされているか確認してください。
089D	鍵交換が失敗しました。無線LANセキュリティーの設定が正しいか確認してください。また、証明書が適切にインストールされているか確認してください。
0920	時刻を保持する内部電源の残量が低下しています。お買い上げの販売店またはお問い合わせ先に記載の連絡先にご相談ください。

[初期化] メニューでは、本機の設定を初期化できます。



設定	選択肢	説明
リフレッシュモード		投写映像に残っている残像（焼き付き）を解消します。設定した時間が経過すると、本機の電源をオフにします。 [拡張設定] メニューのリフレッシュモードで、スケジュール設定を設定することもできます。
	時間	投写映像に残っている残像（焼き付き）を軽減する映像を投写し続ける時間を設定します。
	メッセージ表示	[オン] に設定すると、リフレッシュモード実行中であることが画面に表示されます。

設定	選択肢	説明
	開始	リフレッシュモードを開始します。 次の状態では、リフレッシュモードが自動停止してから電源がオフになります。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• メッセージ配信受信時</li> <li>• 異常通知受信時</li> <li>• 位相差板警告（異常）発生時</li> </ul>
光源キャリブレーション		光源キャリブレーションを実行して、投写映像の色合いのバランスを調整します。
	今すぐ実行	すぐに光源キャリブレーションを開始します。ただし、使用環境の温度によっては設定できないことがあります。（プロジェクターの電源を入れた直後は映像が安定しません。光源キャリブレーションは、投写開始から20分以上たってから行ってください。）
	定期的に行う	[オン] に設定すると、使用時間100時間ごとに光源キャリブレーションを実行します。
	スケジュール設定画面へ	スケジュール設定画面へ移動します。
	最終実行日時	光源キャリブレーションを実行した最後の日時を表示します。
全初期化	—	本機の設定を初期化します。

以下の設定は、[全初期化] を実行しても初期値に戻りません。

- ユーザーロゴ
- スタートアップスクリーン\*

- ユニフォーマティイー
- カラーマッチング
- スケジュール設定
- 言語
- 日付&時刻
- ネットワークメニューの項目
- パスワード
- 使用時間
- 光源情報

\* [パスワードプロテクト] 設定画面で、[ユーザーロゴ保護] を [オン] にしているときのみ。

本機で設定したメニューの内容を、以下の方法で他の複数台のプロジェクターにコピーできます（一括設定機能）。一括設定機能は同じ型番のプロジェクター間でのみ使用できます。

- SDカードを使って設定する
- Epson Projector Management を使って設定する



- 台形補正などの投写画面の調整をする前に一括設定機能を実行してください。一括設定機能では、タテヨコ補正などの投写画面の調整値もコピーされます。投写画面の調整後に一括設定を行うと、調整した投写画面が変わってしまうことがあります。
- 一括設定機能を実行すると、ユーザーロゴもコピーされます。複数のプロジェクター間で共有したくない画像は、ユーザーロゴとして設定しないでください。
- 以下の設定をコピーしたくないときは、[一括設定範囲]を[一部]に設定してください。
  - [パスワードプロテクト] 設定
  - [ネットワーク] メニュー（[通知] メニュー、[その他] メニューを除く）
  - ☛ [拡張設定] > [動作設定] > [アドバンスト] > [一括設定範囲]

## ⚠ 注意

一括設定は、お客様の責任において行ってください。停電や通信異常などが原因で一括設定に失敗したときは、有償修理となることがあります。

## ▶ 関連項目

- 「SDカードを使って一括設定する」 p.149

## SDカードを使って一括設定する

SDカードを使用して、同じ型番のプロジェクターにメニュー設定をコピーできます。



- 空のSDカードを使用してください。一括設定ファイル以外のデータが入っていると、設定値が正しく保存できないことがあります。
- SDカード内に他のプロジェクターの一括設定ファイルを保存しているときは、ファイルを削除するかファイル名を変更してください。一括設定機能では、一括設定ファイルの上書きはできません。

- 1** プロジェクターから電源コードを外し、すべてのインジケータが消えていることを確認します。
- 2** 本機のSDカードスロットに空のSDカードを挿入します。
- 3** リモコンの【Esc】ボタンを押したまま、電源コードをプロジェクターに接続します。
- 4** 無線LANインジケータ以外のインジケータがすべて点灯したら、【Esc】ボタンを離します。  
インジケータが点滅になると、一括設定ファイルがSDカードに書き込まれます。書き込みが正常に終了すると、プロジェクターがスタンバイ状態になります。

## ⚠ 注意

ファイルの書き込み中は、プロジェクターから電源コードやSDカードを取り外さないでください。電源コードやSDカードを取り外すと、プロジェクターが正常に起動しなくなることがあります。

**5** SDカードを取り外します。



一括設定ファイルのファイル名はPJCONFDATA.binです。ファイル名を変更するときは、半角英数字のみを使用してPJCONFDATAの後に文字列を追加します。ファイル名のPJCONFDATAの部分を変更すると、ファイルが正しく認識されないことがあります。

**6** コピー先のプロジェクターから電源コードを外し、すべてのインジケータが消えていることを確認します。

**7** 一括設定ファイルが保存されているSDカードを、コピー先のプロジェクターのSDカードスロットに接続します。

**8** リモコンの【Menu】ボタンを押したまま、電源コードをプロジェクターに接続します。

**9** 無線LANインジケータ以外のインジケータがすべて点灯したら、【Menu】ボタンを離します。  
インジケータが点滅に変わると、一括設定の書き込みが始まります。書き込みが正常に終了すると、プロジェクターがスタンバイ状態になります。

**⚠ 注意**

ファイルの書き込み中は、プロジェクターから電源コードやSDカードを取り外さないでください。電源コードやSDカードを取り外すと、プロジェクターが正常に起動しなくなることがあります。

**10** SDカードを取り外します。

▶ 関連項目

- 「一括設定でエラーが発生したときは」 [p.150](#)

一括設定でエラーが発生したときは

一括設定でエラーが発生したときは、インジケータでお知らせします。インジケータの状態をご確認ください。

インジケータの状態	状態と対処方法
<ul style="list-style-type: none"> <li>• レーザー：橙 速点滅</li> <li>• 温度：橙 速点滅</li> </ul>	一括設定ファイルに異常があるか、SDカードが正しく接続されていない可能性があります。 SDカードを取り外し、プロジェクターの電源コードを抜いて差し直してから、もう一度お試しください。
<ul style="list-style-type: none"> <li>• 電源：青 速点滅</li> <li>• ステータス：青 速点滅</li> <li>• レーザー：橙 速点滅</li> <li>• 温度：橙 速点滅</li> </ul>	一括設定ファイルの書き込みに失敗して、プロジェクターのファームウェアに異常が生じた可能性があります。 ご使用をやめ、電源プラグをコンセントから抜き、お買い上げの販売店またはお問い合わせ先に記載の連絡先に修理を依頼してください。

▶ 関連項目

- 「インジケータの見方」 [p.158](#)

# プロジェクターをメンテナンスする

プロジェクターのメンテナンス方法について説明します。

## ▶ 関連項目

- 「プロジェクターのメンテナンス」 [p.152](#)
- 「レンズを清掃する」 [p.153](#)
- 「本機を清掃する」 [p.154](#)
- 「吸気口と排気口を清掃する」 [p.155](#)

プロジェクターのレンズは定期的に掃除する必要があります。また、吸排気口も掃除して、本機の内部温度が上昇しないようにしてください。

交換が必要な部品は、リモコンの電池のみです。他の部品を交換する必要があるときは、お買い上げの販売店またはお問い合わせ先に記載の連絡先にご相談ください。

### 警告

掃除をするときは、本機の電源をオフにして電源コードを抜いてから行ってください。また、取扱説明書で指示している場合を除き、本機のケースを開けないでください。内部には電圧の高い部分が数多くあり、火災・感電・事故の原因となります。

プロジェクターのレンズは定期的に掃除し、表面に付着したホコリや汚れに気付いたときにも掃除してください。

- レンズのホコリや汚れは、市販のメガネ拭きなどで軽くふき取ってください。
- 汚れがひどいときは、柔らかい布をレンズクリーナーで湿らせ、レンズを軽くふき取ります。レンズに液体を直接スプレーしないでください。

## 警告

レンズに付着したゴミ・ホコリの除去に可燃性ガスのスプレーを使用しないでください。本機の内部は高温になっているため、引火による火災の原因となります。

## 注意

レンズの表面は傷つきやすいので、かたいものでこすったり、たたいたりしないでください。エアダスターを使用しないでください。可燃性の物質が残留するおそれがあります。

本機の掃除をするときは、本機の電源をオフにして電源コードを抜いてください。

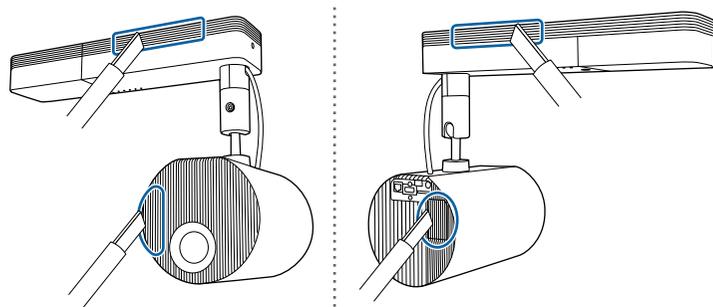
- 本機のコリや汚れは柔らかい布で軽くふき取ってください。
- 汚れがひどいときは、水で薄めた中性洗剤に布をひたしてかたくしぼり、軽くふき取ってから乾いた布で仕上げてください。本機に液体を直接スプレーしないでください。

### 注意

ワックス、ベンジン、シンナーなど揮発性のものは使わないでください。本機のケースが変質、変色することがあります。エアダスターを使用しないでください。可燃性の物質が残留するおそれがあります。

- 電源部側面の溝に入ったホコリは掃除機で吸い取ってください。

掃除機で吸気口および排気口のホコリを表側から吸い取ります。電源部側面の溝に入ったホコリも吸い取ってください。



# 困ったときに

想定されるトラブルと、その対処方法について説明します。

## ▶ 関連項目

- 「トラブルの対処方法」 [p.157](#)
- 「インジケータの見方」 [p.158](#)
- 「映像や音声に関するトラブル」 [p.160](#)
- 「プロジェクター、リモコンの操作に関するトラブル」 [p.165](#)
- 「ネットワークに関するトラブル」 [p.167](#)
- 「プレイリストが再生されない」 [p.169](#)
- 「外部センサー機器が動かない」 [p.170](#)

プロジェクターが正しく動作しないときは、一度電源を切り、電源コードを差し直してから再度電源を入れます。

問題が解決しないときは、以下を確認します。

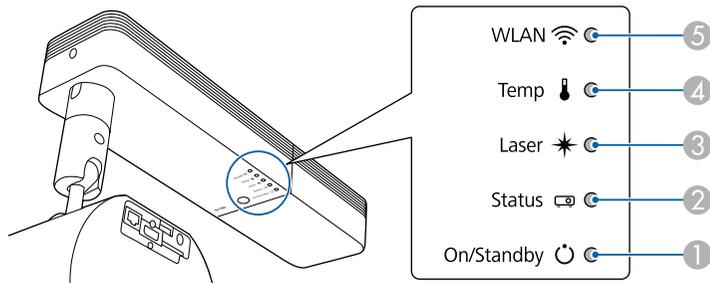
- インジケーターで本機の状態を確認する。
- 本書のトラブル一覧で対処方法を確認する。

問題が解決しないときは、お買い上げの販売店またはお問い合わせ先に記載の連絡先にご相談ください。

インジケータは、本機の状態をお知らせします。インジケータの色と状態を確認し、以下の表から対処方法を確認してください。



- 各インジケータがこの表にない状態のときは、ご使用をやめ、電源プラグをコンセントから抜き、お買い上げの販売店またはお問い合わせ先に記載の連絡先にご相談ください。
- [拡張設定] メニューの [インジケータ表示] が [オフ] に設定されている場合は、正常な投写中にインジケータがすべて消灯しています。  
 ☛ [拡張設定] > [動作設定] > [インジケータ表示]



- ① 電源インジケータ
- ② ステータスインジケータ
- ③ レーザーインジケータ
- ④ 温度インジケータ
- ⑤ 無線LANインジケータ

## プロジェクターの状態

インジケータの状態	状態と対処方法
電源：青点灯 ステータス：青点灯 レーザー：消灯 温度：消灯	投写中の状態です。
電源：青点灯 ステータス：青点減 レーザー：消灯 温度：消灯	ウォームアップ中、シャットダウン中、またはクールダウン中です。 ウォームアップ中の場合は、約30秒経つと映像が表示されます。 ウォームアップ中、シャットダウン中、またはクールダウン中は、すべてのボタン操作が無効になります。
電源：青点灯 ステータス：消灯 レーザー：消灯 温度：消灯	スタンバイ状態またはネットワーク監視状態です。 電源ボタンを押すと、投写を開始します。
電源：青点減 ステータス：消灯 レーザー：消灯 温度：消灯	ネットワーク監視の準備状態のため、すべての操作が無効になります。
電源：状態依存 ステータス：青点減 レーザー：橙点減 温度：状態依存	リフレッシュモード動作中です。 ☛ [初期化] > [リフレッシュモード]

インジケータの状態	状態と対処方法
電源：青点滅 ステータス：状態依存 レーザー：状態依存 温度：橙点滅	内部温度が高くなっています。 <ul style="list-style-type: none"> <li>吸気口・排気口・電源部側面の溝がふさがれていないか、壁際に設置されていないか確認します。</li> <li>吸気口・排気口・電源部側面の溝にホコリが付着している場合は、電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてから、掃除します。</li> <li>高温にならない環境で使用するようにします。</li> </ul>
電源：消灯 ステータス：青点滅 レーザー：消灯 温度：橙点灯	内部高温異常（オーバーヒート）状態です。自動的に消灯し、投写できなくなります。電源を切った状態で5分間待ち、温度を下げます。 <ul style="list-style-type: none"> <li>吸気口・排気口・電源部側面の溝がふさがれていないか、壁際に設置されていないか確認します。</li> <li>吸気口・排気口・電源部側面の溝にホコリが付着している場合は、電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてから、掃除します。</li> <li>標高1,500m以上の場所でお使いのときは、[高地モード]を[オン]に設定します。   [拡張設定] &gt; [動作設定] &gt; [高地モード]</li> <li>問題が解決しないときは、電源プラグをコンセントから抜き、お買い上げの販売店またはお問い合わせ先に記載の連絡先にご相談ください。</li> </ul>
電源：青点滅 ステータス：状態依存 レーザー：橙点滅 温度：状態依存	レーザー警告です。 ご使用をやめ、電源プラグをコンセントから抜き、お買い上げの販売店またはお問い合わせ先に記載の連絡先にご相談ください。

インジケータの状態	状態と対処方法
電源：消灯 ステータス：青点滅 レーザー：橙点灯 温度：消灯	レーザー異常または位相差板異常です。 ご使用をやめ、電源プラグをコンセントから抜き、お買い上げの販売店またはお問い合わせ先に記載の連絡先にご相談ください。
電源：消灯 ステータス：青点滅 レーザー：消灯 温度：橙点滅	ファン異常またはセンサー異常状態です。 ご使用をやめ、電源プラグをコンセントから抜き、お買い上げの販売店またはお問い合わせ先に記載の連絡先にご相談ください。
電源：消灯 ステータス：青点滅 レーザー：橙点滅 温度：消灯	内部異常状態です。 ご使用をやめ、電源プラグをコンセントから抜き、お買い上げの販売店またはお問い合わせ先に記載の連絡先にご相談ください。

## 無線LANの状態

無線LANインジケータの状態	状態と対処方法
青点灯	無線LANを使用できます。
速い青点滅	機器に接続中です。
遅い青点滅	異常状態です。本機の電源を切り、再度電源を入れます。
消灯	無線LANを使用できません。無線LANの設定が正しいことを確認してください。

## ▶▶ 関連項目

- 「吸気口と排気口を清掃する」 [p.155](#)

投写映像や音声に関するトラブルの対処方法を確認してください。

## ▶ 関連項目

- 「映像が表示されない」 [p.160](#)
- 「映像信号が入力されていません」というメッセージが表示される」 [p.160](#)
- 「この信号は本プロジェクターでは受けられません」というメッセージが表示される」 [p.161](#)
- 「映像の一部が表示されない」 [p.161](#)
- 「映像がゆがむ」 [p.162](#)
- 「映像にノイズが入る、乱れる」 [p.162](#)
- 「映像がぼやける」 [p.163](#)
- 「映像の明るさや色合いが違う」 [p.163](#)
- 「映像に残像が残る（焼き付き）」 [p.163](#)
- 「音が出ない、小さい」 [p.164](#)

## 映像が表示されない

映像が表示されないときは、次の対処方法を確認してください。

- リモコンの【A/V Mute】ボタンを押して、映像が一時的に消されていないか確認します。
- 必要なケーブルがすべて接続されていること、本機の電源が入っていること、接続された映像機器の電源が入っていることを確認します。
- スタンバイ状態から復帰するには、本機の電源ボタンを押します。また、接続されたコンピューターがスリープ状態でないか、黒一色のスクリーンセーバーが表示されていないか確認します。
- プロジェクターのどのボタンを押しても解除できない場合は、本機が故障している可能性があります。お買い上げの販売店またはお問い合わせ先に記載の連絡先にご相談ください。
- [画質] メニューの [明るさ] を調整します。
- 光源の明るさを設定します。

☛ [設定] > [明るさ設定]

- [拡張設定] メニューの [表示設定] で、[メッセージ表示] を [オン] に設定します。
- 著作権保護された動画をコンピューターで再生すると、プロジェクターから投写されないことがあります。詳しくは、コンピューターの取扱説明書をご覧ください。
- Windows Media Centerで映像を投写するときは、全画面表示を使用せず、縮小画面表示にしてください。
- Windows DirectXを使用するアプリケーションは、正しく表示されないことがあります。

## ▶ 関連項目

- 「映像メニュー」 [p.127](#)
- 「画質メニュー」 [p.125](#)
- 「設定メニュー」 [p.128](#)
- 「拡張設定メニュー」 [p.130](#)

## 「映像信号が入力されていません」というメッセージが表示される

「映像信号が入力されていません」というメッセージが表示されるときは、次の対処方法を確認してください。

- 投写したい入力ソースに応じて、リモコンの【HDMI】、【LAN】、または【SD 】ボタンを押して映像を切り替えます。
- 接続された映像機器の電源を入れ、必要な場合はプレゼンテーションや動画の再生を開始します。
- 投写に必要なケーブルがすべて接続されているか確認します。
- ノートパソコンから投写するときは、コンピューターの画面出力を切り替えて、プロジェクターに映像を表示します。

- 必要に応じて、本機および接続された映像機器の電源を一度切ってから、再度電源を入れます。
- HDMIケーブルで接続しているときは、より短いケーブルに交換して試してください。

## ▶ 関連項目

- 「Windowsのノートパソコンから映像を出力する」 [p.161](#)
- 「Macのノートパソコンから映像を出力する」 [p.161](#)

## Windowsのノートパソコンから映像を出力する

ノートパソコンからの投写時に「映像信号が入力されていません」というメッセージが表示される場合は、コンピューターの画面出力を切り替えて、プロジェクターに映像を表示します。

- 1** キーボードのWindowsキーを押しながら**P**キーを押し、[複製]を選択します。
- 2** ノートパソコンとプロジェクターで同じ映像が表示されないときは、Windowsの [ディスプレイ] ユーティリティで、外部モニター端子が有効であるか、拡張ディスプレイが無効になっているかを確認します。
- 3** 必要に応じて、ビデオカードの設定を確認し、マルチディスプレイオプションを [ミラー] または [複製] に設定します。

## Macのノートパソコンから映像を出力する

Macのノートパソコンからの投写時に、「映像信号が入力されていません」というメッセージが表示される場合は、コンピューターの設定でデ

ィスプレイをミラーリングします。（詳しくはお使いのコンピューターの取扱説明書をご覧ください。）

- 1** [システム環境設定] を開き、[ディスプレイ] を選択します。
- 2** 必要に応じて、[ディスプレイ] または [カラーLCD] を設定します。
- 3** [調整] または [アレンジメント] をクリックします。
- 4** [ディスプレイをミラーリング] を選択します。

## 「この信号は本プロジェクターでは受けられません」というメッセージが表示される

「この信号は本プロジェクターでは受けられません」というメッセージが表示される場合は、次の対処方法を確認してください。

- [映像] メニューで正しい入力信号方式が選択されているか確認します。
- コンピューターのディスプレイ解像度が本機の対応解像度、周波数と合っているか確認します。必要に応じて、コンピューターのディスプレイ解像度を変更します。

## ▶ 関連項目

- 「映像メニュー」 [p.127](#)
- 「対応解像度」 [p.175](#)

## 映像の一部が表示されない

映像が部分的にしか表示されないときは、次の対処方法を確認してください。

- [映像] メニューの [表示倍率] がオフになっていることを確認します。
- [映像] メニューの [アスペクト] で、入力信号に合ったアスペクトモードを選択してください。
- リモコンの【Zoom】ボタンを押して映像のサイズを調整します。また、デジタルピクチャーシフト画面で映像の表示位置を調整します。
- コンピューターのディスプレイ設定でデュアルディスプレイが無効になっているか、本機の対応解像度に合った設定がされているか確認します。
- プレゼンテーションファイルが本機の対応解像度を超えていないか確認します。
- 正しい設置モードを選択していることを確認します。 [拡張設定] メニューの [設置モード] で選択できます。
- プレイリストを再生しているときは、 [エフェクト] 機能の設定を確認してください。

☛ [設定] > [コンテンツ再生] > [エフェクト]

#### ▶▶ 関連項目

- 「映像メニュー」 [p.127](#)
- 「拡張設定メニュー」 [p.130](#)
- 「対応解像度」 [p.175](#)
- 「映像に効果を加える (エフェクト機能)」 [p.65](#)

## 映像がゆがむ

投写画面がゆがむときは、次の対処方法を確認してください。

- 投写面に対してプロジェクターを平行に設置します。
- リモコンの【Keystone】ボタンを押して、映像のゆがみを補正します。
- Quick Cornerを使って、コーナーの形状を個別に補正します。

☛ [設定] > [台形補正] > [Quick Corner]

#### ▶▶ 関連項目

- 「台形補正ボタンで映像のゆがみを補正する」 [p.44](#)
- 「Quick Corner機能で映像のゆがみを補正する」 [p.45](#)

## 映像にノイズが入る、乱れる

投写映像に電子的な干渉 (ノイズ) や妨害が入るときは、次の対処方法を確認してください。

- 本機と映像機器を接続しているケーブルの状態を確認します。ケーブルが以下の状態であることを確認してください。
  - 干渉を受けないように、電源コードから離れている
  - ケーブルの両端が確実に接続されている
  - 延長ケーブルを使用していない
- [映像] メニューの設定が、接続している機器に合っているか確認します。
- コンピューターのディスプレイ解像度やリフレッシュレートが本機の対応解像度、リフレッシュレートと合っているか確認します。
- 映像のゆがみを補正したときは、 [画質] メニューで [シャープネス] を低い値に設定し、投写映像の画質を向上させます。
- 延長ケーブルを使用して電源に接続しているときは、延長ケーブルを使わずに投写して、映像にノイズが入らないか確認します。

#### ▶▶ 関連項目

- 「映像メニュー」 [p.127](#)
- 「画質メニュー」 [p.125](#)
- 「対応解像度」 [p.175](#)

## 映像がぼやける

投写映像がぼやけるときは、次の対処方法を確認してください。

- 映像のピントを合わせます。
- 投写距離の推奨範囲内に設置します。
- 映像の高さ調整のために本機の傾斜角度を大きくすると映像がゆがみます。傾斜角度を小さくして台形補正の調整値を小さくします。
- 本機のレンズを掃除します。



寒い場所から暖かい場所に持ち込んだときは、レンズの表面が結露して映像がぼやけることがあります。お使いになる1時間くらい前に、通電しない状態で本機を設置するようにします。

- [画質]メニューで[シャープネス]を調整して、投写映像の画質を上げます。
- コンピューターから映像を投写しているときは、解像度を下げるか、本機の解像度に合わせて解像度を変更します。

### ▶▶ 関連項目

- 「映像メニュー」 [p.127](#)
- 「画質メニュー」 [p.125](#)
- 「対応解像度」 [p.175](#)
- 「ピントを調整する」 [p.49](#)
- 「レンズを清掃する」 [p.153](#)

## 映像の明るさや色合いが違う

投写映像が暗すぎたり明るすぎるとき、また色合いが正しく表示されないときは、次の対処方法を確認してください。

- お使いのビデオ機器の設定を確認します。

- [画質]メニューで[カラーモード]、[明るさ]、[コントラスト]、[色合い]、[色の濃さ]などを設定します。
- [映像]メニューで[ビデオレンジ]を正しく設定します。  
▶▶ [映像] > [アドバンスト] > [ビデオレンジ]
- 必要なケーブルが本機とビデオ機器に確実に接続されていることを確認します。ケーブルが長いときは、短いケーブルで接続します。
- [明るさ設定]が正しく設定されているか確認します。  
▶▶ [設定] > [明るさ設定]
- 投写距離の推奨範囲内に設置します。
- 本機を複数台並べて投写しているときは、[初期化]メニューの[光源キャリブレーション]が、すべてのプロジェクターで正しく設定されているか確認します。一部のプロジェクターでのみ光源キャリブレーションが実行されると、ホワイトバランスや明るさレベルのずれが生じることがあります。

### ▶▶ 関連項目

- 「映像を最適化する(カラーモード)」 [p.53](#)
- 「映像メニュー」 [p.127](#)
- 「画質メニュー」 [p.125](#)
- 「設定メニュー」 [p.128](#)
- 「初期化メニュー」 [p.147](#)

## 映像に残像が残る(焼き付き)

投写映像に残像(焼き付き)が残るときは、[リフレッシュモード]を使って軽減します。[初期化]メニューの[リフレッシュモード]で[開始]を選択します。

### ▶▶ 関連項目

- 「初期化メニュー」 [p.147](#)

## 音が出ない、小さい

音が出ない、小さすぎるなどの問題があるときは、次の対処方法を確認してください。

- 本機の音量設定を調整します。
- 一時的に映像と音を消した場合は、リモコンの【A/V Mute】ボタンを押して、映像と音を再開します。
- コンピューター、ビデオ機器の音量が大きくなっているか、音声出力が正しく設定されているか確認します。
- プロジェクターとビデオ機器のケーブルが正しく接続されているか確認します。
- 接続するオーディオケーブルは「抵抗なし」と表記されているものを使用します。
- HDMIケーブルで接続している機器の音が出ないときは、接続機器の音声出力をPCMに設定します。
- MacとプロジェクターをHDMIケーブルで接続していて音が出ないときは、MacがHDMI端子からの音声出力に対応しているか確認します。
- コンピューターの音量を最小、プロジェクターの音量を最大に設定していると、ノイズが入ることがあります。コンピューターの音量を上げて、プロジェクターの音量を下げてください。(Epson iProjection (Windows/Mac) を使用する場合)

### ▶▶ 関連項目

- 「プロジェクターを接続する」 [p.25](#)
- 「拡張設定メニュー」 [p.130](#)
- 「音量ボタンで音量を調整する」 [p.58](#)

プロジェクター、リモコンの操作に関するトラブルの対処方法を確認してください。

## ▶ 関連項目

- 「電源が入らない、予期せず切れる」 p.165
- 「リモコンで操作できない」 p.165
- 「パスワードが入力できない」 p.166
- 「時刻を保持する電池残量が低下しています」というメッセージが表示される」 p.166

## 電源が入らない、予期せず切れる

電源ボタンを押しても本機の電源が入らない、予期せず電源が切れるときは、次の対処方法を確認してください。

- 電源コードが本機とコンセントに確実に接続されていることを確認します。
- リモコンの電源ボタンを押しても本機の電源が入らないときは、リモコンの電池を確認します。また、[設定]メニューで[リモコン受光部]がオンになっていることを確認します。
- 本機の光源が消え、ステータスインジケータが点滅して温度インジケータが点灯しているときは、本機の内部高温異常（オーバーヒート）で電源がオフになっています。
- プロジェクターの設定によって、スタンバイ状態でもファンが回転することがあります。また、スタンバイ状態から電源をオンにしたときに、ファンが大きな音を立てて回転することがありますが、異常ではありません。
- 電源コードが故障している可能性があります。電源コードを抜いて、お買い上げの販売店またはお問い合わせ先に記載の連絡先にご相談ください。

## ▶ 関連項目

- 「インジケータの見方」 p.158
- 「設定メニュー」 p.128

## リモコンで操作できない

本機がリモコン操作に反応しないときは、次の対処方法を確認してください。

- リモコンの電池が正しくセットされていること、電池が切れていないことを確認します。必要に応じて、電池を交換します。
- リモコン信号が届く距離、角度からリモコンを操作します。
- 本機がウォームアップ中またはシャットダウン中でないか確認します。
- リモコンのボタンが押し込まれた状態になっていないか確認します。その状態ではリモコンが操作できないことがあります。ボタンを元の状態に戻してください。
- 蛍光灯の強い光、直射日光、赤外線機器の信号が、本機のリモコン受光部に干渉することがあります。照明の明るさを落とす、または直射日光や赤外線干渉を避けられる場所に本機を移動してください。
- [設定]メニューの[リモコン受光部]がオンになっていることを確認します。
- [リモコン受光部]がオフに設定されているときは、リモコンの【Menu】ボタンを15秒以上押したままにして、この設定を初期値に戻します。
- プロジェクターIDを設定しているときは、プロジェクターIDと同じ番号をリモコンで選択してリモコン操作を有効にします。
- リモコンを紛失した場合は、新たにリモコンをお買い求めいただけます。

## ▶ 関連項目

- 「リモコンを操作する」 [p.33](#)
- 「設定メニュー」 [p.128](#)
- 「操作対象のプロジェクターIDをリモコンで選択する」 [p.70](#)
- 「リモコンに電池を取り付ける」 [p.32](#)

## パスワードが入力できない

パスワードを入力できない、または忘れたときは、次の対処方法を確認してください。

- 誤ったパスワードを何度も入力すると、問い合わせコードを示すメッセージが表示されます。そのコードをメモして、お買い上げの販売店またはお問い合わせ先に記載の連絡先にご相談ください。パスワードに関してお問い合わせをいただいた際は、お客様のお名前や連絡先をお聞きし、ご本人であることを確認させていただきます。
- リモコンを紛失したときはパスワードを入力できません。新たにリモコンをお買い求めください。

### 注意

[ネットワーク設定を初期化します。] を実行すると、[ネットワーク] メニューで設定したすべてのパスワードが初期化され、パスワードの再設定が必要になります。第三者によるパスワードの初期化を防ぐためには、[パスワードプロテクト] で [ネットワーク保護] を [オン] に設定してください。

## 「時刻を保持する電池残量が低下しています」というメッセージが表示される

「時刻を保持する電池残量が低下しています」というメッセージが表示される場合は、お買い上げの販売店またはお問い合わせ先に記載の連絡先にご相談ください。

ネットワーク経由でプロジェクターを使用するときに想定されるトラブルの対処方法を確認してください。

## ▶▶ 関連項目

- 「無線LAN認証できない」 [p.167](#)
- 「Webブラウザを使って設定を変更できない」 [p.167](#)
- 「異常が起きたときにメール通知されない」 [p.167](#)
- 「ネットワーク経由で投写した映像が乱れる」 [p.168](#)

## 無線LAN認証できない

無線LANの認証に失敗するときは、次の対処方法を確認してください。

- 無線LANが正しく設定されていても認証できないときは、[日付&時刻]を設定し直してください。
  - ☛ [拡張設定] > [動作設定] > [日付&時刻]
- [ネットワーク]メニューで[セキュリティー]の設定を確認します。
  - ☛ [ネットワーク] > [ネットワーク設定画面へ] > [無線LAN]
- アクセスポイントのセキュリティーがWPA3-EAPに設定されているときは、WPA2/WPA3-EAPに設定します。

## ▶▶ 関連項目

- 「拡張設定メニュー」 [p.130](#)
- 「ネットワーク設定 - 無線LANメニュー」 [p.136](#)

## Webブラウザを使って設定を変更できない

Webブラウザを使って本機の設定を変更できないときは、正しいユーザー名とパスワードを確認します。

- ユーザー名には **EPSONWEB**と入力します。(ユーザー名は変更できません。)

- パスワードには、[ネットワーク]メニューで設定しているパスワードを入力します。デフォルトのパスワードは設定されていません。
- プロジェクターが接続しているネットワークへのアクセス権を持っていることを確認します。
- お使いのWebブラウザで、プロキシサーバーを使用して接続するように設定されていると、[Epson Web Control]画面を表示できません。プロキシサーバーを使用しないで接続するように設定してください。
- プロジェクターの[待機モード]が[通信オン]のスタンバイ状態のとき、接続しているネットワーク機器の電源が入っていることを確認します。ネットワーク機器の電源を入れた後、プロジェクターを再起動してください。
  - ☛ [拡張設定] > [待機モード] > [待機モード]
- 有線LANで接続するか、[接続モード]を[マニュアルモード]に設定して無線LANで接続します。
  - ☛ [ネットワーク] > [ネットワーク設定画面へ] > [無線LAN] > [接続モード]



ユーザー名、パスワードの大文字小文字は区別されます。

## ▶▶ 関連項目

- 「ネットワークメニュー - 基本設定メニュー」 [p.135](#)

## 異常が起きたときにメール通知されない

プロジェクターの異常/警告を通知するメールが受け取れないときは、次の対処方法を確認してください。

- 本機の電源が入っているか、ネットワークに正しく接続されているか確認します。本機に致命的な異常が発生し、瞬時に起動停止状態になったときは、メールが送信できないことがあります。
- [ネットワーク] メニューの [通知] またはネットワークソフトウェアでメール通知機能を正しく設定していることを確認します。
- 本機がスタンバイ状態のときもプロジェクターを監視できるように、[待機モード] を [通信オン] に設定します。
  - ☛ [拡張設定] > [待機モード] > [待機モード]
- 有線LANで接続するか、[接続モード] を [マニュアルモード] に設定して無線LANで接続します。
  - ☛ [ネットワーク] > [ネットワーク設定画面へ] > [無線LAN] > [接続モード]
- お使いのネットワーク環境に応じて、[通信ポート] の設定を変更します。
  - ☛ [拡張設定] > [待機モード] > [通信ポート]
- Bluetoothを使用する機器や電子レンジなどからの干渉がないか確認してください。干渉の可能性のある機器を遠ざけるか、無線帯域を確保します。
- 映像の表示が遅いときは、接続している機器の数を減らしてください。

## ▶ 関連項目

- 「ネットワークメニュー - 通知メニュー」 [p.141](#)
- 「拡張設定メニュー」 [p.130](#)

---

## ネットワーク経由で投写した映像が乱れる

ネットワーク経由で投写した映像が乱れるときは、次の対処方法を確認してください。

- アクセスポイントとコンピューターやモバイルデバイス、プロジェクターの間に障害物がないかを確認し、電波状況がよくなるようにそれらの位置を変更します。
- アクセスポイントとコンピューターやモバイルデバイス、プロジェクターが離れすぎていないか確認します。離れすぎているときは、近づけて接続します。

プレイリストを再生できないときは、次の対処法を確認してください。

- プレイリストがSDカードに保存されていることを確認します。
- SDカードが直接本機に挿入されていることを確認します。
- お使いのSDカードに複数のパーティションが作成されていると、プレイリストが正しく再生されないことがあります。パーティションをひとつにしてからプレイリストを保存してください。
- SDカードへの書き込みがロックされているときは、書き込み禁止スイッチを解除してください。
- 解像度の異なるプロジェクターで同じプレイリストを再生しないでください。[エフェクト]機能を使って追加された色や形の装飾が正しく再生されないことがあります。

☛ [設定] > [コンテンツ再生] > [エフェクト]

## ▶ 関連項目

- 「プレイリストを再生する」 [p.61](#)
- 「設定メニュー」 [p.128](#)

本機に接続した外部センサー機器が正常に動かないときは、次の対処方法を確認してください。

- [拡張設定] メニューの [DC Out (2.0A)/GPI In設定] を確認します。
- 外部センサー機器との接続および電気信号が正しいことを確認してください。詳しくは『EV-115/EV-110 外部センサーセットアップガイド』をご覧ください。
- 外部センサー機器を接続しているケーブルやリード線に、傷みやキズ等の異常がないことを確認してください。
- 外部センサー機器に付属の取扱説明書で指示されたとおりに正しく機器を使用しているか確認します。

# 付録

本機の仕様や使用上の注意事項については、以下の項目をご確認ください。

## ▶ 関連項目

- 「オプション・消耗品一覧」 [p.172](#)
- 「スクリーンサイズと投写距離」 [p.173](#)
- 「対応解像度」 [p.175](#)
- 「本機仕様」 [p.176](#)
- 「外形寸法図」 [p.178](#)
- 「Epson Projector Content Managerの対応機能」 [p.179](#)
- 「安全規格対応シンボルマークと説明」 [p.180](#)
- 「レーザー製品を安全にお使いいただくために」 [p.182](#)
- 「用語解説」 [p.184](#)
- 「一般のご注意」 [p.186](#)

下記のオプション・消耗品を用意しています。用途に合わせてお買い求めください。

これらのオプション品は2020年9月現在のものです。

予告なく変更することがありますので、ご了承ください。

## ▶ 関連項目

- 「配線ダクト取付金具」 [p.172](#)
- 「床置き金具」 [p.172](#)
- 「外付けオプション」 [p.172](#)

---

## 配線ダクト取付金具

配線ダクト取付金具（白） **ELPMB66W**

配線ダクト取付金具（黒） **ELPMB66B**

配線ダクトに取り付けるときに使用します。



天吊り設置には特別な技術が必要です。詳細はお買い上げの販売店またはお問い合わせ先に記載の連絡先にご相談ください。

---

## 床置き金具

床置き金具（白） **ELPMB55W**

床置き金具（黒） **ELPMB55B**

本機を床に置いて使用するときに使います。

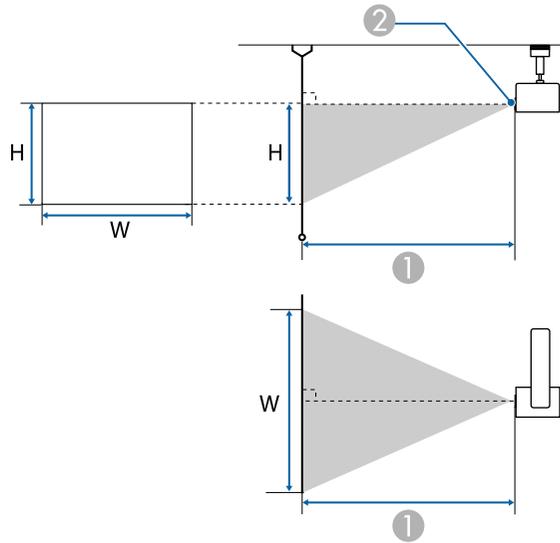
---

## 外付けオプション

Android TV™ 端末 **ELPAP12**

オンラインコンテンツを視聴するときに使います。

この表に従って、スクリーンからプロジェクターまでの距離を、投写映像の大きさに応じて決めます。



- ① 投写距離 (cm)
- ② レンズの中心

16:10スクリーンサイズ		①
		最短 (ワイド) ~ 最長 (テレ)
100型	215 × 135	300 - 476
120型	258 × 162	360 - 572
130型	280 × 175	391 - 620
150型	323 × 202	451 - 716

4:3スクリーンサイズ		①
		最短 (ワイド) ~ 最長 (テレ)
26型	53 × 40	86 - 138
30型	61 × 46	100 - 160
40型	81 × 61	134 - 214
50型	102 × 76	169 - 268
60型	122 × 91	203 - 323
80型	163 × 122	271 - 431
100型	203 × 152	340 - 540
120型	244 × 183	408 - 648
130型	264 × 198	443 - 702

16:10スクリーンサイズ		①
		最短 (ワイド) ~ 最長 (テレ)
29型	62 × 39	85 - 136
30型	65 × 40	88 - 141
40型	86 × 54	118 - 189
50型	108 × 67	149 - 237
60型	129 × 81	179 - 285
80型	172 × 108	239 - 381

16:9スクリーンサイズ		①
		最短 (ワイド) ~ 最長 (テレ)
29型	64 × 36	87 - 140
30型	66 × 37	91 - 145
40型	89 × 50	122 - 194
50型	111 × 62	153 - 243
60型	133 × 75	184 - 293
80型	177 × 100	246 - 391
100型	221 × 125	308 - 490
120型	266 × 149	371 - 588
145"	321 × 181	448 - 711

映像信号ごとのリフレッシュレートと解像度を示します。対応信号については『仕様書』をご覧ください。

以下のWebサイトからダウンロードしてください。

[epson.jp/download](http://epson.jp/download)

信号	リフレッシュレート (Hz)	解像度 (ドット)
VGA	60	640 × 480
SVGA	60	800 × 600
XGA	60	1024 × 768
WXGA	60	1280 × 800
	60	1366 × 768
WXGA+	60	1440 × 900
WXGA++	60	1600 × 900
SXGA	60	1280 × 960
	60	1280 × 1024
SXGA+	60	1400 × 1050
WSXGA+	60	1680 × 1050
UXGA	60	1600 × 1200
1920×1080	50/60	1920 × 1080
WUXGA (Reduced Blanking) *	60	1920 × 1200
SDTV (480i/480p)	59.94	720 × 480
SDTV (576i/576p)	50	720 × 576
HDTV (720p)	50/59.94/60	1280 × 720

信号	リフレッシュレート (Hz)	解像度 (ドット)
HDTV (1080i)	50/59.94/60	1920 × 1080
HDTV (1080p)	23.98/24/29.97/30/50/59.94/60	1920 × 1080

\* VESA CVT-RB (Reduced Blanking) 準拠

上記以外の信号が入力された場合でも、映像を投写できることがあります。ただし、機能が制限されることがあります。

商品名	EV-115/EV-110
外形サイズ	映像投写部：直径175×奥行き260 mm（突起部を含まず） 電源部：幅361×高さ65×奥行き110 mm（電源アダプターカバーを含まず） 電源部：幅459×高さ65×奥行き110 mm（電源アダプターカバーを含む）
液晶パネルサイズ	0.59型
表示方式	ポリシリコンTFT アクティブマトリクス
解像度	1,024,000ドット WXGA（横1,280×縦800ドット）×3
フォーカス調整	電動
ズーム調整	電動（1-2.21） （光学1-1.58、デジタル1-1.4）
光源	レーザーダイオード
光源出力	最大44 W
波長	449 - 461nm
光源寿命*	光源モードがノーマルまたは静音の場合：約20,000時間 光源モードがロングの場合：約30,000時間
電源	100-240V AC±10% 50/60Hz 1.6 - 0.8 A
定格消費電力（100-120V エリア）	光源モードがノーマルまたはカスタムの場合：150 W 光源モードが静音またはロングの場合：111 W

定格消費電力（220-240V エリア）	光源モードがノーマルまたはカスタムの場合：149 W 光源モードが静音またはロングの場合：112 W
待機時消費電力	通信オン：2.0 W 通信オフ：0.4 W
動作高度	標高 0～3,048 m
動作温度範囲 **	標高 0～2,286 m：+5～+40°C（湿度20～80%、結露しないこと） 標高 2,287～3,048 m：+5～+35°C（湿度20～80%、結露しないこと）
保存温度範囲	-10～+60°C（湿度10～90%、結露しないこと）
質量	約6.9kg（本体約5.0kg/直付け金具約1.9kg）

\* 光源の明るさが半減するまでの目安時間です。（大気中に含まれる粒子物質が0.04～0.2mg/m<sup>3</sup>の環境下での使用を想定しています。使用条件や使用環境によって目安時間は変動します。）

\*\* 使用する環境の温度が高くなったときは、光源の明るさを自動的に落とします。（標高0～2,286mでは約35°C、標高2,287～3,048mでは約30°Cを目安としますが、使用環境等によって異なります。）

定格ラベルは本機の底面に貼り付けられています。

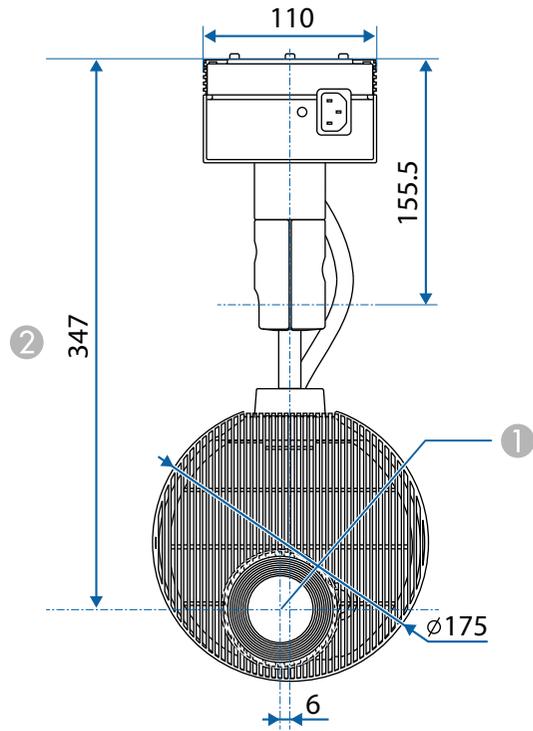
## ▶▶ 関連項目

- 「接続端子」 p.176

## 接続端子

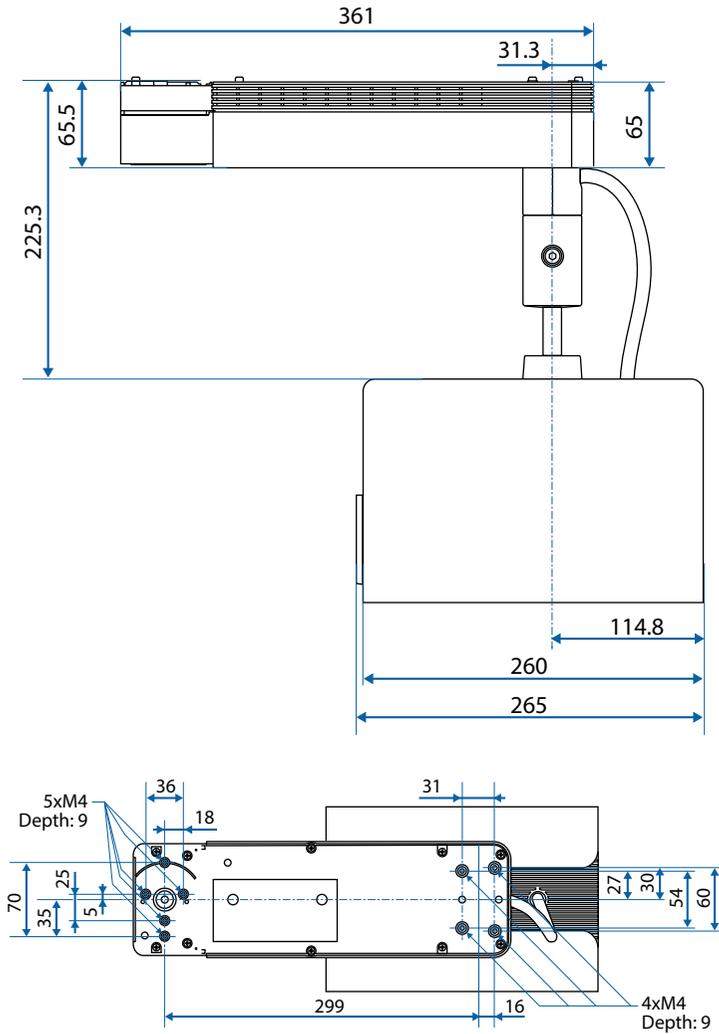
LAN端子	1系統	RJ-45
HDMI端子	1系統	HDMI（音声はPCMにのみ対応）

SDカードスロット	1系統	SDHC/microSDHC、Class10以上、最大32GB、FAT16/FAT32に対応
Audio Out端子	1系統	ステレオミニピンジャック
DC Out (2.0A) / GPI In端子	1系統	USBコネクタ (Aタイプ)



① レンズの中心

② レンズ中心から設置金具固定部までの寸法

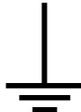


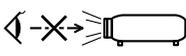
単位：mm

機能/設定項目		EV-115/EV-110
同期再生		✓
ネットワーク経由でプロジェクターにプレイリストを保存する		✓
[設定] > [動画形式]	自動選択	✓
	AVI形式	✓
	MP4形式	—

製品上にシンボルマークが表示されている場合は、それぞれ以下の意味を持っています。

No.	シンボルマーク	対応規格	説明
①		IEC60417 No. 5007	電源ON 電源への接続を示す。
②		IEC60417 No. 5008	電源OFF 電源からの切り離しを示す。
③		IEC60417 No. 5009	スタンバイ 機器・装置の一部だけを通電状態にし、機器・装置を待機状態にするためのスイッチまたはその位置を示す。
④		ISO7000 No. 0434B, IEC3864-B3.1	注意 製品取扱時の全般的な注意を示す。
⑤		IEC60417 No. 5041	注意（高温） 高温の可能性があり、不注意に触れない方がよい箇所であることを示す。
⑥		IEC60417 No. 6042 ISO3864-B3.6	注意（感電危険） 感電（電撃）の危険性がある機器・装置であることを示す。

No.	シンボルマーク	対応規格	説明
⑦		IEC60417 No. 5957	屋内専用 屋内使用専用を目的とする電気機器・装置であることを表す。
⑧		IEC60417 No. 5926	直流電源コネクタ極性 直流電源を接続してもよい機器のプラスおよびマイナス電極の接続を示す。
⑨		—	No. 8と同じ
⑩		IEC60417 No. 5001B	電池（一般） 電池を電源とする機器・装置に使用する。電池装着部分のカバーまたは接続端子を示す。
⑪		IEC60417 No. 5002	電池の向き 電池ケース本体および電池ケース内での向きを示す。
⑫		—	No. 11と同じ
⑬		IEC60417 No. 5019	保護接地 障害発生時の電撃（感電）保護用外部導体への接続端子または保護接地極の端子であることを示す。
⑭		IEC60417 No. 5017	アース No. 13の使用が明示的に要請されない場合の接地（アース）端子であることを示す。

No.	シンボルマーク	対応規格	説明
15		IEC60417 No. 5032	交流 交流専用の機器・装置であり、交流に対応する端子であることを示す。
16		IEC60417 No. 5031	直流 直流専用の機器・装置であり、直流に対応する端子であることを示す。
17		IEC60417 No. 5172	クラスII機器 JIS C 9335-1/JIS C 8105-1でクラスII機器と規定した安全性要求事項に適合する機器・装置であることを示す。
18		ISO 3864	一般的な禁止 特定しない一般的な禁止通告を示す。
19		ISO 3864	接触禁止 機器の特定の場所に触れることによって傷害が起こる可能性がある場合の禁止通告を示す。
20		—	プロジェクター動作中の投写レンズ覗きこみ禁止を示す。
21		—	プロジェクターの上に物を置いたはならないことを示す。
22		ISO3864 IEC60825-1	注意（レーザー放射） 製品上に注意が必要なレベルのレーザー放射部があることを示す。

No.	シンボルマーク	対応規格	説明
23		ISO 3864	分解禁止 機器を分解することで感電などの傷害が起こる可能性がある場合の禁止通告を示す。
24		IEC60417 No. 5266	待機、一部待機 機器・装置の一部が準備状態であることを示す。
25		ISO3864 IEC60417 No. 5057	注意（可動部品） 保護規定上、可動部品から離れなければならないことを示す。
26		IEC60417 No. 6056	注意（可動ファンのブレード） 保護規定上、可動部品から離れなければならないことを示す。
27		IEC60417 No. 6043	注意（鋭利な角） 保護規定上、鋭利な角には触れてはいけないことを指示する。
28		—	プロジェクター動作中の投写レンズ覗き込み禁止。
29		ISO7010 No. W027 ISO 3864	警告、光放射（UV、可視光、IRなど） 光放射の近くにいるときは、目や肌に負傷を与えないように注意してください。
30		IEC60417 No. 5109	居住区域使用禁止 居住区域での使用に適さない電気機器・装置であることを示す。

本機はJIS C 6802:2014に適合したクラス1レーザー製品です。

以下の注意事項を必ず守ってご使用ください。

## 警告

- 本機のケースを開けないでください。内部に高出力レーザー製品が組み込まれています。
- 本機の光源を直接見ないでください。強い光が視力障害などの原因となります。

## 注意

本機を廃棄する場合は分解しないでください。国や地域の廃棄ルールに従って廃棄してください。



本機的光源はレーザーを使用しています。レーザーには以下のような特性があります。

- 使用環境によって、光源の輝度が低下します。温度が高くなるほど、輝度の低下が大きくなります。
- 使用時間の経過にともない、光源の輝度が低下します。使用時間と輝度低下の関係は明るさ設定で変更できます。

## ▶ 関連項目

- 「レーザー警告ラベル」 [p.182](#)

## レーザー警告ラベル

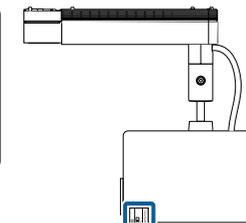
本機の内部および側面にはレーザー警告ラベルが貼られています。

## 内部



## 外部

投写中は、光源から放射されるレーザービームをのぞかないでください。  
(RG2 IEC/EN 62471-5:2015に準拠)



## 警告

- 投写中は本機のレンズをのぞき込まないでください。目に損傷を与えるおそれがあります。特にお子様やペットの行動にご注意ください。
- 本機から離れた場所でリモコンを使って電源を入れるときは、レンズをのぞいている人がいないことを確認してください。
- 小さなお子様には操作させないでください。操作する可能性がある場合は、必ず保護者が同伴してください。
- 投写中はレンズをのぞきこまないでください。また、ルーペや望遠鏡などの光学機器を用いてレンズをのぞかないでください。視覚障害の原因になることがあります。

本書で使用している用語で、本文中に説明がないものや難しいものを簡単に説明します。詳細は市販の書籍などでご確認ください。

アスペクト比	画面の横と縦の比率をいいます。 横：縦の比率が16:9の、HDTVなどの画面をワイド画面といいます。 SDTVや、一般的なコンピューターのディスプレイのアスペクト比は4:3です。
コントラスト	色の明暗の差を強くしたり弱くしたりすることにより、文字や絵がはっきり見えたり、ソフトに見えたりすることです。この調整をコントラストの調整といいます。
DHCP	Dynamic Host Configuration Protocolの略で、ネットワークに接続する機器に、IPアドレスを自動的に割り当てるプロトコルのことです。
ゲートウェイアドレス	サブネットマスクによって分割したネットワーク（サブネット）を超えて通信するためのサーバー（ルーター）のことです。
GPI	General Purpose Interfaceの略で、切り替えなどの単機能を制御する汎用インターフェイスです。
HDCP	High-bandwidth Digital Content Protectionの略です。 DVIやHDMI端子を経由して送受信するデジタル信号を暗号化し、不正なコピーを防止する著作権保護技術です。 本機のHDMI端子はHDCPに対応しているため、HDCP技術で保護されたデジタル映像を投写できます。 ただし、HDCPの規格変更等が行われたときは、変更後の規格で保護されたデジタル映像を投写できなくなる場合があります。

HDMI™	High Definition Multimedia Interfaceの略で、デジタル家電やコンピューター向けの規格です。HD映像とマルチチャンネルオーディオ信号をデジタル伝送できます。 デジタル信号を圧縮せず高品質のまま転送できます。デジタル信号の暗号化機能もあります。
HDTV	High-Definition Televisionの略で、次の条件を満たす高精細なシステムに適用されます。 <ul style="list-style-type: none"> <li>垂直解像度720p、1080i以上（pはプログレッシブ走査、iはインターレース走査）</li> <li>画面のアスペクト比は16:9</li> </ul>
インターレース	1つの画面を作り出す情報を上から下へ1つ飛ばしに伝送します。 1フレームの表示が1ラインおきとなるため、ちらつき（フリッカー）が出やすくなります。
IPアドレス	ネットワークに接続されたコンピューターを識別するための数字のことです。
プログレッシブ	1つの画面を作り出す情報を一度で映し出して1フレーム分の映像を表示します。 そのため走査線の本数が同じでもインターレースと比べて時間あたりの情報量が2倍になるためちらつきが少ない映像になります。
リフレッシュレート	ディスプレイの発光体は、その明るさと色をごく短時間保持します。 そのため発光体をリフレッシュするために1秒間に何度も画像を走査しなければなりません。 その速度をリフレッシュレートと呼び、ヘルツ（Hz）で表します。
SDTV	Standard Definition Televisionの略で、HDTVの条件を満たさない標準テレビ放送のことです。

SNMP	Simple Network Management Protocolの略で、TCP/IPネットワークにおいてルーターやコンピューターなどネットワークに接続された通信機器をネットワーク経由で監視・制御するためのプロトコルです。
SSID	SSIDは、無線LANの環境で相手と接続するための識別データです。SSIDが一致している機器同士で無線通信できます。
サブネットマスク	IPアドレスから、分割したネットワーク（サブネット）のネットワークアドレスに使用するビット数を定義する数値のことです。
SVGA	画面サイズの規格で、横800ドット×縦600ドットのことを呼びます。
SXGA	画面サイズの規格で、横1,280ドット×縦1,024ドットのことを呼びます。
同期	コンピューターから出力される信号は、ある決まった周波数で出力されます。 その周波数にプロジェクターの周波数を合わせないと、きれいな映像になりません。 信号の位相（山のずれ）を合わせることを「同期を合わせる」といいます。 同期が合っていないと映像にちらつき、ぼやけ、横方向のノイズが出ます。
VGA	画面サイズの規格で、横640ドット×縦480ドットのことを呼びます。
XGA	画面サイズの規格で、横1,024ドット×縦768ドットのことを呼びます。
WXGA	画面サイズの規格で、横1,280ドット×縦800ドットのことを呼びます。

本機をお使いの際の注意事項については、以下の項目をご確認ください。

## ▶ 関連項目

- 「使用限定について」 [p.186](#)
- 「本機を日本国外へ持ち出す場合の注意」 [p.186](#)
- 「瞬低（瞬時電圧低下）基準について」 [p.186](#)
- 「JIS C 61000-3-2適合品」 [p.186](#)
- 「商標について」 [p.186](#)
- 「ご注意」 [p.187](#)
- 「著作権について」 [p.187](#)

## 使用限定について

本製品を航空機・列車・船舶・自動車などの運行に直接関わる装置・防災防犯装置・各種安全装置など機能・精度などにおいて高い信頼性・安全性が必要とされる用途に使用される場合は、これらのシステム全体の信頼性および安全維持のためにフェールセーフ設計や冗長設計の措置を講じるなど、システム全体の安全設計にご配慮いただいた上で当社製品をご使用いただくようお願いいたします。本製品は、航空宇宙機器、幹線通信機器、原子力制御機器、医療機器など、極めて高い信頼性・安全性が必要とされる用途への使用を意図しておりませんので、これらの用途には本製品の適合性をお客様において十分ご確認ください。

## 本機を日本国外へ持ち出す場合の注意

- 日本国内向けの本製品を海外で利用した場合は、保証の対象外となります。国内で販売する本製品は、日本国内使用を意図した安全規格基準のみ対応しているため、日本国外でのご使用は違法となる場合があります。また、国や地域によっては電波使用制限があるため、ネットワーク機能を海外で使った場合、罰せられることがあります。

- 電源コードは日本国内向けの電源仕様に基づき同梱されています。本機を日本国外でお使いになるときは、事前に使用する国の電源電圧や、コンセントの形状を確認し、その国の規格に適合した電源コードを現地にしてお求めください。

## 瞬低（瞬時電圧低下）基準について

本装置は、落雷などによる電源の瞬時電圧低下に対し不都合が生じることがあります。電源の瞬時電圧低下対策としては、交流無停電電源装置などを使用されることをお勧めします。

## JIS C 61000-3-2適合品

本装置は、高調波電流規格「JIS C 61000-3-2」に適合しています。

## 商標について

EPSONはセイコーエプソン株式会社の登録商標です。

Mac、OS X、macOSは、Apple Inc.の商標です。

Microsoft、Windows、Windows Serverは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における商標、または登録商標です。

Wi-Fi™、WPA2™、WPA3™はWi-Fi Alliance®の登録商標です。

App Storeは、Apple Inc.のサービスマークです。

Chrome、Chromebook、Google PlayはGoogle LLC.の商標です。

HDMI、HDMIロゴ、およびHigh-Definition Multimedia InterfaceはHDMI Licensing Administrator, Inc.の商標、または登録商標です。 

SDおよびSDHCロゴはSD-3C LLCの商標です。 

QRコードは株式会社デンソーウェーブの登録商標です。

PJLinkは、日本、米国、その他の国や地域における商標、または登録商標です。

Crestron<sup>®</sup>、Crestron Connected<sup>®</sup>、Crestron Fusion<sup>®</sup>、Crestron Control<sup>®</sup>、およびCrestron RoomView<sup>®</sup>は、Crestron Electronics, Inc.の登録商標です。

Art-Net<sup>™</sup> Designed by and Copyright Artistic Licence Holdings Ltd.

本製品には、RSA Security Inc.のRSA BSAFE<sup>™</sup>を使用しています。RSAはRSA Security Inc.の登録商標です。BSAFEは、米国およびその他の国におけるRSA Security Inc.の登録商標です。

Bluetooth<sup>®</sup>のワードマークおよびロゴは、Bluetooth SIG, Inc. が所有する登録商標であり、セイコーエプソン株式会社はこれらのマークをライセンスに基づいて使用しています。その他の商標およびトレードネームは、それぞれの所有者に帰属します。

Qualcomm aptX is a product of Qualcomm Technologies, Inc. and/or its subsidiaries.

Qualcomm is a trademark of Qualcomm Incorporated, registered in the United States and other countries. aptX is a trademark of Qualcomm Technologies International, Ltd., registered in the United States and other countries.

本製品には、RSA Security Inc.のRSA BSAFETMを使用しています。RSAはRSA Security Inc.の登録商標です。BSAFEは、米国およびその他の国におけるRSA Security Inc.の登録商標です。

なお、各社の商標および製品商標に対しては特に注記のない場合でも、これを十分尊重いたします。

(3) 本書の内容については万全を期して作成いたしましたが、万一ご不審な点や誤り、お気づきの点がございましたら、ご連絡くださいますようお願いいたします。

(4) 運用した結果の影響につきましては、(3)項にかかわらず責任を負いかねますのでご了承ください。

(5) 本製品がお客様により不適當に使用されたり、本書の内容に従わずに取り扱われたり、またはエプソンおよびエプソン指定の者(「お問い合わせ先」参照)以外の第三者により、修理、変更されたこと等に起因して生じた損害等につきましては、責任を負いかねますのでご了承ください。

(6) エプソン純正品、およびエプソン品質認定品以外のオプション品または消耗品、交換部品を装着してトラブルが発生した場合には、責任を負いかねますのでご了承ください。

(7) 本書中のイラストや画面図は実際と異なる場合があります。

---

## 著作権について

本書の内容は予告なく変更することがあります。

© 2020 Seiko Epson Corporation

2024.03 414024502JA

---

## ご注意

(1) 本書の内容の一部、または全部を無断で転載することは固くお断りいたします。

(2) 本書の内容については、将来予告なしに変更することがあります。